

認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて
環境学習交流センター
岩手県地球温暖化防止活動推進センター

活動報告書

2020年4月 → 2021年3月



i n d e x

● 認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて	1 ページ
01 自主事業	
● 環境学習交流センター	3 ページ
02 情報誌てとて／いわて環境情報板	4 ページ
03 環境学習交流センター内での展示／特別企画展示	6 ページ
04 環境学習講座	11 ページ
05 アイーナ入居施設との団体協力	15 ページ
06 訪問学習の受け入れ	16 ページ
07 いわてこどもエコクラブ等ネットワークの構築	18 ページ
08 環境アドバイザーの派遣	19 ページ
09 エコカーゴによる出張環境学習会	52 ページ
10 流域活動支援	57 ページ
● 岩手県地球温暖化防止活動推進センター	59 ページ
11 いわてわんこ節電所	61 ページ
12 省エネ・節電キャンペーン	63 ページ
13 岩手県地球温暖化防止活動推進員の派遣	65 ページ
14-1 いわて森のゼミナール推進事業	76 ページ
14-2 いわて森のゼミナール活動報告書	79 ページ

●認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

●環境パートナーシップいわて 自主事業

01

会員はもとより、一般市民が気軽に参加できる事業を展開しております。

◆市民提案プロジェクト

	事業名	アイーナ夜学
	活動期間・日時	毎月第3金曜日19:00～21:00
	場所	いわて県民情報交流センター(アイーナ)環境学習交流センター等
	協力者	会員・市民・大学教授・学生等
内容	平成18年4月アイーナ開館当初より月1回開催。持続可能な地域社会を実現する新しい産業・都市・住居の階層モデルの提案を行う。2020年度は、SDGsを中心に持続可能な社会をどう創るかの活発な議論が交わされた。	

	事業名	着物のリメイク支援プロジェクト
	活動期間・日時	2020年10月24日
	場所	盛岡市アイーナ 4階アイーナスタジオ
	協力者	久慈市、紫波町、雫石町の支援者の皆さん
内容	環境パートナーシップいわての小赤澤直子理事が、復興支援として全国からいただいた着物を使った着物リメイク講座を開催。10月24日アイーナ4F県民プラザで開催された着物リメイクファッションショー(9回目)では、完成した洋服を着て支援してくださった方々へのお礼の気持ちをこめたファッションショーが行われた。	

	事業名	いわてSDGsカフェ
	活動期間・日時	2020年4月～2021年3月
	場所	環境学習交流センター
	協力者	SDGsカフェ実行委員会
内容	県内にSDGsを広めるため毎月第3水曜日の18:00～20:00の時間で開催している。オンラインでも同時開催し、県内外からの参加者がある。「べちゃくちゃ」1枚のスライドを20秒で20枚のスライドにより自身の活動を紹介し、意見交換を行う。この場の出会いが、互いの現場の訪問に発展するなど、新たな交流が生まれている。	

● 環境学習交流センター



環境学習交流センターでは、センターの情報や岩手県内のイベント情報を掲載している情報誌「てとて」を年3回発行しています。

<p>No.44</p>		<p>2020年7月号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お家時間を楽しく過ごそう!!親子で工作 ・水素利活用推進プロジェクトの紹介 ・SDGsに取り組み中小企業家同友会の活動 ・環境学習交流センターイベント情報
--------------	--	--

<p>No.45</p>		<p>2020年12月号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわて子どもエコクラブ親子御所野縄文遺跡体験交流会 ・センター情報 ・イベント情報 ・地域循環共生圏のつくり方を学ぶ① ・環境学習交流センターイベント情報
--------------	--	--

<p>No.46</p>		<p>2021年3月号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材報告「岩手環境学習応援隊」企業(いわて県北クリーン株式会社)に取材してきました! ・地域循環共生圏フォーラム ・環境学習交流センター事業内容のご紹介 ・地域循環共生圏のつくり方を学ぶ② ・センター展示情報
--------------	--	--

いわて環境情報板 <<http://www.iwate-eco.jp/known/mailmag.html>>

岩手県や県内自治体の環境情報、関連イベント情報などを中心にホームページにてお知らせしています。環境という広範囲な話題を皆さんにとって身近に感じられるように、その時々タイムリーな情報と切り口でお届けします。毎月末更新。

4月号	・「環境学習交流センターイベント」のお知らせ！ ・環境保健研究センター新着情報 ・県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～1月分～ ・おすすめメールマガジン ・県内のイベント情報 ・助成金情報
5月号	・「環境学習交流センター」臨時休館のお知らせ ・県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～2月分～ ・県境産廃いわてだより 第131号 ・おすすめメールマガジン ・県内のイベント情報 ・助成金情報
6月号	・環境学習交流センター開館のお知らせ ・県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～3月分～ ・おすすめメールマガジン ・県内のイベント情報 ・助成金情報
7月号	・「環境学習交流センター」からのお知らせ ・環境保健研究センター新着情報 ・県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～4月分～ ・第15回「みどり香るまちづくり」企画コンテストについて ・県境産廃いわてだより 第132号 ・おすすめメールマガジン ・県内のイベント情報 ・助成金情報
8月号	・「環境学習交流センター」からのお知らせ ・環境保健研究センター新着情報 ・県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～5月分～ ・おすすめメールマガジン ・県内のイベント情報 ・助成金情報
9月号	・「環境学習交流センター」からのお知らせ ・環境保健研究センター新着情報 ・県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～6月分～ ・おすすめメールマガジン ・県内のイベント情報 ・助成金情報
10月号	・「環境学習交流センター」からのお知らせ ・県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～7月分～ ・10月は『3R推進月間』です！ ・10月は『食品ロス削減月間』です！ ・おすすめメールマガジン ・県内のイベント情報 ・助成金情報
11月号	・「環境学習交流センター」からのお知らせ ・県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～8月分～ ・環境保健研究センター新着情報 ・県境産廃いわてだより 第133号 ・おすすめメールマガジン ・県内のイベント情報 ・助成金情報
12月号	・「環境学習交流センター」からのお知らせ ・県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～9月分～ ・環境保健研究センター新着情報 ・おすすめメールマガジン ・県内のイベント情報 ・助成金情報
1月号	・「環境学習交流センター」からのお知らせ ・県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～10月分～ ・環境保健研究センター新着情報 ・おすすめメールマガジン ・県内のイベント情報 ・助成金情報
2月号	・「環境学習交流センター」からのお知らせ ・県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～11月分～ ・環境保健研究センター新着情報 ・県境産廃いわてだより 第134号 ・おすすめメールマガジン ・県内のイベント情報 ・助成金情報
3月号	・「環境学習交流センター」からのお知らせ ・県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～12月分～ ・「令和3年度中学生水の作文 岩手県コンクール」作品募集 ・おすすめメールマガジン ・県内のイベント情報 ・助成金情報

●環境学習交流センター内での展示／特別企画展示

03

アイーナ5Fの展示スペースを利用し、県内企業の取組や生活に役立つエコな情報等、環境・地球温暖化に関する情報発信を行っています。

No	1	展示名	いわて4人の住宅作家展
	協力	植田 優氏 因森 典子氏 白岸 弓枝氏 因塚 陽氏	
	展示期間	令和2年4月1日～6月17日	
	内容	北国にふさわしい建築を模索してきた4人の様々な仕事の紹介。	
No	2	展示名	「廃棄物ゼロ社会を目指して」
	協力	みちのくコカ・コーラボトリング	
	展示期間	令和2年6月18日～7月31日	
	内容	平成30年1月、ザ・コカ・コーラカンパニーは清涼飲料業界でも初となるグローバル目標「廃棄物ゼロ社会を目指して」を目標に掲げました。「World Without Waste」廃棄物ゼロを目指しての取り組みを紹介。	
No	3	展示名	有限会社谷地林業取り組み展示
	協力	有限会社谷地林業	
	展示期間	令和2年8月1日～9月15日	
	内容	令和元年度「東北再生可能エネルギー利活用大賞」最優秀賞を受賞。地域の木材を活用したバイオマス発電向け木材チップ製造や、持続可能な森林づくりのための次世代の人材育成、SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みの一環としての、森林整備や木炭製造の紹介。	
No	4	展示名	花巻おもちゃ美術館紹介展示
	協力	花巻おもちゃ美術館	
	展示期間	令和2年9月16日～10月31日	
	内容	令和2年7月20日より花巻おもちゃ美術館が開館。宮澤賢治が愛した森の恵みにふれられる「おもちゃ美術館」を紹介展示。それと同時におもちゃの一部を借りして木と触れあえるおもちゃコーナーを設置し、来館者の皆様に楽しんでいただいた。	
No	5	展示名	福祉実験ユニット株式会社ヘラルボニー紹介展示
	協力	福祉実験ユニット株式会社ヘラルボニー	
	展示期間	令和2年11月1日～12月28日	
	内容	「株式会社 ヘラルボニー」は、知的障害者の作品を、芸術品のような商品に仕上げ、販売する会社でリサイクル商品を開発する会社などとの共創により商品が出来上がる。価値の高い商品づくりのコンセプトと福祉関連のグローバルな取り組みを紹介。	

No	6	展示名	愛鳥週間ポスターコンクール作品展
	協力	岩手県環境生活部自然保護課	
	展示期間	令和3年1月4日～1月31日	
	内容	愛鳥週間ポスターコンクールの入賞作品をセンターに展示し、自然環境を考える機会とした。最優秀賞受賞者の北上市長澤 芽衣さんがご家族の皆様と来館。センターに来たのは初めてとのことで展示により新たな来館者を増やすことにもつながった。	
No	7	展示名	「水をつなぐ水でつなぐ未来」
	協力	公益財団法人 岩手県下水道公社	
	展示期間	令和3年1月4日～1月31日	
	内容	「水をつなぐ水でつなぐ未来」をテーマに生活排水について展示、県民の方々へ生活排水への理解を深めていただき、家庭から出る生活排水の汚れを少なくするためにはどうすればいいのか？汚れの割合の高い台所の汚れについて考える機会とした。	
No	8	展示名	株式会社古里木材物流の挑戦
	協力	株式会社古里木材物流	
	展示期間	令和3年2月1日～3月31日	
	内容	岩手県内の山林から林地残材を集め、3か所のバイオマス発電所にチップにしたものを供給している。これまで顧みられなかったものを新たな資源に生まれ変わらせる有用な事業活動の紹介。パソコンモニターで実際の作業風景の映像を映した。	

●展示・イベントの工夫

－展示－

No	1	展示名	グリーンカーテン設置のための朝顔とフウセンカズラの種まき
	展示期間	令和2年4月～9月頃まで	
	内容	センターミーティングスペース窓際の太陽光を遮るためグリーンカーテンの設置を行い、来館者の癒しのスペースとなっている。	
No	2	展示名	新型コロナウイルス感染防止対策
	展示期間	通年	
	内容	新型コロナウイルス対策のため設置	
No	3	展示名	サバ州との交流会の様子パネルと民芸品の展示
	開催期間	通年	
	内容	令和元年度のサバ州との交流会の様子とビーズで作った民芸品等の展示	
No	4	展示名	元素周期表と宮沢賢治コーナー
	展示期間	令和2年6月23日～令和3年3月31日	
	内容	立体型元素の周期表と元素に関する宮沢賢治の資料、SDGsとのつながりが伺われる農民芸術概論綱要を記したパネルを展示。	

No	5	展示名	水彩画サークル エコ×アート(火・金 月4回)
	展示期間	通年	
	内容	水彩画サークル会員向け「エコ×アート」。火曜日と金曜日の月4回、年間を通して活動。四季折々の花々や、豊かな自然の風景画などを制作している。新型コロナ対策を重視し、飛沫感染防止のクリアパネルなどを設置。席の間隔も離すなど、密を避けながら、少人数で活動を継続している。(緊急事態宣言後、一時的に活動を中止した。活動休止期間は4月21日～6月12日)	
No	6	展示名	「14海の豊かさを守ろう」・「15陸の豊かさを守ろう」
	展示期間	通年	
	内容	「14海の豊かさを守ろう」・「15陸の豊かさを守ろう」と題して展示を行った。7月1日からのレジ袋有料化に伴って海の豊かさを守ることとプラスチック問題を啓発する展示とした。岩手日報ジュニアウイクリー7月14日号表紙に掲載。発行部数195,157の購読者に向けて発信することができた。	
No	7	展示名	デジタルサイネージの導入
	展示期間	通年	
	内容	デジタルサイネージをセンターで入り口に設置しセンター事業の様子など情報発信ツールとして活用している。	
No	8	展示名	地球のいのちをつなぐため考えてみよう！生物多様性図書展示
	展示期間	令和2年9月1日～10月31日	
	内容	国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)が推薦している子供向け図書愛称:「生物多様性の本箱」～みんなが生きものにつながる100冊～)の中から、当センターで所蔵している16冊を展示。	
No	9	展示名	「花巻おもちゃ美術館」のおもちゃ広場を設置
	展示期間	令和2年9月～12月28日	
	内容	花巻おもちゃ美術館からお借りしたおもちゃで広場を設け小さなお子様連れの親子に楽しんでいただいた。	

No	10	展示名	「東日本大震災前後・・・あの街角は？」写真展
	展示期間	令和3年3月1日～3月31日	
	内容	大船渡市に在住した佐々木哲氏によって撮影された震災の前と後の街並みをとらえた写真展	

環境学習講座の中でも定期的に開催されている、通称『土日講座』。参加者が気軽にふらっと立ち寄れる講座として、本格的なお話から体験型のイベント、工作等さまざまな内容やテーマで開催しています。

番号	1	講演タイトル	新型コロナウイルス感染の防止
	日時	令和2年4月21日(火)10:00～11:00	
	講師	中屋 重直氏 環境アドバイザー・岩手県地球温暖化防止活動推進員・東北厚生局事務所保険指導医	
	参加者数	10名	
内容	新型コロナウイルス感染防止のための意識啓発及び注意点等を学び今後の活動に有益な講座となった。		
番号	2	講演タイトル	一緒にSDGs体験しよう！Part1①SDGsスゴロクゲーム②カードゲーム
	日時	令和2年6月14日(日)①10:00～11:00②14:00～15:00	
	講師	センタースタッフ	
	参加者数	①4名②6名 合計10名	
内容	①長野SDGsプロジェクト提供のスゴロク:17のゴールのマスを埋める作業を行なった。参加者同士がそれぞれの課題を共有しSDGsについての理解を深めることができた。 ②金沢工業大学が開発したTHE SDGs アクションカードゲームX(クロス):センターバージョンにして体験講座を開催した。実際のカードよりも大きくし、離れても見えるような工夫をしてゲームを行った。SDGsについて、トレードオフと、課題解決のリソースとについて理解を深め、提示されたトレードオフをあらかじめ渡されたリソースカードにより課題を解決した。		
番号	3	講演タイトル	環境紙芝居から学ぶ～森と海の話～
	日時	令和2年6月27日(土)①10:00～11:00②13:00～14:00	
	講師	坂下 洋子氏 子供向け英語教室ホームティーチャー・環境カウンセラー・地球温暖化防止活動推進員	
	参加者数	11名 取材:盛岡タイムス	
内容	紙芝居をスクリーンで投影し紙芝居から環境問題を提起し、森と海のジオラマ製作を通して海のプラスチックごみ問題を可視化した。環境紙芝居・ジオラマを通して身近な環境問題としてとらえるきっかけとなった。講師の坂下洋子さんには英語で「はちどりのひとしづく」を読んでいただくと共に、海や森の環境と人間とのかかわりについて参加者の方に説明をして頂いた。		
番号	4	講演タイトル	海洋ごみ・プラスチックごみ問題を考える
	日時	令和2年7月22日(水)18:00～21:00	
	講師	渋谷 晃太郎氏 岩手県立大学総合政策学部教授	
	参加者数	21名	
内容	海ごみがなぜ問題になっているのか・海ごみの現状・海ごみの大半はプラスチック・プラスチックについて・基礎知識・海ごみの現状・海ごみの問題点・世界の海ごみ対策・世界の海ごみ対策・日本の海ごみ対策・岩手県の海ごみ対策・プラスチックごみについて・岩手県の海岸の状況等を講演。定員20名を超える申し込みがあり旬の話題に対する関心度の高さがうかがえた。		

番号	5	講演タイトル	スゴロクゲーム「水の旅」で、地球の循環を学ぼう！
	日時	令和2年7月23日(木)13:30～14:30	
	講師	浅井 勇貴氏 みちのくコカ・コーラボトリング株式会社	
	参加者数	子ども9名、保護者7名 合計16名	
内容	会社概要と取り組み説明ではペットボトルの100%リサイクル、水資源の循環等について講師の浅井さんからお話しいただき、水の循環「スゴロクゲーム」を通して参加者が一体となり楽しく学ぶことができた。各ポイントでサイコロを振り次のポイントを目指す。水の97.5%が「海の水」なのでサイコロは海が多く出る仕組みとなっている。座学だけではなくスゴロク「水の旅」を通して、地球を循環する仕組みを学ぶことができた。		
番号	6	講演タイトル	一緒にSDGs体験しよう！Part2
	日時	令和2年7月26日(日)①スゴロクゲーム 13:00～14:00 ②THE SDGs アクションカードゲームX(クロス)14:30～15:30	
	講師	センタースタッフ	
	参加者数	合計10名	
内容	SDGsについて知っていただくため夏休み企画としてpart2を開催した。 ①スゴロクゲーム：小学生の柔らかな視点で素晴らしいアイデアが飛び出し、参加者同士が刺激となった。 ②THE SDGs アクションカードゲームX(クロス)ではリソースカードの配布によって固定概念を捨て新たなアイデアが生まれた。また、ふりかえりではそれぞれのゴールに対する考え方やこれまでの状況を話せる場となり他者の考えを知る機会となった。		
番号	7	講演タイトル	～新型コロナウイルスと私たち～
	日時	令和2年8月5日(水)13:30～15:00	
	講師	ファシリテーター：菊池 真美子氏(JICA東北岩手デスク)	
	参加者数	6名	
内容	①導入アイスブレイク：わたしの気持ち②何が起こったどう感じた③様々な意見を読んで考える④これからの世の中はどう変わる？どう変えたい？ 83歳の参加者からは「コロナは気を付ければ防ぐことができるが戦争は避けることができなかった」等、自身の経験のお話し、更なるIT社会の突入と自身の生活が乖離している等、気づかずに見過ごしてしまいそうな課題や問題点を投げかけていただいた。高校生の参加者より、近所の高齢者を集めて話ができる場を提供する企画を行った事例などに発展し、新型コロナウイルスを入りに「誰一人も取り残さない」に通じるワークショップとなった。それぞれの思いや気づきから話し合いができたことの意義は大きい。		
番号	8	講演タイトル	未来に続く家づくり～リサイクル材料でつくるエコハウス工作教室part4～
	日時	令和2年8月10日(月・祝日)10:00～12:00	
	講師	センタースタッフ	
	参加者数	11名 取材：いわてめんこいテレビ、IBCの2社	
内容	岩手県の自然の話、岩手県産材、エコハウスの話、冬暖かく夏涼しい家について、再生可能エネルギー等エコハウスのポイントを学んだあと家づくり。 大きな丸い窓がポイントの家、雪かきをしなくてもよいほど急こう配の三角屋根の家、ウッドデッキが可動式、天候によって移動できる等々…アイデア満載のハウスが出来ました。取材もあり少し緊張気味の参加者でしたが最後はカメラ目線ではばっちり、受け答えもしっかり行っていました。		

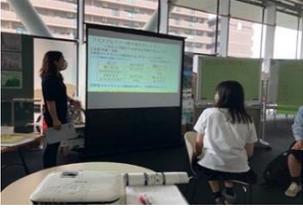
番号	9	講演タイトル	森と炭を守って100年～暮らしの中で生きる炭の力
	日時	令和2年9月12日(土)13:00～14:00	
	講師	渡部 雅裕氏 有限会社谷地林業	
	参加者数	6名	
内容	有限会社谷地林業企業展示と連携しての環境学習講座を開催した。令和元年度「東北再生可能エネルギー活用大賞」最優秀賞を受賞した企業の取り組みのお話し、木炭事業では内閣総理大臣賞受賞についても知る講座となった。ご提供いただいた貴重な炭を使ってcharcoal stand作り(炭を使ったインテリア)を行った。		
番号	10	講演タイトル	2年間のドイツ暮らしで発見した10の魅力
	日時	令和2年11月1日(日)13:00～15:00	
	講師	坂下 慶夏(センタースタッフ)	
	参加者数	20名	
内容	ドイツの魅力について講演。オンオフのメリハリをつけた生活・おとぎ話のような、街並み・学費が無料のドイツ・水より安いビール・自然の豊かさを大切にしているドイツ人についてお話しした。		
番号	11	講演タイトル	冬の企画第1弾「太陽光エコハウスを作ってみよう！」
	日時	令和2年12月20日(日)13:00～15:00	
	講師	センタースタッフ	
	参加者数	13名	
内容	再生可能エネルギーについて説明、岩手県の取り組み紹介、水素エネルギーの活用についても説明し、次世代につながる太陽光エネルギーを活用したエコハウスづくりを行った。子供たちはキットを活用し、色塗りをおこない自分だけのハウスを製作した。		
番号	12	講演タイトル	冬の企画第2弾第3弾「太陽光エコハウスを作ってみよう！」
	日時	令和2年12月26日(日)①10:00～11:30②13:00～14:30	
	講師	センタースタッフ	
	参加者数	①13名②13名 合計26名	
内容	冬の企画第一弾をさらにバージョンアップさせ子供たちのハウスを自分たちが住みたい場所に設置し、森、川、海を考えた街づくりを行った。太陽光ハウスに加え、風力発電、水素エネルギーカーも走らせ未来の街のイメージが出来た。12月20日受付が早い段階で満席となったため急遽第2弾！第3弾を追加企画した。合計3回の実施となり、たくさんの方に環境学習講座の機会を提供することができた。		

番号	13	講演タイトル	未来に続く家づくり～リサイクル材料でつくるエコハウス工作教室part5～
	日時	令和3年1月9日(日)10:00～12:00	
	講師	長澤 さおり氏 長澤 沙織設計室	
	参加者数	12名	
内容	<p>長澤さんは岩手県産木材の特色や素晴らしさを建て主さんにお伝えしながら、「心地よく安心して暮らせる住宅」をモットーに活動している方です。今回は、実際の木材サンプルや樹木の写真などを使いながら、岩手県産木材の樹種についてお話をしました。</p> <p>お話し後はエコハウスづくりを行い、子供たちは思い思いの木を選びながら、素敵なエコハウスを完成させました。</p>		

●アイーナ入居施設との団体協力

05

アイーナ館内の各センターと連携し、イベント等を効果的に開催しています。

	イベント名	新型コロナウイルスとわたしたち
	日時	令和2年8月5日(水)13:00~15:00
	場所	環境学習交流センター
	連携団体	JICA東北岩手デスク
内容	<p>①導入アイスブレイク:わたしの気持ち②何が起こったどう感じた③様々な意見を読んで考える④これからの世の中はどう変わる?どう変えたい?83歳の参加者からは「コロナは気を付ければ防ぐことができるが戦争は避けることができなかった」等、自身の経験のお話し、更なるIT社会の突入と自身の生活が乖離している等、気づかずに見過ごしてしまいそうな課題や問題点を投げかけていただいた。高校生の参加者より、近所の高齢者を集めて話ができる場を提供する企画を行った事例などに発展し、新型コロナウイルスを入り口に「誰一人も取り残さない」に通じるワークショップとなった。それぞれの思いや気付きから話し合いができた。</p>	
	イベント名	岩手県立大学アイーナキャンパスSDGs講座
	日時	令和2年6月24日~令和3年3月24日 計20回
	場所	岩手県立大学 学習室
	連携団体	岩手県立大学
内容	<p>環境学習講座として7月22日「海ごみ・プラスチックごみを考える」を共催。その他申込受付、広報活動の運営について協力した。</p>	
	イベント名	親子フェスティバル
	日時	令和2年10月13日
	場所	岩手県民情報交流センターアイーナ内各場所
	連携団体	青少年活動交流センター
内容	<p>青少年活動交流センターの親子フェスティバルへの協力を行った。今年度はコロナ禍の中、規模が縮小されたもののセンターへ親子フェスティバルの流れから足を運んでいただいた皆様にセンター内の体験を楽しんでいただいた。</p>	
	イベント名	N活フェアパネル展示
	日時	令和2年11月3日~11月10日
	場所	岩手県民情報交流センター6階 NPO活動法人展示スペース
	連携団体	NPO活動法人
内容	<p>N活フェアに環境学習交流センター・温暖化防止活動推進センターの活動パネル展示を1週間行いセンターの事業を知っていただいた。</p>	

●訪問学習

06

環境学習交流センターでは訪問学習を受け付けています。展示や体験キットを使った学習のほか、SDGsに関する学習など、楽しみながら環境について学べるプログラムを用意しています。
※許可をいただいた団体のみ写真掲載

No	1	団体名	陸前高田市議会議員団
	学年	一般	
	日時	2020年7月30日(木)	13:00~14:00
	場所	環境学習交流センター	
	人数	3名	
	対応スタッフ	櫻井・田近・坂下	
内容	・SDGsの概要説明、海洋マイクロプラスチックごみ問題について		
No	2	団体名	岩手県立盛岡第一高等学校
	学年	1年生	
	日時	2020年8月5日(水)	10:30~12:00
	場所	環境学習交流センター	
	人数	3名	
	対応スタッフ	櫻井・田近・坂下	
内容	・環境問題についての学習、SDGsの概要説明、地球温暖化、SDGsカードゲームクロス		
No	3	団体名	岩手県立雫石高等学校
	学年	3年生	
	日時	2020年8月7日(水)	14:30~16:00
	場所	環境学習交流センター	
	人数	2名	
	対応スタッフ	櫻井	
内容	・SDGsの概要説明、地球温暖化、海洋マイクロプラスチックごみ問題、SDGsカードゲームクロス		
No	4	団体名	久慈市立小久慈小学校
	学年	6年生	
	日時	2020年9月4日(金)	11:20~11:40
	場所	環境学習交流センター	
	人数	児童4名 引率1名 計5名	
	対応スタッフ	大石・田近	
内容	・環境紙芝居「地球がたいへんだ〜！」の読み聞かせ、エコチェックアンケート、自由見学・発電体験		
No	5	団体名	株式会社 赤澤号
	学年	一般	
	日時	2020年9月16日(水)	15:20~15:40
	場所	環境学習交流センター	
	人数	10名(研修講師含む)	
	対応スタッフ	櫻井・丸尾	
内容	・デジタルサイネージを活用した事業全体の説明、センター内見学、体験、質疑応答		

No	6	団体名	岩手県立平舘高等学校 家庭クラブ
	学年	2年生	
	日時	2020年10月10日(土) 10:00~11:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	生徒2名 教員1名 計3名	
	対応スタッフ	田近・坂下	
内容	・プラスチックごみ問題についての説明、SDGsカードゲームクロス、質疑応答、センター内見学(自由見学・発電体験)		
No	7	団体名	紫波町立赤沢小学校
	学年	5年生	
	日時	2020年10月21日(水) 9:30~10:35	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	児童5名 教員1名 計6名	
	対応スタッフ	田近・坂下	
内容	・家庭のエコチェックアンケート、環境紙芝居「地球がたいへんだ〜」、SDGsの概要説明、SDGsカードゲームクロス		
No	8	団体名	盛岡市立北陵中学校
	学年	特別支援学級1.2年生	
	日時	2020年10月27日(火) 9:30~11:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	5名	
	対応スタッフ	田近・大石	
内容	・環境紙芝居「地球がたいへんだ〜」の読み聞かせ、家庭のエコチェックアンケート、封筒バック作り、自由見学・発電体験、新聞バック作り		
No	9	団体名	平泉町立長島小学校
	学年	4年生	
	日時	2020年10月30日(金) 13:15~14:30	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	12名	
	対応スタッフ	田近・大石	
内容	・環境紙芝居「地球がたいへんだ〜」の読み聞かせ、家庭のエコチェックアンケート、自由見学・発電体験		
No	10	団体名	盛岡医療福祉スポーツ専門学校 歯科衛生士学科
	学年	1年生	
	日時	2020年11月27日(金) 15:15~16:15	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	生徒11名 教員1名 計12名	
	対応スタッフ	坂下・田近	
内容	・センターの説明、SDGsの概要説明、SDGsカードゲームクロス		

●いわてこどもエコクラブ等ネットワークの構築

県内で活動するこどもエコクラブ会員の活動を支援したり、クラブ同士の交流の場を設けたりしながら、ネットワークの構築を目指します。

07

こどもエコクラブ交流会 … 県内のクラブ同士の交流と子供達の自然体験の場として年1回開催しました。

1	「IGR銀河鉄道で行く親子御所野縄文遺跡体験ツアー」	
	日時	2020年11月8日(日)9:00～17:30
	場所	IGR盛岡駅→一戸駅→路線バス→御所野縄文遺跡公園・博物館→路線バス→一戸駅→IGR盛岡駅
	参加者数	親子計15名
	協力者等	御所野縄文遺跡公園・博物館のガイドさん
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・IGR盛岡駅前集合→IGR乗車→一戸駅着→路線バス乗車→御所野縄文遺跡公園・博物館着 ・御所野縄文遺跡公園→縄文体験→お昼 ・御所野縄文遺跡博物館見学→シナノキ縄ストラップ作り体験→交流会 ・路線バス乗車→IGR一戸駅→IGR盛岡駅着→解散 	

2	「コロナ禍の中で子どもたちの野外活動を安全に行うために」 (講演→活動事例発表→意見交換会)	
	日時	2021年1月30日(土)13:30～16:00
	場所	アイーナ6階 団体活動室1
	参加者数	会場:5名、オンライン:7名 計12名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講演:丹野高三先生(岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学特任教授)、「コロナ禍の中で子どもたちの野外活動を安全に行うために」 ・事例紹介①:松本友希さん(奥州市役所 生活環境課)、「コロナ禍における奥州市での活動事例～奥州市環境市民会議『奥州めぐみネット』イベント活動等～」 ・事例紹介②:千田正典さん(奥州市 古代の流れ源流「網代滝」を守る会)、「みずさわエコキッズの活動」 ・エコクラブ交流会の報告 ・意見交換会 	

こどもエコクラブNEWSいわて … 交流会や県内の活動の様子、イベント情報などを年2回発信しています。

Vol.31		<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年12月発行 ・特集はエコクラブ交流会「IGR銀河鉄道で行く親子御所野縄文遺跡体験ツアー」開催の様子 ・みんなの感想 ・「こどもエコクラブサポーターズミーティングのお知らせ」
Vol.32		<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年3月発行 ・特集は「こどもエコクラブサポーターズミーティングを開催しました！」 ・「コロナ禍の中で子どもたちの野外活動を安全に行うために」(講演→活動事例発表→意見交換会) ・会場とオンライン参加の併合型で行った様子の報告 ・岩手自然ガイド協会設立準備会例会のご案内

●環境アドバイザーの派遣

08

県民の皆様が環境問題に関する研修会等を開催する場合に、その研修会の講師として環境アドバイザーを派遣しています。

実施日	4/13(月)	主催者	三陸春風の会 岩山支部	アドバイザー	亀山 喜作
		対象	10名		
研修会	岩手公園 春の風・樹木めぐり～モリオカシダレを中心に～				
テーマ	モリオカシダレの特徴や原木について ・固有種の特徴と大切さ ・最近、市内で伐採された貴重な樹木、貴重とされている樹木のこと ・伐採された理由や背景について				
主催者からの実施報告	岩手公園内のモリオカシダレ2本とその原木といわれる樹木についてのお話しと観察のポイントや春の草や花、樹木などについていろいろと教えていただき楽しい観察会でした。全員マスク着用で事前事後の手洗いやうがいなど、新型コロナ対策に留意しながら行いました。少しソメイヨシノ以外の種類の見分け方を知ることができ、参加した皆さんから大変好評を得ました。				
実施日	4/16(木)	主催者	山目地区まちづくり協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	大人11名、講師2名、事務局2名		
研修会	成人事業 郷土史学習「やまのめの文化財探訪」～春の野山トレッキング～				
テーマ	地域内にある天然記念物を観察し、春の野山を歩き動植物の観察をする。				
主催者からの実施報告	バスで配志和神社に向かい、天然記念物の姥杉を見学。その後山野草や野鳥を観察しながら配志和神社社殿、蘭梅山頂上を目指す。途中日本たんぼぼやサンショウウオの卵を発見し観察。エドヒガンザクラとソメイヨシノの見分け方やふきのとうの雄雌の違いなど初めて聞く話に、みんな聞き入っていました。その後もう一つの天然記念物サイカチの木を見学し、道路工事現場の地層見学に向かう。当初工事現場の後赤荻の山をトレッキングする予定だったが時間の都合でそこから引き返しました。				
実施日	5/17(日)	主催者	八木沢川を守り育てる会	アドバイザー	水木 高志
		対象	小学生4名 大人14名		
研修会	八木沢川に親しもう				
テーマ	水辺の生き物調べ、放流会				
主催者からの実施報告	コロナ感染リスクへの対応、雨天でもあり、内容を考慮して実施してもらう。生物調査では、子供らへ採取法を教えながら安全に配慮し間隔を空けて共に魚等を捕まえていただいた。その後、ヤマメの放流を実施してもらう。 講話では生物多様性と人との生活の繋がりを話してもらう。 コロナ感染リスクと世の事情、また、朝は曇りであったが、開始時からの小雨でもあり、参加者が少なかった。 コロナをはじめとした感染リスクへの対応で、マスクらを全員が着用(ない方へは水木氏が全員にマスク配布した) 継続実施していただきたい。				
実施日	5/18(月)	主催者	市民生活研究会	アドバイザー	粒針 文子
		対象	一般市民7名		
研修会	「新しい生活」環境講座 ～歩いて学ぶまちづくり～				
テーマ	盛岡のまちづくりと衛生環境 (1)まちづくりの歴史について (2)過去の疫病と新型コロナについて (3)これからの暮らしの留意点				
主催者からの実施報告	新緑の中、好天にも恵まれきれいなお寺通りなどをいろいろとあちこちの説明をききながら、楽しく学習することが出来ました。南部藩の歴史などに関わる町歩きをまたお願いしたいです。				
実施日	5/25(月)	主催者	市民生活研究会	アドバイザー	粒針 文子
		対象	一般市民8名		
研修会	これからどうなる？世界の環境の変化と食品の安全についていま、知っておきたいこと				
テーマ	世界の食糧生産事情と食品表示の課題について (1)食品表示法について (2)日本の食糧生産事情と問題点について (3)安全な食品の選び方、健康食品の注意点				
主催者からの実施報告	新型コロナ対策をはじめ夏場に注意したい食中毒のことなどもよく理解できた。				

実施日	5/25(月)	主催者	盛岡ペットワールド専門学校	アドバイザー	高橋 良和
		対象	専門学校生8名		
研修会	北上川の河川調査				
テーマ	動物をあつかう学校なので、外来種等の影響を調べる。 (1)動物と自然について (2)水と生き物について				
主催者からの実施報告	天候にも恵まれ、良い環境で調査を行えた。水は冷たかったが、生徒たちも肌で感じ、生き物達の生息環境を理解することができていた。				

実施日	5/29(金)	主催者	西和賀町立沢内小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	3年生児童12名 引率2名		
研修会	「水生生物を調べよう」				
テーマ	水生生物調査の意味、方法、実地調査の指導 (1)水生生物(種類や生態)について (2)和賀川がどのくらいきれいな川なのか				
主催者からの実施報告	水生生物の生態や成虫、川に関わる生物について実物を見せてくれながら和賀川の水質について教えてくれた。				

実施日	6/1(月)	主催者	三陸春風の会	アドバイザー	藤原 由美子
		対象	関心のある一般市民11名		
研修会	ミツバチの世界に学ぶ2020				
テーマ	(1)ミツバチの生態 (2)ミツバチの病気や減少についてなど (3)ミツバチと共生し続けられる環境や社会についてなど				
主催者からの実施報告	とてもわかりやすく・ていねいな説明でミツバチのことを学ぶことができ、楽しく勉強会を行えました。				

実施日	6/5(金)	主催者	和賀地区自治協議会	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	北上市笠松小学校4年生児童(16名) 大人8名 計24名		
研修会	水生生物調査				
テーマ	自然の大切さやすばらしさ				
主催者からの実施報告	29種類の水生生物が採取され、きれいな水を住みかとする生き物が多くいたので、尻平川はきれいな川であることが分かった。				

実施日	6/10(水)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	3年生児童 86名 引率 5名 (計 91名)		
研修会	総合的な学習の時間「中津川探検隊」				
テーマ	中津川の植物や生き物について (1)中津川の現状環境 (2)8月と11月の活動テーマ材料調査の情報				
主催者からの実施報告	パワーポイントを使用して、中津川に関するクイズを出題しながら詳しく説明して頂いた。中津川の長さや歴史、生息している魚の種類など、中津川について学習していくための基本的な知識をわかりやすく学ぶことができた。河川敷では児童の質問に答えていただき、児童の興味関心を高めることができた。				

実施日	6/10(水)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	3年生児童 86名 引率 5名 (計 91名)		
研修会	総合的な学習の時間「中津川探検隊」				
テーマ	中津川の植物や生き物について (1)中津川の現状環境 (2)8月と11月の活動テーマ材料調査の情報				
主催者からの実施報告	河川敷では川の流れや川周辺の虫などに関する児童の疑問に答えていただき、児童の興味関心を高めることができた。				

実施日	6/10(水)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	3年生児童 86名 引率 5名 (計 91名)		
研修会	総合的な学習の時間「中津川探検隊」				
テーマ	中津川の植物や生き物について (1)中津川の現状環境 (2)8月と11月の活動テーマ材料調査の情報				
主催者からの実施報告	河川敷では川の流れや川周辺の虫などに関する児童の疑問に答えていただき、児童の興味関心を高めることができた。				
実施日	6/12(金)	主催者	特定非営利活動法人紫波みらい研究所	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	6名		
研修会	環境講座「着物リメイク講座」				
テーマ	箆笥に眠っている古着が生まれ変わることを愉しみながら体験してもらう				
主催者からの実施報告	4年目の講座で今年度も毎月第二金曜日、10回の開催(うち7回は自主開催)となります。環境講座としてダンスにしまいこんでいる着物の活用方法について学びます。 継続して参加の方を中心に、運営のお手伝いをしてもらいながら進めました。当初4月からを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため2カ月遅れての開催となりました。 今回は前半、コロナ対策のための着物をリメイクした簡単マスクの作り方を小赤澤先生から教えていただきました。				
実施日	6/12(金)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課(大田代小学校)	アドバイザー	小沢 宗
		対象	全学年19名 教師5名 ボランティア1名 計25名		
研修会	奥州市環境学習事業(水生生物調査)				
テーマ	水生生物調査を活用した水質調査				
主催者からの実施報告	水生生物採取では、積極的に取り組む児童が多く、夢中になって生物を採取していた。サワガニやヘビトンボなどを見つけることが出来た。 生物の分類・水質判定では、指標生物について講師に質問したり、下敷きを見たりしながら、真剣に分類していた。講師からもカワゲラとカゲロウの違いなどの説明があった。 調査のあと、講師から食物連鎖の仕組みについて説明があった。				
実施日	6/13(土)	主催者	岩手県立県南青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	28名(応募者22名、職員6名)		
研修会	令和2年度主催授業「ファミリートレッキング」				
テーマ	トレッキングのガイド (1)トレッキングについて安全上の注意点などをお話ししていただきたいです。 (2)トレッキング中に植物や景観などについてのガイドをお願いしたい。				
主催者からの実施報告	初めて親子登山をする家族もいたが、ゆとりのあるペース配分で、全員が安全に楽しく終えることができた。また、子どもたちに木登りをさせたり、登山道ではない道を歩きアドベンチャー体験をさせるなど、飽きることの無い内容であった。				
実施日	6/13(土)	主催者	骨寺村ガイドンズ運営協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	35名		
研修会	「須川と本寺の自然観察」				
テーマ	本寺地区で見ることができる野鳥が知りたい。				
主催者からの実施報告	当日は過ごしやすい天候で、遠くの焼石連邦や鳥海山も見ることができました。須川の植物もこれから見頃で、ちょうどよい時期に開催ができました。新型コロナウイルス感染症予防対策として、全員マスクを着用し、出発前に体温を測りました。バスは2台運行して中では密にならないようにあいだをあけて座りました。				

実施日	6/16(火)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課(伊手小学校)	アドバイザー	花澤 淳
		対象	4学年5名 教師1名 計6名		
研修会		奥州市環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査を活用した水質調査			
主催者からの実施報告		水生生物調査の説明では、講師が児童に五感で川を感じて楽しんで調査をするように講義した。生物の取り方のデモンストレーションを丁寧に行ってから実施したので、児童も同様に取り組めた。水生生物採取では、初めは上手く捕まえることが出来なかった児童も発見するのに慣れて、たくさん水生生物を捕まえていた。サワガニやカジカなども見つけることが出来た。生物の分類・水質判定では、指標生物について講師に質問し、真剣に分類していた。講師から流速の測定の仕方を説明したが、少し理解が難しかった様子であった。			

実施日	6/19(金)	主催者	新日本婦人の会 盛岡支部パンジー班	アドバイザー	粒針 文子
		対象	会員女性(5名)		
研修会		新型コロナでどう変わる ～私たちの暮らしと環境～			
テーマ		(1)新型コロナ対策と公衆衛生にみる世界の環境問題(SDGs)とふりかえり・まとめ(2)社会編の変化で特に注意すべき点(3)いま、何をしたらいいか			
主催者からの実施報告		「3つの密」をはかり実施した。この研修は、これからウイルスと共存していく我々にとって大変参考になったので、広めていきたい。			

実施日	6/22(月)	主催者	和賀地区自治協議会	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	北上市立和賀西小学校4年生児童 13名 大人9名 計22名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		自然の大切さやすばらしさ			
主催者からの実施報告		①鈴鴨川で1時間ほど、川の状態調査、水生生物の採取を行った。②学校に戻り、水生生物の仲間わけを行い、きれいな川であることを確認した。③水生生物の生態についての講義が行われた。④児童からの感想発表を行った。			

実施日	6/22(月)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課(衣川小学校)	アドバイザー	川田 昌代
		対象	衣川小学校4年生(14名)		
研修会		奥州市環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査を活用した水質調査			
主催者からの実施報告		水生生物調査の説明では、児童が事前学習をしていたため、講師が児童に質問を投げかけて採取の仕方や川の状態を確認する形となった。水生生物採取では、積極的に取り組む児童が多く、夢中になって生物を採取していた。生物の分類・水質判定では、講師が事前に採取した指標生物のサンプルを見たり、下敷きを見たりしながら、真剣に分類していた。調査のあと、講師への質疑応答時間を設けた。児童の興味・関心から次々と質問が飛び出したが、講師が豊富な知識をもとに返答していた。			

実施日	6/23(火)	主催者	盛岡ペットワールド専門学校	アドバイザー	高橋 良和
		対象	10名		
研修会		中津川の河川調査			
テーマ		動物を扱う学校なので、外来種等の影響を調べる。			
主催者からの実施報告		天候にも恵まれ、良い環境で調査を行えた。水は冷たかったが、生徒達も肌で感じ、生き物達の生息環境を理解することができていた。			

実施日	6/24(水)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課(稲瀬小学校)	アドバイザー	小沢 宗
		対象	稲瀬小学校4年生(18名)		
研修会		奥州市環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査を活用した水質調査			
主催者からの実施報告		講師が事前に採取した水生生物を分類し、観察する室内学習の形での実施であった。生物の分類・水質判定では、下敷きをみたり、講師に質問したりしながら、真剣に生物を分類していた。解剖顕微鏡を使用し、気に入った生物を観察して、特徴などを絵にした。気づいたことなどのコメントも記入し、良く観察出来ていた。調査後に、講師から食物連鎖の仕組みについての話と水の循環についての話があった。			

実施日	6/25(木)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課(黒石小学校)	アドバイザー	小沢 宗
		対象	黒石小学校 3・4年生 (15名)		
研修会		奥州市環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査を活用した水質調査			
主催者からの実施報告		水生生物調査の説明では、県の水質マップに掲載される重要な調査であるため、児童へ真剣に取り組むようにと講師から指導があった。水生生物採取では、積極的に取り組む児童が多く、夢中になって生物を採取していた。サワガニを多く採取することが出来、歓声が沸いていた。生物の分類・水質判定では、講師に質問するなどして真剣に分類していた。水質の他に班ごとにたくさん採取した生物や(なかなか採取出来ないが、)特別に採取出来た生物の発表をした。調査のあと、講師から食物連鎖の仕組みについて説明があった。			

実施日	6/25(木)	主催者	宮古市立新里小学校	アドバイザー	泉山 博直
		対象	新里小学校5年生児童 および 引率職員 (11+4名)		
研修会		自然教室			
テーマ		地域の川を知ろう(1)閉伊川の特徴について(2)水質調査の方法について			
主催者からの実施報告		子ども達にとって、初めての水生生物を探すという活動ということで、川の生き物を探すことに意欲的に取り組んでいた。下敷きで確認できない生き物については、講師の方に進んで声をかけて質問していた。4年社会科の学習で、「閉伊川の水は消毒するだけで飲めるようになるくらいきれい」だという話を聞いていたので、「きれいな水」にすむ生き物をたくさん見つけられたことで、学習を深めることができた。			

実施日	6/25(木)	主催者	宮古市立磯鷄小学校	アドバイザー	水木 高志
		対象	宮古市立磯鷄小学校第4学年児童(47名)		
研修会		総合的な学習の時間『八木沢川探検隊』			
テーマ		(1)八木沢川上流に生息している水生生物の名前や生息環境について (2)生息している水生生物からわかる水のきれいさについて(3)生息している水生生物が餌にしている生き物について			
主催者からの実施報告		予定どおり、水辺の生物と植物について、実地で詳しく教えていただいた。			

実施日	6/28(日)	主催者	赤生津地域活性化協議会	アドバイザー	川田 昌代
		対象	一般・子ども(30名)		
研修会		赤生津まるごと体験塾			
テーマ		(1) ホタルの生態と生息の条件・保護の仕方(2) ホタルを私達が守るためにすべきこと			
主催者からの実施報告		新型コロナ感染防止を徹底するため、当初内容を変更し、ホタルの生態についての説明と「観察上」の留意事項について解説を行って頂いた。併せて、地元の人達にホタルを保護するために留意していることや、地域の生息地についての情報を提供してもらい、家族での観察を後押しするような内容にした。			

実施日	6/28(日)	主催者	岩手県立県北青少年の家	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	一般来場者 86名		
研修会	プラネタリウム鑑賞デー①				
テーマ	天体観測・季節の星空観測について				
主催者からの実施報告	宇宙や星座について				

実施日	6/30(月)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課(梁川小学校)	アドバイザー	花澤 淳
		対象	3・4学年16名 教師2名 計18名		
研修会	奥州市環境学習事業(水生生物調査)				
テーマ	水生生物調査を活用した水質調査				
主催者からの実施報告	水生生物調査の説明では、虫が苦手な児童が多くいたため、虫に触れること・楽しむことを目標に実施するように講師から話があった。水生生物採取では、虫が触れない児童も次第に慣れ、夢中になって生物を採取していた。生物の分類・水質判定では、講師に質問するなどして真剣に分類していた。同じ場所でも実施したが、班ごとに採取出来た生物が異なったため、互いの採取した生物について確認し合った。調査のあと、講師から食物連鎖の仕組みについて説明があった。				

実施日	6/30(月)	主催者	岩泉町立大川小学校	アドバイザー	泉山 博直
		対象	岩泉町立大川小学校 児童9名 教師5名 講師1名 計15名		
研修会	水生生物調査				
テーマ	大川の水生生物を調べよう。(1)身近な環境にいる水生生物の生態等(2)環境を守るために大切なこと				
主催者からの実施報告	気温はあまり高くなく、前週の雨による水量が心配されたが、さほど高くはなかった。また、水の濁りもなかった。小雨が降り出したので、時間を縮めて実施した。低・中学年は、流れの弱い浅い場所で活動した。高学年は、河原から川を中心部まで活動することができた。早めに切り上げたので、学校で講師から水生生物の生態や環境についてお話を伺った。				

実施日	7/2(木)	主催者	宮古市立磯鷄小学校	アドバイザー	水木 高志
		対象	宮古市立磯鷄小学校4年生児童47名、教員2名		
研修会	総合的な学習の時間『八木沢川探検隊』				
テーマ	八木沢川上流の水生生物調査 (1)八木沢川上流に生息している水生生物の名前や生息環境について (2)生息している水生生物からわかる水のきれいさについて (3)生息している水生生物が餌にしている生き物について				
主催者からの実施報告	予定を変更して学校で事後学習を行った。水生生物や川の流れの仕組み、地球の陸地と海洋の割合などについて、実験を交えながら説明していただいた。				

実施日	7/3(金)	主催者	山田町	アドバイザー	水木 高志
		対象	豊間根小学校 4年生 36名		
研修会	水生生物調査				
テーマ	身近な川と触れ合うことで、水環境保全意識の形成を図る。				
主催者からの実施報告	調査方法などを説明してもらい4班に分かれて調査を行った。調査中は虫の捕まえ方やわからない虫がいたときに指導していただいた。				

実施日	7/4(土)	主催者	狐禅寺子屋(一関狐禅寺市民センター)	アドバイザー	千葉 裕
		対象	28人		
研修会	狐禅寺子屋「狐禅寺の川や沢の水辺調査をしよう」				
テーマ	滝沢川に生息している水生生物と水質について ・川の汚れについて・川をきれいにするための注意すること・水辺の遊び場にするために必要なこと				
主催者からの実施報告	雨天のため、センター内で水辺の水生生物についてスライドを見ながら講和後、市民センター周辺の動物観察を実施。水辺の調査は、雨が降って危険防止のため沢や川の調査は実施しませんでした。				

実施日	7/5(日)	主催者	環境マイスター紫波	アドバイザー	高橋 良和
		対象	環境マイスター紫波会員 (計20名)		
研修会		環境マイスター紫波スキルアップ研修会			
テーマ		1. 雫石町におけるチョウセンアカシジミの保護活動 2. チョウセンアカシジミの生態と生息環境			
主催者からの実施報告		天候は曇り時々雨。役場に集合後、セツ森墓地公園に移動。講師の解説を聞きながらデワトネリコの本とチョウセンアカシジミの卵を観察。時折小雨の降る天候だったため、飛んでいるチョウセンアカシジミを観察することができなかった。その後、御所湖野菊公園に移動し、講師からチョウセンアカシジミの保護活動について講話をいただいた。			

実施日	7/9(木)	主催者	一関市立大東小学校	アドバイザー	千田 典文
		対象	第3学年児童 男21名 女16名 引率4名 (計41名)		
研修会		3年生 総合的な学習の時間「水生生物調査」			
テーマ		1. 採取した水生生物の判別 2. 調査結果からの水質判定 3. 河川や水質の状況と環境との関連について(児童向け)			
主催者からの実施報告		講師の千田先生には、今年も丁寧に教えていただきました。昨年もでしたが、単に生物調査だけでなく、自然の中での体験活動という側面からも考慮していただき、子どもたちにとっては、忘れられない貴重な体験ができたと思います。水生生物調査については、定点観察の視点から今後も継続していきたいと考えておりますので、来年度もぜひお願いしたいと思います。ありがとうございました。			

実施日	7/9(木)	主催者	安代地域多面的機能保全組織	アドバイザー	高橋 良和
		対象	・安代地域多面的機能保全組織荒屋地区構成員 4名 ・安代土地改良区 3名 ・安代小学校生徒 13名 ・引率者 3名 ・環境アドバイザー講師 1名 (計17名)		
研修会		安比川水生生物・水質調査			
テーマ		水生生物調査・水質調査 (1)河川での実地調査と楽しい話 (2)安全な川での遊び			
主催者からの実施報告		講師による調査方法の説明の後、実際に水生生物を捕獲し川の生きものから安比川の水質判定を行った。川の周辺にある植物やごみなどから、水質の保全や自然保護に関わる講義を行った。			

実施日	7/9(木)	主催者	八幡平市立田山小学校	アドバイザー	河野 豊
		対象	5・6年生児童11名、引率2名(計13名)		
研修会		総合的な学習の時間			
テーマ		(1)水の中の生き物について (2)郷土の河川の水質について			
主催者からの実施報告		天気予報が変わって日程を変更を二転三転してしまったのですが、快く引き受けてくださり、昨年度に引き続き、とても丁寧にそして楽しく、児童にもわかりやすく対応していただきました。今年度の川の様子も少し違って、郷土の河川環境について、そして水生生物について、また新しく学ぶことができました。			

実施日	7/10(金)	主催者	特定非営利活動法人紫波みらい研究所	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	紫波町内に住んでいる方 6名		
研修会		着物リメイク講座②			
テーマ		箆笥に眠っている古着が生まれ変わることを楽しみながら体験してもらう			
主催者からの実施報告		今年度2回目の講座で、前回コロナ対策のための着物をリメイクした簡単マスクの作り方を小赤澤先生から教えていたので、各自が自宅で作ったマスクを見せ合うところからはじまりました。その後は、前回の続きや新しい作品に取り組みました。慣れてきた方は、1回の講座の時間内に1作品作れるまでになりました。			

実施日	7/10(金)	主催者	遠野市立綾織小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	児童15名 教員2名 講師1名 計18名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		(1)水生生物調査の意味 (2)水生生物の種類			
主催者からの実施報告		綾織町内砂子沢川にて、講師小田嶋氏のもと、水性生物調査を行った。水生生物を捕獲した後、本校理科室に運び、児童と一緒に生物の名称と数をまとめ、砂子沢川の水質段階を判定した。			
実施日	7/11(土)	主催者	特定非営利活動法人奥州いわてNPOネット	アドバイザー	小沢 宗
		対象	大人5人(内中学校の教諭1) 小学生11人 中学生5人 岩谷堂地区振興会4人NPOのスタッフ3名 計29人		
研修会		故郷の川・岩谷堂人首川水生生物調査			
テーマ		岩谷堂地内を流れる人首川の生物調査により、川の水質を守る取り組みを学ぶ			
主催者からの実施報告		4, 5日前まで雨天が続き、開催が危ぶまれた。4日前頃から雨がやみ水量が減り始めたことから、毎日川の様子を観察し、本流から離れた浅瀬で行うこととした。浅瀬の葦の近くや小石の下からエビやヒラタドROMシ、など比較的きれいな水に生息する水生生物やオイカワの稚魚等が観察された。			
実施日	7/12(日)	主催者	骨寺村ガイドス運営協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	一関市民(20名)		
研修会		須川と本寺の自然観察			
テーマ		日本の原風景が残る本寺地区とその周辺の自然を学ぶ。須川と本寺地区で見ることができる花や野鳥について知りたい。			
主催者からの実施報告		当日は朝から雨で止むことはありませんでしたが、本寺の観察の頃は小雨になりました。参加者全員ケガすることなく終了できました。新型コロナウイルス感染症の予防対策として、全員マスクを着用し、出発前に体温を測りました。バスの中では密にならないように間隔をあけて座りました。			
実施日	7/16(木)	主催者	盛岡市文化振興事業団 都南公民館	アドバイザー	櫻井 則彰
		対象	小学生とその保護者 (計40名)		
研修会		親子ホタル観察講座			
テーマ		ホタルの生態など基礎知識の学習と現地視察 1.乙部(大ヶ生)地区で観察されるゲンジ・ヘイケ・ヒメボタルについて、それぞれの特徴と見分け方 2.ホタルが光るしくみ			
主催者からの実施報告		・雨が降っており気温も低かったため3種類のホタルが観察できなかったが、ヘイケボタルとゲンジボタルの2種類を観察することが出来た。今後も希少な場所であることを認識するとともに、はじめての感動を多くの子ども達に伝えていきたい。・親子とも関心が高く、講師の講話も、ホタルの生態と同時に豊かな自然を守る事の大切さも学ぶことができ大変有意義であった。			
実施日	7/16(木)	主催者	盛岡市立下橋中学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	小学生(計68名)		
研修会		第1学年 川体験に向けての講演会			
テーマ		川の役割と生物 ・中津川の水生生物と環境保全の取組について			
主催者からの実施報告		8月に行われる「川体験学習」にむけて、環境についてなぜ学ぶのかを中心に講義をしていただきました。環境についての学びは、今はどこでもやっているが、自分なりに環境学習の意味をきちんととらえておくことが、正しい学習の在り方だということを改めて確認させていただきました。			

実施日	7/16(木)	主催者	一戸町立一戸南小学校	アドバイザー	中野 雅幸
		対象	児童16人 担任等2人 計18名		
研修会	馬淵川の歴史や様子と環境について 森林環境について				
テーマ	(1)馬淵川に生きる水生生物について (2)馬淵川の水のきれいさについて(昔の様子についてもお聞きしたい)				
主催者からの実施報告	馬淵川の水生生物調査をする予定でしたが、豪雨による川の水が増水したため、学習内容を変更して研修を行いました。 ・馬淵川の歴史と川の様子について(生息する虫なども含む) ・森林環境と暮らしの関わりについて				

実施日	7/17(金)	主催者	盛岡市乙部地区公民館	アドバイザー	櫻井 則彰
		対象	小学生とその保護者(計40名)		
研修会	親子ホタル観察講座				
テーマ	盛岡市見前南地区公民館との合同開催。公民館で学習の後、市バスで大ケ生万寿坑入口付近へ移動。座学時のホタルの特長と見分けが分かる様な資料をお願いする。 ホタルの生態など基礎知識の学習と現地視察 ・乙部(大ケ生)地区で観察されるゲンジ・ヘイケ・ヒメボタルについて、それぞれの特徴と見分け方 ・ホタルが光るしくみ				
主催者からの実施報告	・18:45～19:15 第1研修室にて講話 ・19:25 大ケ生へバスにて移動 ・19:40 大ケ生到着後、虫壁川の下流に向かって徒歩にて観察。 ・曇っていたせいか暗くなるのが早く、現地に到着してすぐに草むらで光るホタルに加えて思っていたより多くの飛んでいるホタルを観察することができたのはよかった。 ・20:25 乙部地区公民館へ移動 20:40 乙部地区公民館到着 20:55 見前南地区公民館到着 ・21:00 解散。				

実施日	7/17(金)	主催者	奥州市 市民環境部 生活環境課(羽田小学校)	アドバイザー	小沢 宗
		対象	羽田小学校 3学年21名 教師4名		
研修会	奥州市環境学習事業(水生生物調査)				
テーマ	水生生物調査を活用した水質調査				
主催者からの実施報告	講師が事前に採取した水生生物を分類し、観察する室内学習の形での実施であった。 生物の分類・水質判定では、下敷きをみたり、講師に質問したりしながら、真剣に生物を分類していた。 解剖顕微鏡を使用し、気に入った生物を観察して、特徴などを絵にした。気づいたことなどのコメントも記入し、良く観察出来ていた。 調査後に、講師から食物連鎖の仕組みについての話と水の循環についての話があった。				

実施日	7/17(金)	主催者	雫石町立御明神小学校	アドバイザー	高橋 良和
		対象	小学4年生16名 教師2名 (計18名)		
研修会	水生生物調査				
テーマ	身近な自然を守ろうという意欲を高める 環境を考える ・環境と水生生物				
主催者からの実施報告	・事前と事後に、環境との関わり方や環境を守る意義についての講話があった。・水生生物調査では、探し方や虫の種類の特定のアドバイスがあった。				

実施日	7/17(金)	主催者	遠野市立宮森小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	20人		
研修会	水生生物調査				
テーマ	(1)どんな生き物が住めるようになればよいのか。 (2)きれいな宮守川を残すにはどんなことに気を付けていけばよいか。				
主催者からの実施報告	例年行っている行事でアドバイザーも同じ方なので、子ども達が安心して活動することができた。 川の流れが早かったが、多くの生物を探ることができ、満足できたと思う。				

実施日	7/17(金)	主催者	洋野町立帯島小学校	アドバイザー	中野 雅幸
		対象	帯島小学校4年生11名、教員2名(計13名)		
研修会		海とつながろう			
テーマ		1.いさだの捕獲2.砂浜清掃3.たなご釣り			
主催者からの実施報告		<ul style="list-style-type: none"> ・原子内水門付近の砂浜で、砂浜の現状を把握し、ごみ拾いをした。 ・原子内水門付近の砂浜で、いさだ採りをした。 ・大野漁港で、採ったいさだを餌に鯿を釣った。 			

実施日	7/18(土)	主催者	八幡平銀河ステーション	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	県内外の星見愛好家 (計15名)		
研修会		星を見る会			
テーマ		天文 (1)岩手県が星の観測のしやすい環境であるということの啓蒙 (2)基本的な天体観測の知識			
主催者からの実施報告		コロナ対策として、座席の間隔を取り、全員マスク着用、全員検温、アルコール消毒、換気をした上で開催いたしました。 曇り空の中での開催でしたが、参加者にお子さん何名かいたこともあり、子供にもわかりやすく光害の話や、夏休みの自由研究に使える天体の話をお話し参加者の方は満足して帰られました。			

実施日	7/19(日)	主催者	赤生津地域活性化協議会	アドバイザー	川田 昌代
		対象	一般・子ども (計30名)		
研修会		赤生津まるごと体験塾 里山観察会“夏の経塚・月山”を訪ねて (今回のテーマ:人々の暮らしを支えてきた植物達の解説と俺達の里山紹介)			
テーマ		夏山の植物観察 (1)植物の名前と特徴 (2)植物を守ることの大切さと人との共生の大切さ			
主催者からの実施報告		<ul style="list-style-type: none"> ●3班にわかれ、広場内の“たからものりすと”にある9つのテーマに沿って採し物をした。 ●講師が事前に下見し作り上げた「観察資料(写真入り・植物名入り・食用となるものの解説も掲載したもの)」と合わせた、植物解説を行ってもらい、改めて身近な植物達の理解を深めた。 ●地元の人達からは、昔遊んだエピソードの紹介や一帯の巨石信仰にまつわる解説も聞いた。 			

実施日	7/19(日)	主催者	とうわ野鳥の会	アドバイザー	根子 英郎
		対象	大人・子ども(人数30名)		
研修会		川のいきもの調べ			
テーマ		川の生き物調べを通して東和町の豊かな自然を再確認し、自然環境保全の一助とする。(1)川に生息する生き物の名前(2)川に生息する生き物と水質との関係(3)川に生息する生き物どうしのつながり(食物連鎖)			
主催者からの実施報告		今年は連日の雨で例年より水量が多く、子供たちの参加も多かったこともあり、水深の浅い場所で実施する。 班ごとに川に入り、子供たちは目を輝かせて網で魚や生き物を捕まえ、あまり怖がることもなく手で捕まえバケツに移していた。その後、班でシートを見ながら名前を調べ記録する。 講師が班をまわり、まちがって同定しているものは訂正、全体のまとめの中で、47種類の生き物が確認できたこと、その中には今年初めて見られた5種類の生き物についての話があった。わかりやすい説明で参加者は十分満足していたようであった。			

実施日	7/21(火)	主催者	一関市小梨市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	千厩地域住民(計20名)		
研修会		令和2年度せんまや里山塾「リフォームコース(古着の有効活用リメイク教室)」			
テーマ		古着の有効活用リメイク教室			
主催者からの実施報告		予定より2ヶ月遅れての開催でしたのでみなさん楽しみに待っていたようでした。研修中の注意事項を説明し研修に入りました。例年より少ない回数の研修ですが作品の完成を目指していきたいと思ひます。			

実施日	7/24(金)	主催者	教育振興会川舟貝沢実践班	アドバイザー	田中 實
		対象	児童10名、保護者8名 (計18名)		
研修会		自然観察会(水生生物)			
テーマ		水生生物調査と自然観察			
主催者からの実施報告		はじめに「水生生物」についての簡単な「お話」をお願いしその後川に入り水生昆虫探しをした。以前よりやや上流で実施、川幅もあり危険性も少ない場所を選んだ。前回より数は少なかったが子どもたちは十分自然を満喫しながら楽しんでいる様子だった。採取後みんなで図鑑を見ながら名前を確認した。一緒に捕まえたハヤの幼魚や、カジカの幼魚も観察できた事もよかった。			

実施日	7/25(土)	主催者	特定非営利活動法人 いちのへ文化・芸術NPO	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	幼児から小学生とその保護者20組 (計40名)		
研修会		親子deサイエンス図書館～星空(ソラ)はとってもおもしろい未来に残そう満点の星空～			
テーマ		星空について 光害について(1) 一戸町で見える星空(2) 星空の観察方法			
主催者からの実施報告		一戸町の星空と東京など都市部の星空を比較し、光害や星空環境について説明して頂きました。小さなお子様も多かったのですが、実際の星空の写真や、映像ソフトで身近にみられる星空を投影して頂いたの、わかりやすかったと思います。 講座のあと、蓄光粘土にビーズ等を貼り付け「満天の星空レリーフ」を作りました。自分の星座に挑戦する児童、一戸町のゆるキャラ「ごしょどん」星座を作る児童もいました。楽しく星空について学びました。			

実施日	7/27(月)	主催者	盛岡市立北陵中学校 科学部	アドバイザー	安原 昌佑
		対象	盛岡市立北陵中学校 科学部(計41名)		
研修会		科学部水生生物調査			
テーマ		水生生物調査の仕方 水生生物調査の注意事項 (1)水生生物を採取するとき気をつけること (2)どのような水生生物がいればどのような水質なのか (3)水質検査の仕方			
主催者からの実施報告		川にすむ水生生物と、周りにいる昆虫などを観察する視点を学んだ。また、カワシンジュガイが希少であることについて学び、川の環境を守る大切さを学んだ。			

実施日	7/29(水)	主催者	盛岡市文化振興事業団 都南公民館	アドバイザー	櫻井 則彰
		対象	小学生とその保護者(計40名)		
研修会		親子ホタル観察講座			
テーマ		ホタルの生態など基礎知識の学習と現地観察 (1)乙部(大ケ生)地区で観察されるゲンジ・ヘイケ・ヒメボタルについて、それぞれの特徴と見分け方 (2)ホタルが光るしくみ			
主催者からの実施報告		・連日の大雨でホタルの数は少なかったが、3種類のホタルが観察できた。半紙にくるんでの観察は好評であった。今後も希少な場所であることを認識するとともに、はじめての感動を多くの子供たちに伝えていきたい。・親子とも関心が高く、講師の講話も、ホタルの生態と同時に豊かな自然を守る事の大切さも学ぶことができ大変有意義であった。			

実施日	7/30(木)	主催者	遠野市立遠野小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	遠野小学校ボランティア委員会児童5・6年生12人、引率2人(計14名)		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物調査 (1)来内川は岩手県内の河川の中できれいな方なのか。 (2)本校での同じ場所の調査なのに、実施年度によって綺麗さに違いがあるのはなぜか。 (3)私達(子ども達)が、日常、何に気を付けると、川が綺麗になるのか。			
主催者からの実施報告		水生生物調査の予定であったが、延期日も対象河川(来内川)の水量が多く「水生生物学習会」を行った。 水生生物調査の意義・考え方、指標生物の4分類、調査場所選定の条件など、今までの実際の調査では学ばなかったことも知ることができた。子ども達はプレゼンテーションソフトによる調査の手順や、ゲンジボタルの生態・飼い方の資料など集中して見入っていた。			

実施日	7/30(木)	主催者	紫波町立紫波第一中学校	アドバイザー	佐藤 喜一
		対象	紫波第一中学校科学部中学生13名、教員1名(計14名)		
研修会	科学部				
テーマ	水生生物による水質調査、バックテストによる水質調査 (1)水生生物からわかる紫波町を流れる北上川の水質 (2)バックテストでわかる紫波町を流れる北上川の水質。COD PH リン酸				
主催者からの実施報告	河川増水のため、予定していた生物調査は行わず、PCR(生物遺伝子)検査のみ実施。				

実施日	8/1(木)	主催者	浄土ヶ浜ビジターセンター	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	一般 計20名		
研修会	浄土ヶ浜 星空観察会				
テーマ	天体・星の話や観察方法など (1)夏の時期に浄土ヶ浜で見ることのできる天体や星に関して (2)一般の方が天体や・星を観察する際の観察機器や方法など				
主催者からの実施報告	岩手県で初のコロナ患者が出た為、参加者にはマスクの着用・アルコール消毒を徹底させた。室内での解説時はソーシャルディスタンスが保てるよう椅子を設置。当日は、霧が厚く海から霧が流れ込み星空観察が難しい状況だった為、当初の予定を変更し外の様子を見つつ室内で天体の観察を行うという流れとなった。2階メインスクリーンを使用しイベント時に浄土ヶ浜で見える天体について解説。その後、1回目の観察では霧が濃く星を見つけることはできなかったが、2回目の観察では天体望遠鏡を使い雲の合間に月と木星を観察することができた。				

実施日	8/1(土)	主催者	東和地区教育振興運動実践協議会浮田支部	アドバイザー	根子 英郎
		対象	教育振興運動浮田支部親子 20名		
研修会	毒沢川水生生物調査 浮田地区コミュニティ会議共催事業				
テーマ	毒沢川水生生物調査 (1)水生生物調査により環境問題を学ぶ				
主催者からの実施報告	3人ずつ3グループに分かれて、場所を交換しながら1時間程度水生生物を網で捕まえてバケツに入れた。その際、捕まえるコツや水生生物が隠れていそうな場所について、個々に先生からアドバイスを受けた。まとめの時間では、グループごと順番に、捕まえた生物の名前や特徴について先生が解説。最後に、全体で観察できた生物について確認を行った。大雨の4、5日後だった為、普段ならこの地点で見られない生物が見つけれられたこと、一方では、大雨で生物が流された可能性があり、今回見つけれられた生物の種類が24種類と、比較的少なかったこと、また観察できた生物の種類から、この地点の水は水質階級Ⅱの少しきたない水であることなど、説明があった。子どもたちは生き物を探っては網の中を覗き込み、普段ではあまり体験することがない、川での生き物探しに夢中になっていた。また、夏休みの自由研究に結びつけるなど、次の学習に繋げるといった効果が見られた。				

実施日	8/1(土)	主催者	平泉町立平泉小学校4区PTA	アドバイザー	川田 昌代
		対象	平泉町立平泉小学校 児童 保護者(計15名)		
研修会	太田川カジカ調査				
テーマ	川の生物調査 (1)生物調査を通じた、地域の環境の変化について (2)生活が環境に与える影響について				
主催者からの実施報告	はじめに生物調査の方法・注意事項を説明いただき、川に入っでの生物調査を行いました。低学年の児童もいましたが、講師の方の説明を聞きながら、興味を持って取り組んでいました。生物調査の後には、水環境にかかるお話もいただきました。				

実施日	8/2(日)	主催者	一関市狐禅寺市民センター	アドバイザー	佐藤 良平
		対象	小学生未満の子供(保護者の同伴)		
研修会		川遊びまつり in 滝沢川			
テーマ		水生生物調査 (1)水生生物の名前について(2)水生生物の生態について(3)川の自然環境保護の大切さについて			
主催者からの実施報告		滝沢川の川辺で、未就学児11人が水生生物(トンボ、蝶、てんとう虫、ドジョウ、川魚、エビ、カニ、ウシガエルのオタマジャクシなど)に触れたり、捕まえ方を教わったりした。			

実施日	8/2(日)	主催者	ガールスカウト岩手県第3団	アドバイザー	高橋 良和
		対象	ガールスカウト・リーダー・保護者 (計10名)		
研修会		中津川河川敷			
テーマ		水生生物調査 (1)環境に興味をもつ。年少スカウトには、身近な川に親しむ、学ぶ。 (2)自分たちが調査したことが、役に立つことを知る。川を大切に作る。			
主催者からの実施報告		・川についての講義(楽しいこと、危険なことなど) ・実技(川に入って、水生生物調査) ・まとめ ・ごみについて(河川敷から歴史文化館前広場までのゴミ拾いとごみについてのお話し)			

実施日	8/3(月)	主催者	北稜中学校科学部	アドバイザー	安原 昌佑
		対象	北稜中学校科学部 41名		
研修会		北稜中学校科学部水生生物調査第2回			
テーマ		・水生生物調査の仕方 ・水生生物調査の注意事項 (1)水生生物調査を採取するとき気を付けること (2)どのような水生生物がいればどのような水質なのか (3)水質検査の仕方			
主催者からの実施報告		川に住む水生生物と、周りにいる昆虫などを観察する視点を学んだ。また、カワシンジュガイが希少であることについて学び、川の環境を守る大切さを学んだ。			

実施日	8/3(月)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課(奥州市立水沢南中学校)	アドバイザー	花澤 淳
		対象	科学部19名 教師2名 (計21名)		
研修会		奥州市立水沢南中学校付近			
テーマ		水生生物調査を活用した水質調査			
主催者からの実施報告		水生生物調査の目的について、講師が説明をし、生物との触れ合いを楽しみながら水生生物を採取した。 生物の分類・水質判定では、その他の生き物が多く、指標生物は少なかったが、下敷きをみたり、講師に質問しながら、真剣に生物を分類していた。 CODのパックテストも実施し、水と水道水の反応の違いを体験した。調査後に、講師から食物連鎖の仕組みについての話が合った。生物多様性が早い速度で失われている現状について伝え、自分に出来ることから環境保全の取組みについて考えてもらうよう話した。			

実施日	8/4(火)	主催者	陸中海岸青少年の家	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	小学生25名 高校生・社会人ボランティアスタッフ11名 (計36名)		
研修会		令和2年度 マリンランド陸中自然体験塾①海の子野外教室			
テーマ		星空観察会 (1)夏に見える星座について (2)星座や星に関する説話等について (3)自然の持つよさ・素晴らしさについて			
主催者からの実施報告		星空の観察を通して、身近な自然環境の素晴らしさについて考えるよい機会となった。分かりやすい講話と自分の目で月や星を観察できる時間があり、参加者の感想からも「星空や星座のことがたくさん知れた」や「望遠鏡で観察できて楽しかった」の声が多くあるなど、とても満足度が高い研修であった。			

実施日	8/4(火)	主催者	山目地区まちづくり協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	子供18名 事務局3名 (計21名)		
研修会	わくわくぼうけんじゃー				
テーマ	昆虫採集及び里山観察				
主催者からの実施報告	赤荻外山地内の道路工事現場で、1500万年前の地層を見学。子どもたちは地層より「石」に興味を示し、多くの質問を投げかけていた。その後里山に分け入り昆虫採集。しかし昆虫の姿はなく、セミの鳴き声すら聞こえない状況。辛うじて、トンボが飛んでいたののでトンボを追いかけ走り回っていた。偶然にもヤスマツビナナフシを発見し、捕獲。普段木の上にいるので地上で見つかるのは珍しいと聞き、喜んでた。広報いちのせきに掲載及び、一関テレビで放送された。				

実施日	8/4(火)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課(奥州市立水沢中学校)	アドバイザー	小沢 宗
		対象	科学部26名 教師2名 保護者1名 (計29名)		
研修会	奥州市環境学習事業(水生生物調査)				
テーマ	水生生物調査を活用した水質調査				
主催者からの実施報告	水生生物調査の目的について、講師が説明をし、デモンストレーションをしてから水生生物を採取した。生物の分類・水質判定では、講師に質問したりしながら、真剣に生物を分類していた。講師も積極的に生徒の採取したものを確認し、生物について教えていた。CODのパックテストやpH試験紙による水質調査も実施し、川の水と水道水や酢との反応の違いを体験した。調査後に、講師から食物連鎖の仕組みについての話があった。				

実施日	8/4(火)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課(奥州市立水沢中学校)	アドバイザー	川田 昌代
		対象	科学部26名 教師2名 保護者1名 (計29名)		
研修会	奥州市環境学習事業(水生生物調査)				
テーマ	水生生物調査を活用した水質調査				
主催者からの実施報告	水生生物調査の目的について、講師が説明をし、デモンストレーションをしてから水生生物を採取した。生物の分類・水質判定では、講師に質問したりしながら、真剣に生物を分類していた。講師も積極的に生徒の採取したものを確認し、生物について教えていた。CODのパックテストやpH試験紙による水質調査も実施し、川の水と水道水や酢との反応の違いを体験した。調査後に、講師から食物連鎖の仕組みについての話があった。				

実施日	8/5(水)	主催者	「あこおぎ子ども広場」一関学習交流館	アドバイザー	千田 典文
		対象	児童 保護者 指導員 職員 計22名		
研修会	放課後子ども教室推進事業『あこおぎ子ども広場』夏休み特別プログラム 沢登り体験				
テーマ	自然界の植物、動物の基礎知識 (1)沢に生息する生物の種類や特徴について (2)里山の植物や野鳥、生き物について (3)沢登り体験の基本的知識について				
主催者からの実施報告	学校教育や家庭生活ではなかなか体験できない自然とのふれあいを体験しようと、毎年夏休みの時期に沢登りを計画しています。今年は、コロナウイルスの感染防止予防対策のため参加人数を例年の半分にしました。環境アドバイザーの千田様に、沢遊びの知識や注意点、沢に生息する動植物の説明をしていただき、子供たちは貴重な体験をすることができました。参加した児童は近寄ってくるアブに大騒ぎしていましたが、サンショウウオやオタマジャクシ等を捕まえて大いに喜んでいました。				

実施日	8/5(水)	主催者	古代の流れ源流「網代滝」を守る会	アドバイザー	菅原 民子
		対象	エコキッズ会員30名、保護者他10名		
研修会	みずさわエコキッズ令和2年度第2回活動				
テーマ	かじかをじっくり観察します。 オニヤンマの羽化が見られたらグッドです。				
主催者からの実施報告	大久保川の中流部である桜橋付近での水生生物調査 3班に分かれて別紙集計用紙のとおり実施した。				

実施日	8/6(木)	主催者	黒岩自治振興会	アドバイザー	藤原 正
		対象	白山わいわい塾生 10名、大人 5名 計15名		
研修会	少年少女学級 白山わいわい塾「水辺の生物調査」				
テーマ	水生生物観察				
主催者からの実施報告	猛暑による熱中症、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策に注意をしながら(気温28℃、水温18℃)水生生物の採取・観察を行った。サワガニやトビゲラ類が多く採取出来たことから「きれいな川」であることを知り、これからもゴミを捨てないことなど環境を大事にする大切さを学んだ。				

実施日	8/6(木)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課(奥州市立江刺第一中学校)	アドバイザー	小沢 宗
		対象	科学部26名 教師2名 計28名		
研修会	奥州市環境学習事業(水生生物調査)				
テーマ	水生生物調査を活用した水質調査				
主催者からの実施報告	水生生物調査の目的について、講師が説明をし、デモンストレーションをしてから水生生物を採取した。生物の分類・水質判定では、講師に質問したりしながら、真剣に生物を分類していた。講師も積極的に生徒の採取したものを確認し、生物について教えていた。CODのパックテストによる水質調査も実施し、川の水と水道水や酢との反応の違いを体験した。調査後に、講師から食物連鎖の仕組みについての話があった。				

実施日	8/6(木)	主催者	涌津まちづくり協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	一関市立涌津小学校3年生～6年生 計10名		
研修会	放課後子ども教室・学びの土曜塾「自然探検と沢遊び」				
テーマ	自然観察 昆虫採集 沢遊び				
主催者からの実施報告	午前中はいちのせき健康の森周辺の自然探検と昆虫採集。千田さんの知識の深さに子どもたちが引き込まれ暑さも忘れて見つけた植物や昆虫の名前を質問していました。午後は沢遊び。はじめは恐る恐る水に入った子どもたちですが、すぐに水になれ自然の滑り台を滑ったり水生動物の観察をしたりしていました。				

実施日	8/8(土)	主催者	いちのへ文化・芸術NPO	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	一般、親子連れ 計20名		
研修会	ごしょの自然体験「縄文の星空を体験しよう」				
テーマ	縄文と現在の星空の違いについて (1)光害の問題を中心に縄文と現在の星空の違いについて				
主催者からの実施報告	当日は、はじめに公園に併設された博物館内で一戸で見られる星空の概要と御所野縄文公園周辺や一戸町の光害の問題について触れた。その後縄文時代の星空がどのようなものであったかをコンピューターでシュミレートして解説した。当日は曇天のため天体の観測はできなかったが、次第に雨に移り変わっていく気象の変化を観察することができた。				

実施日	8/9(日)	主催者	金沢市民センター	アドバイザー	川田 昌代
		対象	地区小中高校生および保護者(計50名)		
研修会	かざFes! 2020				
テーマ	川の生き物を調査して、川の状況や今後の取り組みなどを考えたい				
主催者からの実施報告	雨天のため室内での講習会となったが、講師が前日に川で生物を採取しており、その生物を観察し調査した。また、とりまとめまで行ってもらえた。子どもたちの興味が湧くような内容で進行いただきとても盛り上がった。				

実施日	8/15(土)	主催者	特定非営利活動法人遠野エコネット	アドバイザー	内田尚宏
		対象	小4年～中3年までの児童生徒21名、大学生9名、成人5名(計35名)		
研修会	夏のエコキャンプ「水辺の安全講習(レスキュー法・実践編)」				
テーマ	(1)川下りの際のリスクマネジメント (2)水辺でのレスキュー方法 (3)水辺における子どもへの指導方法の注意点				
主催者からの実施報告	小中学生を対象とした夏のエコキャンプにおいて、参加した小中学生21名の他、岩手大学のスタッフ9名、当会スタッフ5名が参加し、ゴムボートによる川下りをしながら、途中の川で、水遊びを紹介いただきながら、遊びを通じて安全な流れ方などの安全講習を行うことができた。				

実施日	8/15(土)	主催者	特定非営利活動法人遠野エコネット	アドバイザー	菊池拓巳
		対象	小4年～中3年までの児童生徒21名、大学生9名、成人5名（計35名）		
研修会		夏のエコキャンプ「水辺の安全講習（レスキュー法・実践編）」			
テーマ		(1)川下りの際のリスクマネジメント (2)水辺でのレスキュー方法 (3)水辺における子どもへの指導方法の注意点			
主催者からの実施報告		小中学生を対象とした夏のエコキャンプにおいて、参加した小中学生21名の他、岩手大学のスタッフ9名、当会スタッフ5名が参加し、ゴムボートによる川下りをしながら、途中の川で、水遊びを紹介いただきながら、遊びを通じて安全な流れ方などの安全講習を行うことができた。			
実施日	8/18(火)	主催者	一関市小梨市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	令和2年度せんまや里山塾「リフォームコース（古着の有効活用リメイク教室）」		
研修会		令和2年度せんまや里山塾 リフォームコース（古着の有効活用リメイク教室）②			
テーマ		古着の有効活用リメイク教室			
主催者からの実施報告		前回の参加者の話を聞いて参加を希望された方がいらっしゃいましたが、参加してよかったですと感想を話され次回からも楽しみですと言っていました。今年度は初めて参加した方も多く先生の作品を見ながら作品を見ながら作品を作っています。			
実施日	8/19(水)	主催者	葛巻町立小屋瀬小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	小学生 計25名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物の種類、水質と環境の関係について			
主催者からの実施報告		2つのグループに分かれて学校近くの山形川と土谷川を観察した。水生生物の採取ポイントや実際に生物の教え方などを丁寧に教えて頂いたお陰で児童が積極的に活動することができた。講師の佐井さんからは、それぞれの川の特徴（水質や水生生物の種類）を説明頂いたり、数年前からの比較について教えていただいたりして大変学びが深まった。			
実施日	8/20(木)	主催者	遠野市立上郷小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	3・4年児童14名 引率2名 計16名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		(1)地球の河川の生き物の名前 (2)水生生物の種類と河川のすいしつについて			
主催者からの実施報告		・調査の仕方をていねいに教えてくださり、とても分かりやすかった。 ・広口瓶や1m棒などの用意もしてくださり、スムーズに活動を進めることができた。			
実施日	8/21(金)	主催者	軽米町立軽米小学校	アドバイザー	中野 雅幸
		対象	小学4年生（計36名）		
研修会		水生生物による水質調査			
テーマ		雪谷川のきれいさや生息している生き物について			
主催者からの実施報告		雪谷川にいる生物の説明と採取を行い調査をする。			
実施日	8/21(金)	主催者	東稲山麓地域世界農業遺産認定推進協議会	アドバイザー	川田 昌代
		対象	当協議会事務局職員、映像制作会社（計3名）		
研修会		東稲山麓地域の農林業システムの映像制作に伴う動植物撮影に係る現地指導			
テーマ		東稲山麓地域における貴重な動植物の種類、生息場所、撮影できる時期及び場所			
主催者からの実施報告		東稲山麓地域の農林業システムの映像を制作するため、貴重な動植物として、ため池のヒメビシ、畦畔のオミナエシやカワラナデシコ等の生息場所、撮影できる時期等について、現地で指導、助言をいただいた。			

実施日	8/24(月)	主催者	花巻市建設部公園緑地課	アドバイザー	田村 麗丘
		対象	主に花巻市民を対象(人数15名)		
研修会		市内花壇見学バスツアー			
テーマ		(1)花いっぱいのみちづくりについて(2)花壇の手入れ・管理の仕方(体制)、(3)デザインについて			
主催者からの実施報告		市内の花壇を実践者のお話し(取り組みのきっかけ、管理方法、花壇デザインのポイントなど)を交えながら見学した。 見学先にて田村先生から講評いただいた。花壇の役割や、今後の花を生かしたみちづくりの方向などをお話いただき、参加者は興味深そうに耳を傾けていた。			

実施日	8/25(火)	主催者	盛岡市立下橋中学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	盛岡市立下橋中学校第1学年生徒・職員(計34名)		
研修会		第1学年 川体験			
テーマ		中津川の水生生物と環境保全の取り組みについて			
主催者からの実施報告		川に入り、水中の生物や石の裏についている生物を摂取し、生物の種類や数をグループごとにまとめる活動を行った。また、発見された生物の種類から中津川の水質の状況を知ることができた。			

実施日	8/25(火)	主催者	盛岡市立下橋中学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	盛岡市立下橋中学校第1学年生徒・職員(計34名)		
研修会		第1学年 川体験			
テーマ		中津川の水生生物と環境保全の取り組みについて			
主催者からの実施報告		川に入り、水中の生物や石の裏についている生物を摂取し、生物の種類や数をグループごとにまとめる活動を行った。また、発見された生物の種類から中津川の水質の状況を知ることができた。			

実施日	8/25(火)	主催者	岩泉町立安家小学校	アドバイザー	泉山 博直
		対象	児童3・4年生(3名) 教員(3名) (計6名)		
研修会		水生生物調査			
テーマ		1.水生生物の名称と水棲の性質 2.安家川の状態について(きれいさや汚れなど)			
主催者からの実施報告		あまり暑くなく、快適に活動することができました。児童と教員が2人1組となり、水生生物の探索や採取を行いました。台風被害による河川工事が進む中での調査だったので、生物が例年通り見つかるかどうか、少々不安を感じながらスタートしました。しかし、今年もたくさんの水生生物を発見し、子どもたちは「いたー！」と歓声をあげ、自然の強さと安家川の豊かさに感動していました。泉山先生とは、児童も職員も親しみがあり、どんどん質問し、また、的確な指導やご助言をいただき、学習を深めることができました。			

実施日	8/25(火)	主催者	遠野市立遠野北小学校	アドバイザー	小田島 順一
		対象	4年生 47名 教員3名 計50名		
研修会		総合的な学習(環境学習)			
テーマ		(1)水生生物を調べるとどうして川の水質が分かるのか。 (2)調べた結果から早瀬川の水質はどうか。 (3)これから自分たちがどのようにすると川の水質を守っていけるのか。			
主催者からの実施報告		しばらく晴天が続いた状況での実施であり、川の水質は非常に良い状態だった。暑い中での実施だったので水の冷たさが心地よいようだった。講師の先生から詳しく説明があり、児童は意欲的に水生生物をさがすことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた。また、スジエビやヤツメウナギなど普段目に見ることができない生き物に触れることができたことも大きな収穫となった。最後に講師の小田島先生から「この川はきれいな水です。」と言われたときに、多くの児童が「良かった。」と安心していた。			

実施日	8/26(水)	主催者	盛岡市立下橋中学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	盛岡市立下橋中学校第1学年生徒・職員(計34名)		
研修会	第一学年 川体験				
テーマ	中津川の水生生物と環境保全の取り組みについて				
主催者からの実施報告	川に入り、水中の生物や石の裏についている生物を摂取し、生物の種類や数をグループごとにまとめる活動を行った。また、発見される生物の種類から中津川の水質状況を知ることができた。				

実施日	8/26(水)	主催者	盛岡市立下橋中学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	盛岡市立下橋中学校第1学年生徒・職員(計34名)		
研修会	第一学年 川体験				
テーマ	中津川の水生生物と環境保全の取り組みについて				
主催者からの実施報告	川に入り、水中の生物や石の裏についている生物を摂取し、生物の種類や数をグループごとにまとめる活動を行った。また、発見される生物の種類から中津川の水質状況を知ることができた。				

実施日	8/26(水)	主催者	盛岡市立 米内小学校	アドバイザー	河野 豊
		対象	5学年児童(計16名)		
研修会	水生生物調査				
テーマ	(1) 米内川に住む水生生物から水質の実態を知る				
主催者からの実施報告	<ul style="list-style-type: none"> ・米内川に住む生物について ・米内川の水質について 				

実施日	8/26(水)	主催者	一関市立弥栄小学校	アドバイザー	千田 典文
		対象	一関市立弥栄小学校4年 11名 教員1名(計12名)		
研修会	弥栄環境調査隊～水生生物調査をしよう～				
テーマ	<ol style="list-style-type: none"> 1.自分達の住む地域の川にどんな生物がいるか。そして川はきれいなのかどうか。 2.自分達の住む地域の川をきれいにしていくためには何が大切か。 				
主催者からの実施報告	熱中症やコロナ対策を十分とりながら調査を行った。生き物によって水質の様子が分かることやどんなところに生き物が住んでいるのかを実験を通して学ぶことができた。自分たちが住んでいる弥栄の川に住んでいるさまざまな生き物を知ることができた。				

実施日	8/27(木)	主催者	盛岡市西部公民館	アドバイザー	大友 晃
		対象	市民 16名		
研修会	自然環境講座(「安比高原ブナ二次林」の観察)				
テーマ	<ol style="list-style-type: none"> 1.ブナ二次林の遺伝構造と天然林との相違点。 2.自然の再生力と森の成長が地球温暖化防止に役立っていること。 3.ブナの実や森林浴などの豊かな自然の恵みについて。 				
主催者からの実施報告	<ul style="list-style-type: none"> ・事前視察として、7月9日(木)9時30分から14時まで、大友様と小職で安比高原ブナ二次林のコース確認を実施しました。 ・講座当日は、大友様、受講者13名と公民館職員2名が参加しました。天候に恵まれたことと、大友様の的確なガイドにより、スケジュールどおり行動することができた。 ・受講者へのアンケートの結果、受講人数、講師の説明、コース設定、時間配分等皆さん大変満足した感想が多数だった。 				

実施日	8/27(木)	主催者	奥州市 市民環境部 生活環境課(木細工小学校)	アドバイザー	花澤 淳
		対象	木細工小学校 1・2・3・6年生(計9名)		
研修会		奥州市環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査を活用した水質調査			
主催者からの実施報告		水生生物調査の説明では、調査の意図を説明した上で、虫に触れること・楽しむことを一番重要な点として実施するように講師から話があった。 水生生物採取では、高学年が低学年の世話をしながら全員が積極的に生物を採取していた。生物の分類・水質判定では、講師に質問するなどして真剣に分類していた。講師から判定結果(きれいな水)を受けて、現在の判定を維持していくことの大切さを児童に伝えた。 調査のあと、講師から食物連鎖の仕組みについて説明があった。			

実施日	8/27(木)	主催者	八幡平市立田頭小学校	アドバイザー	高橋 良和
		対象	小学校3年生10名、教員2名(計12名)		
研修会		水生生物調査			
テーマ		(1) 水生生物の生態について (2) 松川の水質について			
主催者からの実施報告		児童は、初めての水生生物調査であったため、興味・関心をもって意欲的に取り組んだ。環境アドバイザー高橋氏の指導のもと、多くの水生生物を採集し、生物を種類ごとに整理しまとめることができた。整理した表をもとに、川の水質についても学習することができた。また、天候の急変時など、地形状況等を考慮した避難のしかたについても、教えていただくことができた。			

実施日	8/27(木)	主催者	岩手県立葛巻高等学校	アドバイザー	泉山 博直
		対象	葛巻高校3学年有志、学校教職員(5名)		
研修会		野生の動植物の保護についての学習会			
テーマ		絶滅が危惧されている野生動植物の保護について、その現状と今後の対策について。 (1)特にサクラソウとカワシンジュガイの保護について、その現状と課題 (2)環境アドバイザーの活動内容について (3)環境保護の各種活動と行政側(県や市町村)との関わりについて			
主催者からの実施報告		サクラソウやカワシンジュガイ、チョウセンアカシジミなどについて、実際の保護活動にあたってきた経験に基づき、具体的にその実態をお話いただいた。また、他の動植物の保護活動についての概況なども含め、環境アドバイザーの活動内容や、行政側との関わりについて解説していただいた。小屋瀬中学校時代に環境保護活動に参加した生徒を中心に何点か質問等も出て、丁寧に解説して頂いた。			

実施日	8/28(金)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	内田尚宏
		対象	3年生児童男47名 女42名 引率4名 計93名		
研修会		中津川探検隊			
テーマ		1.中津川の上流と下流や合流点についての講話 2.川にいる生き物について 3.「春から夏にかけて」「夏」「秋から冬にかけて」の水生生物や植物について			
主催者からの実施報告		中津川の水生生物調査を行った。水生生物の採取方法、調査中の安全などについて指導いただいた後、学年を3つのグループに分けてから実際に中津川に入り、水生生物調査をした。採取した生物についての質問などに答えていただきながら、魚とその他の生物に分けて保管していった。最後にグループごとに採取した生物を発表し、中津川の水質判定の仕方を教えていただいた。また採取した生物が何を食べて生きているのかについてもお話いただいた。			

実施日	8/28(金)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	菊池拓巳
		対象	3年生児童男47名 女42名 引率4名 計93名		
研修会		中津川探検隊			
テーマ		1.中津川の上流と下流や合流点についての講話 2.川にいる生き物について 3.「春から夏にかけて」「夏」「秋から冬にかけて」の水生生物や植物について			
主催者からの実施報告		中津川の水生生物調査を行った。水生生物の採取方法、調査中の安全などについて指導いただいた後、学年を3つのグループに分けてから実際に中津川に入り、水生生物調査をした。採取した生物についての質問などに答えていただきながら、魚とその他の生物に分けて保管していった。最後にグループごとに採取した生物を発表し、中津川の水質判定の仕方を教えていただいた。また採取した生物が何を食べて生きているのかについてもお話いただいた。			

実施日	8/28(金)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	佐井守
		対象	3年生児童男47名 女42名 引率4名 計93名		
研修会		中津川探検隊			
テーマ		1.中津川の上流と下流や合流点についての講話 2.川にいる生き物について 3.«春から夏にかけて»«夏»«秋から冬にかけて»の水生生物や植物について			
主催者からの実施報告		中津川の水生生物調査を行った。水生生物の採取方法、調査中の安全などについて指導いただいた後、学年を3つのグループに分けてから実際に中津川に入り、水生生物調査をした。採取した生物についての質問などに答えていただきたながら、魚とその他の生物に分けて保管していった。最後にグループごとに採取した生物を発表し、中津川の水質判定の仕方を教えていただいた。また採取した生物が何を食べて生きているのかについてもお話いただいた。			
実施日	8/28(金)	主催者	大槌町立 大槌学園	アドバイザー	加藤直子
		対象	大槌学園第4学年 児童76名 教員5名 計81名		
研修会		水生生物による水質調査			
テーマ		(1) 身近な河川の水質調査から分かる環境の現状について。 (2) 近年、水質環境は変化しているのか。 (3) 水質環境を守るために、必要なこと、自分達ができることは何か。			
主催者からの実施報告		学年を3つのグループに分け、上流域の3か所でそれぞれの講師の先生方にご指導を頂きながら調査を実施した。はじめに、川の流れのはやさや水温や気温などの条件を確かめ、用具の説明をして頂き実際の調査の方法を学んだ。その後は、5つから6つほどの小規模な班に分かれ川の中に住む生物を採取し、水質を調べた。帰校後は、学級ごとに結果をまとめ、きれいな環境を守るために自分達ができることを考えて学習を振り返った。			
実施日	8/28(金)	主催者	大槌町立 大槌学園	アドバイザー	臼澤良一
		対象	大槌学園第4学年 児童76名 教員5名 計81名		
研修会		水生生物による水質調査			
テーマ		(1) 身近な河川の水質調査から分かる環境の現状について。 (2) 近年、水質環境は変化しているのか。 (3) 水質環境を守るために、必要なこと、自分達ができることは何か。			
主催者からの実施報告		学年を3つのグループに分け、上流域の3か所でそれぞれの講師の先生方にご指導を頂きながら調査を実施した。はじめに、川の流れのはやさや水温や気温などの条件を確かめ、用具の説明をして頂き実際の調査の方法を学んだ。その後は、5つから6つほどの小規模な班に分かれ川の中に住む生物を採取し、水質を調べた。帰校後は、学級ごとに結果をまとめ、きれいな環境を守るために自分達ができることを考えて学習を振り返った。			
実施日	9/1(火)	主催者	一関市 巖美市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	一関市在住の女性中心(計15名)		
研修会		巖美市民センター女性教育事業「いきいき生活塾」環境学習講座			
テーマ		1.巖美溪の自然観察 2.特定外来植物の扱い方			
主催者からの実施報告		講師と一緒に巖美溪周辺を歩きながら、付近の木や草花について説明を受けた。巖美はまだ在来種が多く、スベリヒユ、スズメウリ、ヤハズ草などが自生しているが、外来種のブタナ、アレチウリ、ハルジオンなど、駆除しにくい草花が増えてきているので、今後増えないように気を付けていかないとならない。座学だけでは理解するのが難しいことも、実際に目で見ることによって理解することができた。			
実施日	9/1(火)	主催者	一関市立 花泉小学校	アドバイザー	川田 昌代
		対象	花泉小学校5学年(計22名)		
研修会		水生生物による水質調査			
テーマ		1.自分達の住む花泉の川はきれいかどうか 2.どのようにそれを判断できるのか 3.川をきれいにするために、できることは何か			
主催者からの実施報告		学校近くの川へ行き、水生生物の採取を行った。その生物から水質を判断し、環境への配慮について考える学習へとつなげた。			

実施日	9/1(火)	主催者	金ヶ崎町立西小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	児童15名 教員2名(計17名)		
研修会		水生生物調査			
テーマ		1.黒沢川は以前と比べて水質はきれいになっているのか 2.水をきれいにするために自分たちにできることはどんなことか			
主催者からの実施報告		時間をかけて、採取することによって、興味をもって、黒沢川の水質を調べることができた。様々な面で、金ヶ崎町役場 生活環境課の方や、講師の方にお世話になり、ありがたかった。			
実施日	9/2(水)	主催者	一関市立室根西小学校	アドバイザー	千田 典史
		対象	4年生 14名 教員 3名(計17名)		
研修会		川へ行こう			
テーマ		川がきれいだと棲んでいる生き物に違いがあること			
主催者からの実施報告		当日は、暑くも寒くもなく絶好の調査日和でした。9月初旬ということもあり、水生昆虫は少なめでしたが、ヘビトンボやナミウズムシなどを発見し子どもたちは歓声につつまれました。また、サワガニも多数発見し、子どもたちは水生生物調査を無事に行うことができました。			
実施日	9/2(水)	主催者	盛岡ペットワールド専門学校	アドバイザー	高橋 良和
		対象	講師2名、学生10名(計12名)		
研修会		中津川の水生生物調査			
テーマ		自然と生き物のつながりを調査			
主催者からの実施報告		前日の予定でしたが、川の増水のため、9月2日に開催。前日より水は少なかったが、安全に配慮して行った。			
実施日	9/3(木)	主催者	岩手大学教育学部附属小学校	アドバイザー	内田尚宏
		対象	岩手大学教育学部附属小学校 3年生97名、4年生8名 計105名		
研修会		総合的な学習の時間 『加賀野大研究』「わたしたちの中津川」			
テーマ		・中津川の水の中での体験活動や川にすむ生物探しを通して中津川のよさに気付く。 ・中津川が環境が人々の手によって整えられていることを知り、追究活動へつなげていく。			
主催者からの実施報告		中津川において、川で身を守るための安全指導、水生生物調査による水質検査の実施。その後川に入って泳いだり、魚を探したりなど体験活動を楽しみ、中津川のよさを考えた。			
実施日	9/3(木)	主催者	岩手大学教育学部附属小学校	アドバイザー	菊池拓巳
		対象	岩手大学教育学部附属小学校 3年生97名、4年生8名 計105名		
研修会		総合的な学習の時間 『加賀野大研究』「わたしたちの中津川」			
テーマ		・中津川の水の中での体験活動や川にすむ生物探しを通して中津川のよさに気付く。 ・中津川が環境が人々の手によって整えられていることを知り、追究活動へつなげていく。			
主催者からの実施報告		中津川において、川で身を守るための安全指導、水生生物調査による水質検査の実施。その後川に入って泳いだり、魚を探したりなど体験活動を楽しみ、中津川のよさを考えた。			
実施日	9/3(木)	主催者	岩手大学教育学部附属小学校	アドバイザー	佐井守
		対象	岩手大学教育学部附属小学校 3年生97名、4年生8名 計105名		
研修会		総合的な学習の時間 『加賀野大研究』「わたしたちの中津川」			
テーマ		・中津川の水の中での体験活動や川にすむ生物探しを通して中津川のよさに気付く。 ・中津川が環境が人々の手によって整えられていることを知り、追究活動へつなげていく。			
主催者からの実施報告		中津川において、川で身を守るための安全指導、水生生物調査による水質検査の実施。その後川に入って泳いだり、魚を探したりなど体験活動を楽しみ、中津川のよさを考えた。			

実施日	9/4(金)	主催者	大船渡市立猪川小学校	アドバイザー	臼澤 良一
		対象	猪川小学校5年生58名 教諭3名(計61名)		
研修会	水生生物調査				
テーマ	(1)水生生物調査の目的 (2)きれいな水に棲む生き物の種類 (3)水をきれいにする秘密				
主催者からの実施報告	水生生物調査を行った。 水生生物についての、講義を受けた。				

実施日	9/4(金)	主催者	大船渡市立猪川小学校	アドバイザー	加藤 直子
		対象	猪川小学校5年生58名 教諭3名(計61名)		
研修会	水生生物調査				
テーマ	(1)水生生物調査の目的 (2)きれいな水に棲む生き物の種類 (3)水をきれいにする秘密				
主催者からの実施報告	水生生物調査を行った。 水生生物についての、講義を受けた。				

実施日	9/4(金)	主催者	紫波町立赤石小学校	アドバイザー	佐藤 喜一
		対象	小学4年児童 65名 担任等 2名(計67名)		
研修会	「わたしたちの町を流れる川について調べよう」(総合的な学習)				
テーマ	1.川の水生生物について 2.滝名川の環境について(きれいな水にいる生き物等)				
主催者からの実施報告	実際に採取していただいた水生生物や、パワーポイントの画像などを使って自分たちの住む地域の環境や生き物について教えていただいた。岩手県と他県との生き物の特徴の違いを、実物を見せながら話して下さったので、環境の違いによる生き物の変化も体感することができた。準備をしていただいたおかげで、興味関心を持続し話をきくことができた。				

実施日	9/4(金)	主催者	胆沢平野土地改良区	アドバイザー	川田 昌代
		対象	奥州市若柳小学校3年生(計15名)		
研修会	奥州市立若柳小学校 ビオトープ生き物勉強会				
テーマ	(1) 当該地(ビオトープ池)に生息している生き物・植物について教えていただきたい (2) ビオトープ池を守っていくにはどのようなことをすれば良いかアドバイスをいただきたい				
主催者からの実施報告	児童が楽しみながら学べるような工夫をした研修で、新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、ビオトープ池に生息する植物や生き物を観察したり、詳しく説明や解説をいただきました。				

実施日	9/5(土)	主催者	いわて男女共同参画サポーターの会 気仙ブロック	アドバイザー	本多 サト子
		対象	いわて男女共同参画サポーターの会気仙ブロック会員、他 (計17名)		
研修会	リフォーム講習会(浴衣地等の再利用マスク作り等)				
テーマ	・浴衣地などのリフォーム活用や再利用について				
主催者からの実施報告	個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の推進のサポーターの会員で浴衣地や残り布などを再利用したマスク作りをしました。型紙の取り方、裁断方法、また縫製のコツなどの指導を受け研修を進めました。頬に接する部分が違和感ないようにするとか、縫い糸は蠟(ロウソクの短くなったもので)を塗って使うと糸が絡みにくい、口元にあたる部分は口元パットを数枚作っておくと清潔なマスクを着用できることなど、環境に配慮したお話などをとても丁寧にご指導をいただきました。講師の親しみのあるお話で笑いがおきやかな研修会でした。一人2枚作ることが出来ました。また会員間の貴重な交流の時間を持つことが出来た研修会をすることが出来ました。				

実施日	9/7(月)	主催者	岩手県立県北青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	岩手県立県北青少年の家指導員(計5名)		
研修会	9月29日(火)開催予定の事業「レッツ！トレッキング」の職員実地踏査				
テーマ	安全な登山事業の実施のポイント (1) 登山事業実施の際の留意点 (2) 三ツ石山登山コースでの注意箇所等について				
主催者からの実施報告	松川温泉登山口～三ツ石山山頂～網張温泉登山口の実地踏査は、順調に実施できました。				

実施日	9/11(金)	主催者	特定非営利活動法人紫波みらい研究所	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	紫波町民7名		
研修会	着物リメイク講座③				
テーマ	箆笥に眠っている古着が生まれ変わることを愉しみながら体験してもらう				
主催者からの実施報告	<p>前回の続きや新しい作品に取り組みました。 参加者はお互いの作品を見せ合ったり、服のほかに帯を利用したバッグにも挑戦。にぎやかに講座を行っています。 今年度は収容人数の関係で参加人数をあまり増やすことはできませんが、お互いに技術も身につけて教えあって進められるようになりました。</p>				
実施日	9/15(火)	主催者	一関市小梨市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	千厩地域住民(計20名)		
研修会	令和2年度せんまや里山塾 リフォームコース(古着の有効活用リメイク教室③)				
テーマ	古着の有効活用リメイク教室				
主催者からの実施報告	3回目ですが既に作品を完成されている方も数名いたので次の作品に取り組み始めています。				
実施日	9/16(水)	主催者	平泉町立長嶋小学校	アドバイザー	千田 典文
		対象	5年児童 17名 引率2名 講師1名 計20名		
研修会	太田川水生生物調査				
テーマ	<p>(1)太田川がどのような環境下にあるか (2)どのような水生生物が生息しているか (3)水生生物の様子がどのように環境にかかわっているか</p>				
主催者からの実施報告	<p>確認された水性生物 ウズムシ、ヒラタカゲロウ類、カワゲラ類、ヤゴ類、トビゲラ類、カワニナ類、コオニヤンマ、ヒラタドROMシ類、スジエビ、ミズカマキリ、ヒル、ハツ目 きれいな水に生息する生物が多かったので、太田川は、きれいな水質であった。</p>				
実施日	9/17(木)	主催者	一関市弥栄市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	12名(計14名・講師及び職員含み)		
研修会	弥栄市民センター成人事業自然観察会				
テーマ	・照井堰巡り				
主催者からの実施報告	一関市巖美町内照井堰用水路沿いをウォーキングしながら、講師の千田典文様から照井堰用水の概要説明を受け、周辺の自然観察及び用水路内に住む生物の発見をいたしました。				
実施日	9/18(金)	主催者	宮古市立磯鷄小学校	アドバイザー	水木 高志
		対象	宮古市立磯鷄小学校第4学年児童(計47名)		
研修会	総合的な学習の時間『八木沢川探検隊』				
テーマ	<p>(1)八木沢川上流に生息している水生生物の名前や生息環境について (2)生息している水生生物からわかる水のきれいさについて (3)生息している水生生物が餌にしている生き物について</p>				
主催者からの実施報告	水辺の生物と植物について、実地で詳しく教えていただいた。				
実施日	9/19(土)	主催者	岩手県立県北青少年の家	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	一般来場者 各回30名(計120名)		
研修会	プラネタリウム鑑賞デー②				
テーマ	1.天体観測・季節の星空観測について				
主催者からの実施報告	<p>新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から長時間にわたって利用者を1か所にとどめ置けない状況下、幼児から中学生そして保護者まで幅広い利用者であったため、短時間でプラネ鑑賞の観点や鑑賞、そして実物の望遠鏡での観察模擬体験など大変工夫された内容であった。参加者の感想からも好評を得る内容であった。</p>				

実施日	9/21(月)	主催者	八幡平銀河ステーション	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	県内外の星見愛好家(計15名)		
研修会		星を見る会			
テーマ		<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県が星の観測のしやすい環境であるということの啓蒙 ・基本的な天体観測の知識 			
主催者からの実施報告		<p>コロナ対策として、座席の間隔を取り、全員マスク着用、全員検温、アルコール消毒、換気をした上で開催いたしました。</p> <p>曇り空の中での開催でしたが、参加者にお子さんが何名かいたこともあり、子供にもわかりやすく光害の話や、夏休みの自由研究に使える天体の話をお話し参加者の方は満足して帰られました。</p>			
実施日	9/23(水)	主催者	紫波町立上平沢小学校	アドバイザー	佐藤 喜一
		対象	上平沢小学校 児童 第4学年・教員(計16名)		
研修会		滝名川について調べよう			
テーマ		<ul style="list-style-type: none"> (1) 滝名川の環境 (2) 滝名川の水質や水生生物 			
主催者からの実施報告		<ul style="list-style-type: none"> ・講師のわかりやすい説明のもと、児童は滝名川の水質や生き物について意欲的に学ぶことができた。 ・滝名川が生き物の住みやすい美しい川であることを、水質調査や生き物の採取によって理解することができた。 			
実施日	9/24(木)	主催者	久慈市長内市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	地域住民 女性(計10名)		
研修会		着物リメイク教室			
テーマ		箆笥に眠っている着物を再利用し、新しいものに作り変えること。			
主催者からの実施報告		箆笥に眠っている着物をほどいて			
実施日	9/27(日)	主催者	盛岡市環境部環境企画課	アドバイザー	木幡 英雄
		対象	15組(予定人数 30名)・性別 男性 5割 女性 5割		
研修会		盛岡市環境学習講座「エコキッズ③外山森林公園で森の生き物たちを観察しよう！」			
テーマ		自然観察 (1)自然の中の植物、昆虫の観察			
主催者からの実施報告		<p>手持ちのルーペを使用した植物や昆虫観察を行った。はじめはあらかじめ採取した松ぼっくりとヤマボウシの実を観察した。また衣類にくっつくオオバコが濡れるとゼリー状の粘液を出す特性という特性を教わり、植物ならではの知恵を知ることができた。そのあと、周辺の自然の中にあるものを自由に見つけて観察をした。木の実や花のほかに、アブやバツタ類の昆虫を見つけて観察した。キリギリスの足に吸盤がついていて滑る容器でもしっかり掴まれていることなど発見でき、自分たちがつかまえた生き物をじっくりと観察する機会となった。</p>			
実施日	9/29(火)	主催者	岩手県立県北青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	一般参加者と県北青少年の家指導員(予定人数 25名)		
研修会		「レッツ！トレッキング」			
テーマ		<ul style="list-style-type: none"> (1) 登山事業実施の際の留意点 (2) ミツ石山登山コースでの注意箇所等について 			
主催者からの実施報告		松川温泉登山口～ミツ石山山頂～網張温泉登山口のトレッキングは、順調に実施できました。			

実施日	10/4(日)	主催者	八木沢川を守り育てる会	アドバイザー	水木 高志
		対象	小学生30名 大人10名(計40名)		
研修会		八木沢川に親しもう			
テーマ		水辺の生き物調べ、放流会 (1) 水辺にはどんな生物がいるか？ (2) 里川の人との自然豊かな繋がり。 (3) ヤマメの放流会			
主催者からの実施報告		川の水位はまだ高いも、大人の参加が多く、川沿いも含めた河川清掃を行った。生物調査では、カジカ、ゴリ、ウグイ、モクズガニ、サワガニの他、水生昆虫も多く見られ、それらの生態と生物の棲み分けについても説明された。放流魚は1年目魚である、イワナ5kg(1500匹)、ヤマメ5kg(800匹)を子供たちをはじめとした市民により放流され、元気に泳ぐ姿に喜んでいた。講話では生物の棲み分け理論と進化について、川をもとにイメージできるよう説明。また、地球上での人間の生活する上での必要な水としての河川のあり方、日本の故郷としての川と人との繋がりについても話される。			

実施日	10/6(火)	主催者	滝沢市教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	小1年生～6年生と保護者(計40名)		
研修会		たきざわファミリー星空セミナー「星空観察会～宇宙への誘い」			
テーマ		星空観察会～宇宙への誘い 小学生児童を中心とした家族の地球環境保全への興味関心と意識啓発を図る学習プログラム			
主催者からの実施報告		星空(宇宙)に関わる観察・学習を通じて、光害の実際や地球温暖化等の環境問題について興味深く学ぶことができ、参加者は地球環境の大切さを再認識することができた。			

実施日	10/8(木)	主催者	久慈市長内市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	地域住民 女性(計10名)		
研修会		着物リメイク教室			
テーマ		箆笥に眠っている着物を再利用し、新しいものに作り変えること			
主催者からの実施報告		先週に続き、家で進めてきた分を教えていただいたり、新しく先生に裁断していただきファッションショーにむけた作品を作成しました。			

実施日	10/8(木)	主催者	一関市狐禅寺市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	高齢者(計20名)		
研修会		高齢者学級千歳大学「自然観察会」			
テーマ		紅葉ほか秋の植物の観察 (1) 植物の名前について (2) 植物の生態について (3) 栗駒山の自然に関すること			
主催者からの実施報告		栗駒山の名残ヶ原周辺を散策し、紅葉を楽しみながら自然を観察した。出発時は雨天だったものの、現地では雨が上がり、じっくり学習に取り組めた。			

実施日	10/12(月)	主催者	特定非営利活動法人 まあむたかた	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	女性 10名		
研修会		リメイク講習会			
テーマ		リメイク講師			
主催者からの実施報告		コロナ禍により、なかなか外に出る機会がなかった住民のみなさんから、「待ってたよ～」と、とても嬉しいお返事をいただきお陰さまで開催することができました。自宅ですりでもやるより、先生やみなさんとコミュニケーションを取りながらやるのが心の生きがいに繋がっているようでした。また、生地の余りを利用してアクセサリー等を作り、みなさんと共有し合う様子もあり、益々創作意欲が湧いてきている様子でした。			

実施日	10/13(火)	主催者	山田町役場地域おこし協力隊	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	成人男性(計10名)		
研修会		オランダ島 専門家による試験宿泊キャンプ			
テーマ		(1)夏に見える星座について (2)星座や星に関する説話等について (3)自然のもつよさ・素晴らしさについて			
主催者からの実施報告		秋に見える星座、星座や星に関する事を知る			
実施日	10/14(水)	主催者	洋野町立 帯島小学校	アドバイザー	中野 雅幸
		対象	帯島小学校6学年7名・教員3名(計10名)		
研修会		鮭の生態から海の環境について考えよう			
テーマ		1.鮭の採卵等の様子を見学し、豊かな資源を守るための増養殖について知る。 2.淡水河川の落ち込む周辺砂浜を観察し、川と海のつながりについて考える。			
主催者からの実施報告		○ふ化場での採卵、受精体験を通して、さけの生態や放流事業の大切さを理解することができた。 ○さけの生態や養殖の様子を見学し、洋野町の水産業の特徴や工夫を知ることができた。 ○有家漁港での釣り体験も行き、海に親しみ、海の環境について関心を高めることができた			
実施日	10/15(木)	主催者	岩手県立東南青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	一般 20名程度		
研修会		秋山トレッキング			
テーマ		トレッキングのガイド			
主催者からの実施報告		参加者の平均年齢が67歳を越えていた中でのトレッキングだったが、歩くペースもゆったりとしており、時折、立ち止まって植物の話や秋の山の楽しみ方について説明するなど、充実した内容だった。			
実施日	10/17(土)	主催者	盛岡市立みたけ児童センター	アドバイザー	木幡 英雄
		対象	小学生(主に1~3年生)とその保護者(親か祖父母) 計10名		
研修会		親子遠足			
テーマ		・自然観察 ・自然保護			
主催者からの実施報告		小雨での開催となった。草木の樹脂等の観察を主軸に、それらに係わる生物の考察を行った。			
実施日	10/18(日)	主催者	滝沢市教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	アドバイザー	大友 晃
		対象	小3~6年と保護者、なお保護者参加の場合、小1から参加可能 計25名		
研修会		たきざわ自然体験セミナー「安比高原ブナの森ファミリー探検」			
テーマ		小学生児童を中心とした家族の地球環境保全への興味関心と意識啓発を図る学習プログラム			
主催者からの実施報告		ブナの森散策や環境学習を通じて、大自然の素晴らしさや動植物の命の営みを学ぶことができ、参加者は自然環境の大切さを再認識することができました。			
実施日	10/21(水)	主催者	大和リース株式会社岩手支店	アドバイザー	小沢 宗
		対象	大和リース(株)岩手支店職員(7名)		
研修会		岩手県の環境学習会			
テーマ		岩手県の環境目標・政策・活動事例など 岩手県の生物多様性の目標・現状など 1. 岩手県内(特に盛岡地域)でどのような生物多様性に関する活動が求められているのかを知り可能であれば参加したい。 2. 岩手県内ではどのような環境問題があり何を目標に活動しているのかを知りたい。 3. 岩手県内で昔から活動が続いているものにはどのようなものがあるかを知りたい。			
主催者からの実施報告		会社が目標とする環境活動(生物多様性)の達成として、「いまさら聞けない SDGs、生物多様性」と題し基本的な知識から実際の活動のための岩手県内での事例やアドバイスをいただいた。			

実施日	10/22(木)	主催者	久慈市長内市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	8人		
研修会	着物リメイク教室				
テーマ	箆笥に眠っている着物を再利用し、新しいものに作り変えること				
主催者からの実施報告	3回目となり、作品の仕上げのほか、思い込みで進めていることも多かったので、手順等について確認しながら教えていただきました。				

実施日	10/23(金)	主催者	大更婦人学級 第2回講座	アドバイザー	藤原 由美子
		対象	学級生33名 職員3名 合計36名		
研修会	大更婦人学級 第2回講座				
テーマ	(1) 日本ミツバチの生態について (2) ハチミツの効能について				
主催者からの実施報告	「ミツバチとハチミツの話」と題して、講話をしていただきました。 日本ミツバチの話を中心に、ミツバチの生態や行動などをお話していただきました。 地球温暖化が影響していることや、農薬の影響など、広範囲でとても勉強になりました。				

実施日	10/27(火)	主催者	社会福祉法人 滝沢市保育協会	アドバイザー	粒針 文子
		対象	滝沢市保育協会職員:(人数 40名)		
研修会	今だからこそ、必要な環境問題について学ぶ				
テーマ	子どもの健康にかかわる環境問題のこと(自然をはぐむ心を育てる)				
主催者からの実施報告	環境に関するポスター等を持参いただき、また内容もわかりやすく身近であった為(添加物、胎内汚染、大気汚染等)興味深く聞くことができた。時間的にもっと確保できるとよかった。保育士以外にも栄養士、調理員も参加していたので皆が共通の問題として考えることで有意義な時間であった				

実施日	10/29(木)	主催者	盛岡市環境部環境企画課	アドバイザー	大友 晃
		対象	市民 20名		
研修会	盛岡市環境学習講座「もりおか近郊自然歩道を散策しよう！」				
テーマ	自然散策 (1) 自然歩道の楽しみ方 (2) 季節に見られる植物等				
主催者からの実施報告	なんとか天候にも恵まれ、展望台からの山々の説明や啄木の詩に触れながら、モミジとカエデの違いや名前の云われを理解した。また、キツツキが樹幹に作った穴を発見し、キツツキの種類や生態を知る機会ともなった。風の音や桂の葉の香りを感じながら、山野草やカモシカ等の生き物との出会いもあり、ゆったりとした散策で発見も多く、豊富な話題を楽しみながらも環境について考える機会となり学びの多い講座となった。				

実施日	10/31(土)	主催者	県北広域振興局経営企画部二戸地域振興センター	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	親子連れ等 20名		
研修会	御所野縄文WEEK 縄文の黄昏 お月見体験会				
テーマ	【第1希望】お月見体験会 (1) 参加を想定する親子が興味を持ちやすい「縄文時代と現代」の星空の違い(種類・見え方等)				
主催者からの実施報告	世界遺産登録が期待される御所野遺跡(御所野縄文公園)を会場に、研修会当日の星空についての座学の後、星座望遠鏡等を利用して縄文人が見た月や星を観察した。 当日は天候に恵まれ観察日和であったことから、有意義な環境学習のとなり、参加者も満足度も非常に高かった				

実施日	11/1(日)	主催者	骨寺村ガイドス運営協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	一関市民他(計15名)		
研修会	栗駒山麓ジオパークと真湯探訪				
テーマ	・栗駒山の地質や自然、秋に見ることのできる植物について知りたい。				
主催者からの実施報告	いつも千田先生には初夏の植物観察をしていただいておりますが、秋の探訪ははじめてだったので植物の1年サイクルや紅葉のメカニズムについて教わりました。新型コロナウイルス感染症予防対策として、全員マスクを着用し、出発前に体温を図りました。バスの中では密にならないように間隔をあけて座りました。				

実施日	11/1(日)	主催者	一関市狐禅寺市民センター	アドバイザー	佐藤 良平
		対象	小学生未満の子ども(保護者同伴)計50名		
研修会	サケの遡上観察会				
テーマ	【第1希望】サケと滝沢川について学ぼう！(座学) サケが泳ぐ姿を見よう！(川辺で観察) ①鮭の生態について ②川の自然環境保護の大切さについて				
主催者からの実施報告	会場体育館前で、サケと滝沢川について解説。未就学児～小学生42人がサケの生態や習性を教わった。滝沢川の川辺では、サケの遡上状況を確認。生きている姿は確認できなかったものの、力尽きて死んだサケの姿を発見し、遡上していることを確認した。				

実施日	11/7(土)	主催者	盛岡広域スポーツコミッション	アドバイザー	大友 晃
		対象	スポーツパル会員 人数20名		
研修会	第5回スポーツパル交流会「散策路を歩こう！」				
テーマ	自然観察 (1)野鳥の説明(岩山散策路には野鳥説明板や探鳥の森があることから散策しながらの説明) (2)自然(花や木)の説明 (3)散策する時の注意事項等				
主催者からの実施報告	身近にあるもりおか近郊自然歩道を環境アドバイザーにガイドしていただきながら散策を楽しむ内容として実施。新型コロナウイルス感染防止から受付時に検温と手指の消毒を実施し、散策中はマスクを着用する等の対策を行った。今回は小学生以下の参加者が多かったことから木登り等の楽しむ内容を含んだことで大人も子供も楽しめる内容となった。				

実施日	11/12(木)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	内田尚宏
		対象	3年生児童 男子47名 女子42名 計89名		
研修会	中津川探検隊				
テーマ	・中津川にサケが帰って来た様子について				
主催者からの実施報告	中津川河川敷に移動して、実際に遡上するサケの観察を行った。その後、学校にもどり、パワーポイントを使用して、中津川を遡上するサケについて、説明していただいた。また、児童が用意してきた質問に詳しく答えていただき、児童の疑問を解決することができた。				

実施日	11/12(木)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	佐井守
		対象	3年生児童 男子47名 女子42名 計89名		
研修会	中津川探検隊				
テーマ	・中津川にサケが帰って来た様子について				
主催者からの実施報告	中津川河川敷に移動して、実際に遡上するサケの観察を行った。その後、学校にもどり、パワーポイントを使用して、中津川を遡上するサケについて、説明していただいた。また、児童が用意してきた質問に詳しく答えていただき、児童の疑問を解決することができた。				

実施日	11/12(木)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	菊池拓巳
		対象	3年生児童 男子47名 女子42名 計89名		
研修会	中津川探検隊				
テーマ	・中津川にサケが帰って来た様子について				
主催者からの実施報告	中津川河川敷に移動して、実際に遡上するサケの観察を行った。その後、学校にもどり、パワーポイントを使用して、中津川を遡上するサケについて、説明していただいた。また、児童が用意してきた質問に詳しく答えていただき、児童の疑問を解決することができた。				

実施日	11/14(土)	主催者	浄土ヶ浜ビジターセンター	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	一般 計20名		
研修会	浄土ヶ浜 星空観察会				
テーマ	(1)夏の時期に浄土ヶ浜で見ることのできる天体や星に関して (2)一般の方が天体・星を観察する際の観察機器や方法など				
主催者からの実施報告	岩手県でクラスターが発生した為、参加者には検温・マスクの着用・アルコール消毒を徹底した。当初より野外での実施予定だったので、ソーシャルディスタンスに気を付けながら予定通りイベントを開催。雲一つない晴天で秋に観察できる惑星、星座を観察することができ参加者にも満足して頂けたと思う。夜の浄土ヶ浜は市内より多くの星を観察することができたが、それでも光害があることの解説が入り、まずは見つけやすい火星の観察を肉眼で行い、夏の大三角形や星団すばるについての解説をしていただく。その後、天体望遠鏡でそれらの星々を観察しました。				

実施日	11/16(木)	主催者	三陸春風の会 岩山支部	アドバイザー	亀山 喜作
		対象	植物観察に興味のある一般市民 9名		
研修会		植物観察会			
テーマ		・岩山の植物と樹木の冬芽について 1. 岩山で守るべき植物のこと 2. 樹木の冬芽のこと			
主催者からの実施報告		身近な岩山にある樹木の冬芽や植物のことをいろいろと教えていただきました。参加者からは普段は気に留めることのない樹木の木肌や実の付き方、葉による似た種類の見分け方など質問も多くありましたが、丁寧な説明のおかげで大変楽しめました。メタセコイアや岩山に新しく作られた桃林、散策用に造成されたにも関わらず、1年も経たずに崩れている歩道など、環境保全といいながらも実際にはどのように整備しているのか、その有り方についても学ぶことが多かったです。			

実施日	11/19(木)	主催者	特定非営利活動法人まあむたかた	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	市民10名		
研修会		リメイク講習会			
テーマ		リメイク方法について			
主催者からの実施報告		先日開催されたファッションショーの振り返りをしながら、早くも来年度に向けて製作に取り掛かっていた。先生のように着こなす事は難しいが、普段着としても着用できる様、参加者一人ひとりにあったデザインを提案していただいていた。サイズ変更の際の裁断の仕方、生地を組み合わせ方等、参加者のスキルが向上してきている。着る喜び、作る喜びが生きがい作りへと繋がっていて、コロナ禍の中にも交流が継続している。			

実施日	11/23(月)	主催者	高齢者と家族の防災を考える会	アドバイザー	粒針 文子
		対象	高齢者とその家族 一般市民 10名		
研修会		これからの食を大事にする学び その1 ～伝統食が守ってきた自然環境と身土不二のあり方～			
テーマ		伝統食と自然のつながり、身土不二のこと 1. 代表的な伝統食について 2. 自然環境と伝統食の関係について 3. 健康にいい調理法			
主催者からの実施報告		高齢者にとって毎日、食で健康を維持するのは重要です。今回は食べるだけでなく安全な食材を作る意味や調理の仕方まで教わり、とても参考になりました。参加したみなさんも、賢く食材を選び、食べる楽しみが増えたと喜んでいました。			

実施日	12/3(木)	主催者	久保公民館 女性学級	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	女性 計10名		
研修会		楽しくリメイク！講座			
テーマ		【第1希望】 洋服からバックや小物へリメイク 【第2希望】 洋服のサイズや形を変えてリメイク (1) 再生のヒントやアイデア (2) 作り方や注意点 (3) 布による扱い方や基礎基本			
主催者からの実施報告		講師の作品を見せて頂きながら、リメイクしたいデザインを決めていき、各自作業を進めながら個々に相談し指導を受ける。			

実施日	12/4(金)	主催者	一戸町商工会青年部	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	現地参加 一戸町商工会会員 10名 オンライン参加 北部商工会会員 20名 (30名)		
研修会		北部ブロック商工会青年部研修会			
テーマ		(1) 県北地域と都市部の星空環境の現状と今後の予想 (2) 星空環境を守るためにどのような活動ができるか			
主催者からの実施報告		オンライン会議システムZoomを活用し、会場からオンラインで配信。県北地域7市町村(洋野町、二戸市、軽米町、野田村、九戸村、普代村、一戸町)の青年部員及び事務局が受講しました。専門機材を通して、実際の星空の状況を確認しながら、講師提供資料に沿って、光害が星空環境に与える影響や、自然環境の維持の重要性について学びました。			

実施日	12/10(木)	主催者	久保公民館 女性学級	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	女性 計10名		
研修会		楽しくリメイク！講座			
テーマ		【第1希望】 洋服からバックや小物へリメイク 【第2希望】 洋服のサイズや形を変えてリメイク (1) 再生のヒントやアイデア (2) 作り方や注意点 (3) 布による扱い方や基礎基本			
主催者からの実施報告		リメイクしたい次のデザインが決まっている人は、完成のめどが立ったところで中断し、次の作品に着手。各自作業を進めながら個々に相談し指導を受ける。			

実施日	12/10(木)	主催者	一戸町教育委員会 奥中山地区公民館	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	一戸町内在住又は、町内に勤務している 計15名		
研修会		令和2年度いちのへ町民セミナー			
テーマ		・自然の魅力について 1. 岩手県 of 自然の魅力 2. 自然を守るために、必要なこと (普段どのようなことを実践すれば良いか等) 3. 星空の話			
主催者からの実施報告		「自然の魅力」という演題で、星空の話を中心に講演していただきました。講師が台長を務めている一戸町観光天文台から見える星空の話や撮影した画像などを見せていただき、受講者は興味を持っている様子でした。講演後半では、「光害」についての説明、事例を紹介していただきました。「光害」という言葉を知らない受講者が大半でしたが、実際の画像を見せながら説明していただき、おおむね理解している様子でした。			

実施日	12/17(木)	主催者	久保公民館 女性学級	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	女性 10名		
研修会		楽しくリメイク！講座			
テーマ		【第1希望】 洋服からバックや小物へリメイク 【第2希望】 洋服のサイズや形を変えてリメイク (1) 再生のヒントやアイデア (2) 作り方や注意点 (3) 布による扱い方や基礎基本			
主催者からの実施報告		各自作業を進めながら個々に相談し指導を受けました。型紙がないことと、講師独自の製作スタイルと感性をたくさん吸収しようと時間を惜しんで指導を受けました。			

実施日	12/25(金)	主催者	盛岡市乙部地区公民館	アドバイザー	川村 晃寛
		対象	一般市民 12名		
研修会		乙部地区公民館講座「クリスマスクラフト講座」			
テーマ		(1) 材料について (2) デザインの組み立て方など			
主催者からの実施報告		10:00～ 講座開始 ・木の実などの天然素材を使ってクリスマスリースの作り方について説明。 ・クリスマスリースに使う天然素材は、私たちの身近に存在する自然のものを使う。 身近にそういったものが存在するので、是非、自然の恵みに興味を持ち、ご自分でも今後、作って欲しい。また大きな公園にはリース作りに利用できる色々な樹木の葉や実があるので、そういった観点から公園に行かれるのも楽しいのではないかとの話があった。 10:20～ ・今回は木の蔓でリースを作ることから始めた。その後飾りつけを各自行った。 11:50～ ・各自できあがった作品を写真撮影のため、随時展示し先生が写真に収めた。 12:00 講座終了。			

実施日	2/11(木)	主催者	岩手県立県北青少年の家	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	一般来場者 3回に分けて開催 計105名		
研修会		ステラバル冬まつり			
テーマ		1.二戸地域の星空環境について 2.天体観測・天体望遠鏡について			
主催者からの実施報告		冬の星座についてのプラネタリウム上映の実施 (30分の上映を、午前3回、午後3回上映、計6回)			

実施日	2/14(日)	主催者	高齢者と家族の防災を考える会	アドバイザー	清水 義輝
		対象	高齢者とその家族 一般市民 10名		
研修会		これからの食を大事にする学び その2 ～岩手の自然農法と伝統野菜～			
テーマ		1. 自然農法について 2. 伝統野菜について 3. 最近の消費者の傾向について など			
主催者からの実施報告		手指の消毒、換気など新型コロナ対策をし、参加者を絞って講座を行いました。参加者から多くの質問もあり、丁寧にご説明いただき、とても満足度の高い内容と好評でした。種苗法の改正によって今後、どのような植物が流通するのか、また、普段買い物をする場所ではなかなかわからない野菜の事情など、食の安全安心を考える上で大切なことをいろいろ教えていただきました。自然農法の農園で、ニホンミツバチがとても元気に活動しているのは素晴らしいと思います。			

実施日	2/14(日)	主催者	これからの食を大切に学ぶ その3～自然界における蜂の役割～	アドバイザー	藤原 由美子
		対象	高齢者とその家族 一般市民10名		
研修会		これからの食を大事にする学び その3～自然界における蜂の役割～			
テーマ		1. ミツバチやスズメバチの生態について 2. 食糧生産との関係性について 3. 自然環境をどのように守っていくべきか など			
主催者からの実施報告		手指の消毒、換気など新型コロナ対策をし、参加者を絞って講座を行いました。参加者から多くの質問もあり、丁寧にご説明をいただき、とても満足度の高い内容と好評でした。ミツバチの数が減少している原因に、気候の変化で花の咲く季節とミツバチが本来活動する季節にズレが生じていること、ネオニコチノイド農薬の影響やダニやウイルスのことなど、普段の生活では知らないことが多くありました。女王バチや雄のハチなど生態もとても興味深く拝聴しました。			

実施日	2/28(日)	主催者	ボーイスカウト北上第1団	アドバイザー	藤原 正
		対象	ボーイスカウト北上第1団 15名		
研修会		雪中自然観察会			
テーマ		1. 冬山の観察 2. 動物たちの冬の生態観察 3. 木々の冬芽の観察			
主催者からの実施報告		天候は晴れ。スカウト11名と大人3名が参加しました。又兵衛の藤原正さんに案内していただき、動物の足跡や、樹木等の自然を観察しながら、雷神山へ向かいました。			

実施日	3/2(火)	主催者	盛岡地方生活研究グループ連絡協議会	アドバイザー	若生 和江
		対象	30名		
研修会		盛岡地方生活研究グループ連絡協議会研修会			
テーマ		SDGs、農業、食料、家庭生活などの身近な視点から教えて欲しい。			
主催者からの実施報告		・若生氏から、SDGsの概要を、特に農業や食に重点を置いてお話いただいた。 ・その後、4人1グループに分かれ、「SDGsカードゲームクロス」を行った。			

実施日	3/6(土)	主催者	自然観察会「冬芽の観察会」	アドバイザー	千田 典文
		対象	20名		
研修会		自然の観察会「冬芽の観察会」			
テーマ		冬芽について			
主催者からの実施報告		一関市、須川の「いちのせき健康の森」周辺を散策をしました。小雨の降る中ではありましたが、春の訪れを感じさせる木々の芽を千田さんの解説を聞きながら観察しました。雪の中をかんじきを履いてあるきましたが、参加者の皆様からは「貴重な体験」ができたとの事で内容的にも良い観察会となりました。			

実施日	3/12(金)	主催者	宮古市地球温暖化対策地域協議会	アドバイザー	菅原 省司
		対象	協議会10名 一般22名 事務局2名 (計34名)		
研修会		「海の温暖化」のこと知っていますか			
テーマ		・海の温暖化と森の影響 ・海洋プラスチックについて ・体験型のエコ講座			
主催者からの実施報告		一般応募が予想以上に多く、真剣に聞いている様子が伺え、温暖化に関する関心の高さを感じた。			

実施日	3/14(日)	主催者	スキルアップ研修会 SDGsプログラム	アドバイザー	櫻井 則彰
		対象	小学4年生から高校生・指導者 計30名		
研修会		スキルアップ集会			
テーマ		SDGsについて			
主催者からの実施報告		北上市さくらホールを拠点に、集合又はオンラインにて県内のガールスカウト全員(事業対象:小学4年生～高校3年生代、及び指導者)が参加。SDGsプログラムと称し、身近な課題として捉えられることを目的とした。			

実施日	3/20(土)	主催者	笑いのたねプロジェクト	アドバイザー	若生 和江
		対象	一般 計10名		
研修会		ワラタネ食堂			
テーマ		1. フードロス 2. マイクロプラスチック			
主催者からの実施報告		不登校生のお母さんたちと一緒に捨てるはずだった野菜などを使って料理をし、いただき、片付けはひきこもりの人達がしてくれた。			

実施日	3/26(金)	主催者	花巻農業協同組合女性部	アドバイザー	若生 和江
		対象	花巻農業協同組合女性部90名(会場・オンライン)		
研修会		SDGsの講演について			
テーマ		SDGsについて 1. SDGsの概念について 2. 女性部員でも取り組めるようなSDGsへのかかわり方(食や農を基軸に)			
主催者からの実施報告		対象の女性部員に合わせて、食の観点からSDGsについてご講演いただきました。テキストを使用した学習をしていたため多少の知識はあったものの、17項目の理解に苦戦していたようでした。本日のご講演では身近な事例を挙げてご講演いただき、女性部員の理解も深まったようでした。			

実施日	3/27(土)	主催者	株式会社 川上塗装工業	アドバイザー	櫻井 則彰
		対象	社員11名		
研修会		社内研修会			
テーマ		SDGs講座 + クロスゲーム 1. SDGsの基礎的な講義(人によってSDGsの認知度に差がある) 2. 参加者が発言できるような、参加型の講義をお願いしたいです 3. 講座30分・クロスカードゲーム1時間の計1時間半になるようにお願いしたいです			
主催者からの実施報告		SDGsの基本について櫻井様よりパワーポイントを使いご説明いただいたあと、2チームに分かれクロスカードゲームを実施しました。			

実施日	3/28(日)	主催者	株式会社 かまいしDMC	アドバイザー	加藤 直子
		対象	根浜海岸林再生実行委員会、株式会社 かまいしDMC 18名		
研修会		根浜海岸林再生実行委員会と地域の勉強報告会(ハマナスの苗づくり、講習など)			
テーマ		1. 根浜海岸と周辺の生物と植生について 2. 根浜海岸と周辺環境の歴史と歩み			
主催者からの実施報告		・震災後に残るミズアオイと貴重な生態 ・根浜のハマナスと心地よさ、地域の財産について			

実施日	3/28(日)	主催者	株式会社 かまいしDMC	アドバイザー	臼澤 良一
		対象	根浜海岸林再生実行委員会、株式会社 かまいしDMC 18名		
研修会		根浜海岸林再生実行委員会と地域の勉強報告会(ハマナスの苗づくり、講習など)			
テーマ		1. 根浜海岸と周辺の生物と植生について 2. 根浜海岸と周辺環境の歴史と歩み			
主催者からの実施報告		・震災後に残るミズアオイと貴重な生態 ・根浜のハマナスと心地よさ、地域の財産について			

●エコカーゴによる出張環境学習会

09

環境学習広報車『エコカーゴ』に環境学習キット等を積んで、県内のイベント・地域の学習会等に出張しています。

番号	1	イベント名等	花巻市立新堀小学校
	主催団体	花巻市立新堀小学校	
	日時	2020年6月16日(火) 10:40~12:15	
	場所	花巻市立新堀小学校	
	参加者数	17名	
	内容	テーマ:地球温暖化・エネルギーとSDGsの普及 内容:未来は変えられる、発電体験、The SDGs アクション カードゲーム X(クロス)、ハチドリ的一滴	
番号	2	イベント名等	岩山音楽祭 & BGMフリマ
	主催団体	光音堂イベントプロデュース	
	日時	2020年8月1日(土) 10:00~16:00	
	場所	盛岡市岩山公園展望台前広場	
	参加者数	122名	
	内容	テーマ:音楽会を通して被災者、障がい者、環境活動関係者への理解や相互交流を図り、音楽、芸術を取り入れた公園活性化のモデルとなる事業の創出。コロナ下における感染予防マニュアルに沿ったイベント運営の施行。 内容:音楽祭の出演者7団体、センターの出展内容は発電体験を実施し、ソーラークッカーを持参し太陽エネルギーによる湯沸かしを実演、太陽エネルギー利用の方法を知ってもらう機会とした。	
番号	3	イベント名等	「オリジナル手すきハガキで絵手紙を送ろう」
	主催団体	盛岡市都南公民館	
	日時	2020年8月8日(土) 10:00~12:00	
	場所	盛岡市都南公民館	
	参加者数	15名	
	内容	テーマ:「オリジナル手すきハガキで絵手紙を送ろう」 内容:牛乳パックから採取した紙を用いての紙漉き体験・葉書作り	
番号	4	イベント名等	夏休み☆エコ体験教室
	主催団体	一関市	
	日時	2020年8月9日(日) 10:00~12:00	
	場所	一関市保健センター	
	参加者数	13組(親子26名)	
	内容	テーマ:ごみ問題・地球温暖化・エネルギー 内容:環境紙芝居、エネルギーのかばん、発電体験、新聞バッグ作り、ごみクイズ、温暖化クイズ・ジオラマ	
番号	5	イベント名等	地球環境の学習会
	主催団体	盛岡市立大慈寺小学校	
	日時	2020年8月27日(木) 10:30 ~ 12:00	
	場所	盛岡市立大慈寺小学校	
	参加者数	児童 22名 教員 2名 計 24名	
	内容	テーマ:未来は変えられる ・内容: The SDGs アクション カードゲーム X(クロス)・ハチドリ的一滴読み聞かせ。発電体験を実施。	

番号	6	イベント名等	河南公民館講座・環境講座「大人の遠足inZOOMO！」
	主催団体	河南公民館・盛岡動物公園ZOOMO	
	日時	2020年9月3日(木)13:00~15:30	
	場所	盛岡動物公園ZOOMO	
	参加者数	11名	
	内容	テーマ:河南公民館講座・環境講座「大人の遠足inZOOMO！」 内容:野澤日出夫特別常任顧問が「野生生物と人の暮らし」と題してお話した他、動物舎の前で飼育員こうのはるかさんが各動物の特徴を話し、動物公園で飼われて動物の生態、動物と環境のかかわりなどに触れ、市民の生物、動物、環境に対する意識啓発に努めた。	
番号	7	イベント名等	高等学校家庭専門研修講座
	主催団体	岩手県立総合教育センター	
	日時	2020年9月10日(木) 10:00~11:30	
	場所	岩手県立総合教育センター	
	参加者数	7名	
	内容	テーマ:SDGsについて 内容:1.SDGsの概要 2.The SDGs アクション カードゲーム X(クロス) 3.SDGsで何ができるかを考えるフレームワーク 4.センターのプログラム紹介	
番号	8	イベント名等	SDGs学習会
	主催団体	奥州市環境市民会議「奥州めぐみネット」	
	日時	2020年9月13日(日) 9:00~12:00	
	場所	江刺生涯学習センター	
	参加者数	13名	
	内容	テーマ:The SDGs アクション カードゲーム X(クロス)を通してSDGsを楽しく学ぶ 内容:SDGsの概要、The SDGs アクション カードゲーム X(クロス)の体験、長野SDGsすごろくの体験	
番号	9	イベント名等	紫波町古館児童館イベント
	主催団体	NPO法人ゆう・もあ・ねっと	
	日時	2020年9月23日(水) 14:40~17:10	
	場所	紫波町古館ふれあいホール	
	参加者数	児童5名 担当者1名 合計6名	
	内容	テーマ:地球温暖化・ごみ問題・リサイクル・発電体験 内容:地球温暖化、ごみ問題について推進員よりまなび、リサイクル工作としてエアカーリングづくりをおこなった。発電体験を通してエネルギーの違いについて学ぶことができた。	
番号	10	イベント名等	令和2年度雫石町町民環境講座
	主催団体	雫石町町民課環境対策室・雫石「銀河の森」野生サクラソウの会	
	日時	2020年9月28日(月)13:30~17:00	
	場所	雫石町中央公民館2F 視聴覚室	
	参加者数	17名	
	内容	テーマ:雫石町町民環境講座 内容:環境学習交流センターとして「生物多様性と雫石の暮らし」と題した講座を提案して、雫石町環境対策室より野澤日出夫特別常任顧問が講演を依頼された。また、講座全体のアドバイスをを行った。	
番号	11	イベント名等	SDGs学習 & アクションカードゲーム「X」体験
	主催団体	奥州市立前沢小学校	
	日時	令和2年9月29日(火)・30日(水)①9:30~10:10②10:35~11:20	
	場所	奥州市立前沢小学校 結のホール	
	参加者数	5年生児童121名 担当教諭4名、校長先生、副校長先生 合計127名	
	内容	テーマ:SDGs学習 内容:SDGsの概要をPPを使って分かりやすく説明、「X」SDGsカードゲーム体験を通して様々なアクションを考える手法を伝えた。	

番号	12	イベント名等	「とおのSDGsカフェ」Vol.1
	主催団体	一般社団法人遠野みらい創りカレッジ	
	日時	2020年10月9日(金) 18:00～20:00	
	場所	カフェテリア・アダージオ(みらい創りカレッジ内)	
	参加者数	10名	
	内容	<p>テーマ:とおのSDGsカフェにおけるSDGsの学習会。温暖化や環境のテーマを用い、資源(リソース)を考えることで遠野の具体的な事例に目を向けてもらう。</p> <p>内容:SDGsについて(講座)、The SDGs アクション カードゲーム X(クロス)の実施</p>	
番号	13	イベント名等	2020東北電力エネルギーチャレンジ校・エネルギー出前講座
	主催団体	盛岡市立東松園小学校、東北電力株式会社岩手支店	
	日時	2020年10月29日(木)9:00～12:10	
	場所	盛岡市立東松園小学校	
	参加者数	45名	
	内容	<p>テーマ:東北電力株式会社岩手支店が小学生を対象に実施するエネルギーチャレンジ校・エネルギー出前講座と協働し省エネ・節電・SDGsについて出張環境学習会を実施。</p> <p>内容:省エネ・節電、エネルギー自給率、発電体験など</p>	
番号	14	イベント名等	平泉町民芸術祭
	主催団体	エコネット平泉	
	日時	2020年10月31日(土) 9:00～17:00	
	場所	平泉町立平泉小学校	
	参加者数	300名	
	内容	<p>テーマ:地球温暖化、エネルギー</p> <p>内容:地球温暖化防止・身近な取り組みパネル、発電比較体験キット、エネルギーのかばん、エコチェックアンケート実施</p>	
番号	15	イベント名等	SDGsスゴロクゲームをやってみよう!
	主催団体	一関市山目市民センター	
	日時	2020年 11月 3日(火) 10:00 ～ 12:00	
	場所	一関市山目市民センター体育館	
	参加者数	30名	
	内容	<p>テーマ:SDGsスゴロクゲームをやってみよう!</p> <p>内容:SDGsスゴロクを子どもたちが作り、ゲームを楽しむ</p>	
番号	16	イベント名等	宮古市立重茂小学校エネルギー出前講座
	主催団体	宮古市立重茂小学校	
	日時	2020年11月11日(水)10:40～12:15	
	場所	宮古市立重茂小学校3F理科室	
	参加者数	生徒16名(6年生)+教師4名	
	内容	<p>テーマ:東北電力株式会社岩手支店が小学生を対象に実施するエネルギーチャレンジ校・エネルギー出前講座と協働し省エネ・節電・SDGsについて出張環境学習会を実施。</p> <p>内容:省エネ・節電、エネルギー自給率、発電体験など</p>	
番号	17	イベント名等	釜石・白浜における持続可能な観光の実践のためのサポート Vol.1
	主催団体	かまいしDMC株式会社	
	日時	2020年11月27日(金)13:00～15:00	
	場所	御箱崎の宿	
	参加者数	6名	
	内容	<p>テーマ:人口約200名の釜石・白浜地区にある元保育所をリノベーションした宿「御箱崎の宿」を中心に、白浜地区における持続可能な社会づくりを目指す。</p> <p>内容:地域のリソース、環境に関する地域の課題についてヒアリングを実施</p>	

番号	18	イベント名等	釜石・白浜における持続可能な観光の実践のためのサポート Vol.2
	主催団体	かまいしDMC株式会社	
	日時	2020年12月18日(金)13:00～15:00	
	場所	御箱崎の宿	
	参加者数	6名	
内容	<p>テーマ:白浜地区における持続可能な社会づくりを目指す。 内容:「温暖化について、地域の方々が感じる課題は？対策は？」を題材にヒアリング。内容に関連付けSDGsに関する情報提供を行った。</p>		
番号	19	イベント名等	「とおのSDGsカフェ」Vol.2
	主催団体	一般社団法人遠野みらい創りカレッジ	
	日時	2020年12月20日(日) 14:00～17:00	
	場所	カフェテリア・アダージオ(みらい創りカレッジ内)	
	参加者数	53名	
内容	<p>テーマ:温暖化や環境のテーマを用い、また、資源(リソース)を考えることで遠野における具体的な事例に目を向けてもらう。 内容:SDGsについて(講座)、The SDGs アクション カードゲーム X(クロス)の実施</p>		
番号	20	イベント名等	放課後子ども教室「夏井っ子遊び☆学びランド」冬休み教室
	主催団体	久慈市夏井市民センター	
	日時	2020年12月26日(土)13:00～15:00	
	場所	久慈市夏井市民センター	
	参加者数	19名	
内容	<p>テーマ:地球温暖化やごみ問題のお話、岩手県地球温暖化防止推進員佐々木洋介氏のお話 内容:・環境紙芝居:地球がたいへんだあ!・家庭のエコチェック・紙漉き体験</p>		
番号	21	イベント名等	令和2年度滝沢市生涯学習推進職員研修会
	主催団体	滝沢市教育委員会	
	日時	2021年1月21日(木)10:00～11:40	
	場所	滝沢市役所大会議室	
	参加者数	24名	
内容	<p>テーマ:SDGsに関する研修会 内容:SDGs概要説明、The SDGs アクション カードゲーム X(クロス)</p>		
番号	22	イベント名等	「とおのSDGsカフェ」Vol.3
	主催団体	一般社団法人遠野みらい創りカレッジ	
	日時	2020年2月21日(日)10:00～12:00	
	場所	カフェテリア・アダージオ(みらい創りカレッジ内)	
	参加者数	23名	
内容	<p>テーマ:温暖化や環境のテーマを用い、また、資源(リソース)を考えることで遠野における具体的な事例に目を向けてもらう。 内容:SDGsに関する講座、ショートプレゼン(「生ごみの削減が遠野を持続可能にする!？」)</p>		
番号	23	イベント名等	釜石・白浜における持続可能な観光の実践のためのサポート Vol.3
	主催団体	かまいしDMC株式会社	
	日時	2020年2月25日(木)10:00～12:00	
	場所	御箱崎の宿	
	参加者数	5名	
内容	<p>テーマ:白浜地区における持続可能な社会づくりを目指す。 内容:ヒアリングの総括。また、SDGsに関する情報提供を行った。(13.気候変動、14.海の豊かさをまもろう、岩手県内の取組事例等)</p>		

番号	24	イベント名等	盛岡地方生活研究グループ連絡協議会研修会
	主催団体	盛岡地方生活研究グループ連絡協議会	
	日時	2021年3月2日(火) 10:30~12:00	
	場所	八幡平市農業普及センター	
	参加者数	24名	
	内容	テーマ:SDGsの理解。内容:環境アドバイザーの若生和江氏が農業、食料などの視点で45分ほどお話。その後The SDGs アクション カードゲーム X(クロス)を説明、ゲームを行う。	

●流域活動支援

「岩手県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例」に基づく流域基本計画により、取組を推進するためのネットワーク作りや活動のコーディネートや情報提供を行っています。

10

番号	1	イベント名等	根浜海岸再生活動
	主催・協力	釜石市立東中学校	
	日時	2020年6月17日 13:30～15:20	
	場所	釜石市根浜海岸	
	参加者	釜石市立東中学校生徒65名	
内容	海浜植物の育成状況について講義の後、ハマエンドウとハマヒルガオの種300粒を蒔く。		
番号	2	イベント名等	盛岡広域管内流域協議会交流会
	主催・協力	雫石環境パートナーシップ	
	日時	2020年7月8日 13:30～16:00	
	場所	雫石町墓地公園、御所湖広域公園(野菊公園)	
	参加者	19名	
内容	天然記念物チョウセンアカシジミ保全のためデワノトネリコの生育地、植樹活動を学ぶ		
番号	3	イベント名等	根浜海岸清掃活動
	主催・協力	根浜海岸清掃活動	
	日時	2020年7月8日 12:40～16:00	
	場所	釜石市根浜海岸	
	参加者	釜石市立東中学校生徒他104名	
内容	根浜海岸の除草、海浜植物の播種、柵の修繕、松の植栽を釜石市立東中学校の生徒が実施。		
番号	4	イベント名等	けせん環境懇談会
	主催・協力	環境学習交流センター	
	日時	2020年8月18日 14:00～16:00	
	場所	大船渡市防災観光交流センター会議室	
	参加者	流域協議会、環境保全団体など7名	
内容	いわてSDGsカフェ、SDGsカードゲームクロス実施状況報告、SDGsマジックプログラムの開発他		
番号	5	イベント名等	ミズアオイ観察会
	主催・協力	三陸自然学校大槌	
	日時	2020年9月13日 10:30～11:30	
	場所	三陸鉄道大槌駅南側遊水地	
	参加者	17名	
内容	大槌ミズアオイは震災で蘇った復興のシンボル。除草剤の抵抗性を欠く感受性固体は、貴重なもの。後世に残す必要がある。		

番号	6	イベント名等	海を守ろうチャレンジフォーラム2021
	主催・協力	岩手県	
	日時	2020年10月17日 13:30～15:30	
	場所	宮古市市民文化会館	
	参加者	環境保全団体他30名	
内容	「海の中から世界環境問題を考える」を主題に県がフォーラムを開催。県立宮古水産高校の「プラスチックごみの現状について」報告他		
番号	7	イベント名等	根浜海岸再生活動
	主催・協力	釜石市立東中学校	
	日時	2020年10月21日 12:40～16:00	
	場所	釜石市根浜海岸	
	参加者	環境保全団体、行政関係者など 約38名	
内容	釜石市立東中学校生徒の根浜海岸海浜植物再生に向けた活動。植栽を通じ生徒たちは海浜植物の大切さを知る。		
番号	8	イベント名等	令和2年度いわて水と緑の交流フォーラム
	主催・協力	岩手県	
	日時	2020年11月22日 13:30～16:45	
	場所	盛岡市エスポワール2F大ホール	
	参加者	環境保全団体、行政関係者など 約50名	
内容	環境保全活動に関する表彰式、感謝状贈呈式、事例発表とパネルディスカッション(いわてのきれいな海をみんなで守ろう！～海洋ゴミ削減のための多様な主体による連携取組について～)		
番号	9	イベント名等	根浜海岸再生活動
	主催・協力	かまいしDMC株式会社	
	日時	2021年3月28日 10:30～12:00	
	場所	根浜海岸オートキャンプ場	
	参加者	環境保全団体など30名	
内容	・根浜海岸再生活動、ポットに挿し木をして苗を作る・海浜植物とタネ、水に浮くか沈むか？アサガオとハマヒルガオのタネで実験・プランターにハマナスのタネまきをし、水やりをする		

- 岩手県地球温暖化防止活動推進センター



●いわてわんこ節電所 (<https://www.co2-diet.com/>)

11

「いわてわんこ節電所」とは、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けて、エネルギー消費の少ないライフスタイルへの転換を促進することを目的としたサイトです。

* 家庭のエコチェック

<https://www.co2-diet.com/home/>

普段の生活で取り組んだ省エネ行動によるCO₂削減量を、岩手県名物「わんこそば」の「わんこ」に見立てて積み重ねていく参加型の取組です。わんこが重なるほど、より多くのCO₂を減らせたということになります。

令和2年度実績

のべ参加者数 **13,529名** (前年度比108%)
家庭の二酸化炭素削減数 **471,549kg-CO₂** (前年度比96.5%)

電気に置き換えると、893,085kWh相当、2433世帯分の年間電気使用量を削減。達成度としては、レベル5「希望の空エリア」まで到達することができました。



* 地球温暖化について知る

<https://www.co2-diet.com/home/>

地球温暖化のメカニズムや二酸化炭素の排出状況や、気候変動への適応策や、身近な省エネ行動などについて紹介しています。

令和2年度は「水素エネルギーといわての未来」ページを新設しました。(<https://www.co2-diet.com/h2/page1.php>)

* 最新情報をチェック！

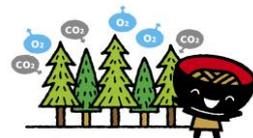
<https://www.co2-diet.com/topics/>

岩手県内外の温暖化に関する情報をお届けしています。

* ツール・ダウンロード

<https://www.co2-diet.com/tool/illustr/>

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けて、地球温暖化対策を推進する取組について広報する場合に活用いただけるキャラクター「エコわんこきょうだい」や、啓発ポスターなどがダウンロードできます。また、岩手県が制作した地球温暖化などによる気候変動の影響と対策に関する動画も紹介しています。



* 地球温暖化を防ごう隊

<https://www.co2-diet.com/fusegoutai/>

岩手県の小学生が取り組む地球温暖化対策です。隊員に任命された小学生は、隊員ノートを使ってお家でできる身近な省エネなどに取り組めます。いわてわんこ節電所では、隊員の取組事例紹介などを行っています。

令和2年度は事例発表を動画で発表しました。

岩手県の小学生が取り組む地球温暖化防止対策が面白い (いわてエコYouTube)

⇒http://youtu.be/8_o1-7l78wQ



* エコチェックプレゼントキャンペーン

<http://www.aiina.jp/environment/co2-diet/present.html>

日頃の省エネ行動によるCO₂削減量を確認できる「家庭のエコチェック」に参加すると、3か月ごとに抽選でプレゼントが当たります！

*いわてわんこ節電所のプレゼントキャンペーン賞品は、協賛企業提供商品です。

令和2年度は春、夏、秋、冬と4回開催しました。

* いわてわんこ節電所ニュース

毎月15日に配信するメールニュース「いわてわんこ節電所ニュース」では、イベント情報やタイムリーなお知らせ記事を中心に、取材を交えた特集記事や先進的な事業所の取組を紹介するコーナー等を掲載しています。

令和2年度 いわてわんこ節電所メールニューステーマ

4月号	◆《特集》家庭のエコチェック、新年度スタート！ / 平成30年度 家庭部門のCO ₂ 排出実態統計調査の結果について
5月号	◆《特集》自宅をもっと快適に！クールビズ、始まりました / 岩手県地球温暖化防止活動推進センターの開館状況について

6月号	◆《特集》6月は環境月間！「いわてから地球環境の未来を描こう」/「再エネ100宣言 RE Action」岩手県内の取り組みについて
7月号	◆《特集》令和2年度版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書を読む /地球温暖化防止活動推進員の活動～奥州エフエム「ラジオでエコ！～レッツ・クールチョイス～」
8月号	◆《特集》いわて夏エコキャンペーンに応募しよう！ /令和2年度「できることからECOアクション！」表彰
9月号	◆《特集》いわて気候変動チャレンジフェスタ2020に参加しよう！ /ライフスタイルに合わせた省エネ対策がわかる！うちエコ診断事例紹介
10月号	◆《特集》家庭のエコチェックに参加しよう！「プレゼントキャンペーン・秋」スタート！/エコロルと一緒に取り組もう！「食品ロス削減月間」
11月号	◆《特集》11月は「エコドライブ推進月間」です /北岩手循環共生圏講演会 & パネルディスカッションが開催されます
12月号	◆《特集》12月は「地球温暖化防止月間」です/家庭のエコチェックプレゼントキャンペーン<冬>スタート！
1月号	◆《特集》衣食住のひと工夫で暖かく過ごしましょう～ウォームビズ～/北上市「子どもとはじめる暮らしのエコチャレンジ」結果発表！
2月号	◆《特集》2月は省エネルギー月間です/新月の夜に、あかりを消す。「いわて星空満天プロジェクト」
3月号	◆《特集》「いわて気候非常事態宣言」について/水素エネルギーについて知ろう！「水素エネルギーといわての未来」

●省エネ・節電キャンペーン

「省エネ・節電キャンペーン」は、岩手のみなさんの省エネ・節電活動を応援するキャンペーンです。

■キャンペーン概要

岩手県地球温暖化防止活動推進センターでは、ご家庭での省エネ行動を促進し、地球温暖化対策につなげるため、県民参加型の省エネ・節電キャンペーンを実施しています。（主催：温暖化防止いわて県民会議／岩手県／岩手県地球温暖化防止活動推進センター）

令和2年度は、身近なエコアクション（省エネ行動）を実践して、これからの地球のことを考えるキャンペーン「いわてエコアクション2020夏エコ編」、「いわてエコアクション2020冬エコ編」、「いわてエコアクション2020未来のカーライフ編」を実施しました。

1. 「これからのあたりまえ」をつくろう！ いわてエコアクション2020夏エコ編

身近なエコアクション（省エネ行動）を実践して、これからの地球のことを考えるキャンペーン。

【主催】温暖化防止いわて県民会議、岩手県、岩手県地球温暖化防止活動推進センター

【期間】2020年7月15日（水）～9月30日（水）

【参加方法】WEBアンケート形式

【回答数】431名

【地域】県央：217名、県南：126名、沿岸：43名、県北：39名

●アンケート結果報告（いわてわんこ節電所ホームページ）

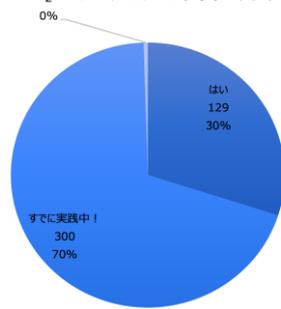
<https://www.co2-diet.com/topics/detail.php?id=395>

▼チラシデザイン

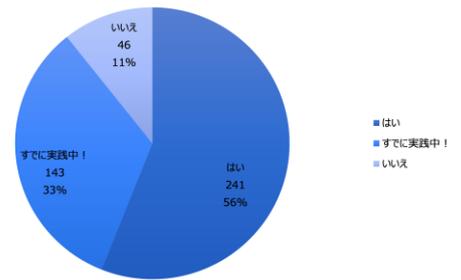


▼アンケート結果（一部）

クールビズに取り組みますか？



省エネ家電への買換えを検討しますか？



2. 2019-2020 いわて冬エコキャンペーン 岩手の冬をあったか＆エコに

身近なエコアクション（省エネ行動）を実践して、これからの地球のことを考えるキャンペーン。

【主催】温暖化防止いわて県民会議、岩手県、岩手県地球温暖化防止活動推進センター

【期間】2020年12月1日（水）～2021年2月28日（日）

【参加方法】WEBアンケート形式

【回答数】389名

【地域】県央：204名、県南：104名、沿岸：44名、県北：20名 その他：17名

●アンケート結果報告（いわてわんこ節電所ホームページ）

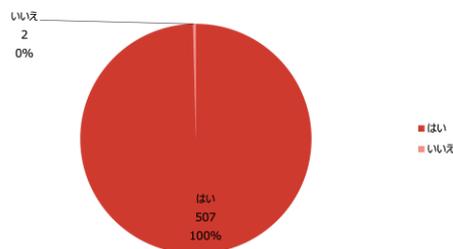
<https://www.co2-diet.com/topics/detail.php?id=397>

▼チラシデザイン

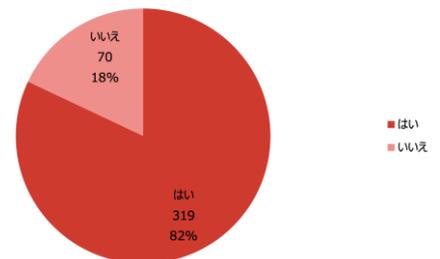


▼アンケート結果（一部）

住まいの断熱について理解が深まりましたか？



公共交通機関の利用に取り組みますか？





3. 変わる！いわてのカーライフ！「次世代自動車キャンペーン」

次世代自動車に関するWebアンケートに参加いただきました。

【期間】2020年9月15日(水)～2021年2月15日(月)

【参加方法】WEBアンケート形式

【回答数】509名

【地域】県央:246名、県南:162名、沿岸:61名、県北:25名 その他:7名

●アンケート結果報告(いわてわんこ節電所ホームページ)

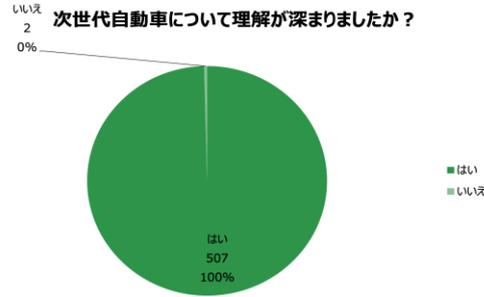
<https://www.co2-diet.com/topics/detail.php?id=396>

▼ポスターデザイン

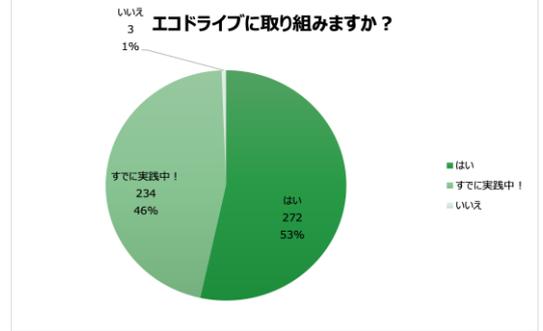


▼アンケート結果(一部)

次世代自動車について理解が深まりましたか？



エコドライブに取り組みますか？



●岩手県地球温暖化防止活動推進員派遣事業

県民の方が地球温暖化などに関する研修会等を開催する場合に、その研修会の講師として地球温暖化防止活動推進員を派遣する事業です。令和2年度は県内各地で講演等、83回の派遣を行いました。

実施日	6月19日	主催者	久慈市立小袖小学校	推進員	高橋 良和
		対象	3・4・5・6年生児童18名		
研修会	「地球温暖化を防ごう隊」事前指導				
テーマ	地球温暖化防ごう隊の取り組みについて				
内容(推進員より)	今回、初めて3～6年生の4学年同一環境学習であり、特に3年生への配慮がさらに足りなかった。環境にやさしい製品の現物を使っての説明はよかったが、充分ではなかった。急遽状況を見て口笛演奏を取り入れたのはよかった。また、担当先生との事前打ち合わせは良かったが、充分ではなかった。				

実施日	6月23日	主催者	奥州エフエム放送株式会社	推進員	花澤 淳
		対象	奥州エフエム放送株式会社社員・リスナー		
研修会	ラジオでエコ！～レッツCOOL CHOICE～、奥州エフエム環境研修会				
テーマ	省エネ機器・節電・省エネ				
内容(推進員より)	事前に質問アンケートを取ったことで、市民がどういったことを知りたいと思っているかが把握できたことはとても参考になった。またそれを中心に解説したことで、受講者も随時質問を交えながら興味深く聴いてくれた。省エネや温暖化と直接的な関係性の低い質問(地球の青さやゴキブリの北上、オゾン層の保全など)もあったが、そういった質問もアイスブレイクのような効果を果たすとともに、自分の知識を深めることにも役立った。終了後に数人から「面白かった」という声を頂いたので、省エネや温暖化に対する理解を深めてもらえたと感じた。				

実施日	7月3日	主催者	紫根の会	推進員	粒針 文子
		対象	一般主婦6名		
研修会	地球温暖化とこれからの暮らしについて				
テーマ	地球温暖化で困ること、感染症のリスクなど				
内容(推進員より)	皆さん、意欲的に感染対策に取り組んでいるとのことでしたが、今後の不安とどう向き合うべきか、その要点整理をする良い機会になったと話していました。これから皆で考えることが大切だと思います。				

実施日	7月9日	主催者	市民生活研究会	推進員	粒針 文子
		対象	会員7名		
研修会	地球温暖化と防災の心得について				
テーマ	地球温暖化による自然災害と防災について				
内容(推進員より)	現在、国内で起きている水害の状況を踏まえつつ、これまでの常識や経験を覆す現実にもどのように対処していけるのか、温暖化への適応を実践する場の必要性を誰もが感じています。温暖化防止活動をどのようにするかだけでなく、どう生き延びるかを一緒に考え、行動するきっかけとなる講座を、各分野のプロの方達にもご協力いただき市民の立場から作る一助となればと思います。				

実施日	7月11日	主催者	奥州宇宙遊学館	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般43名		
研修会	2020 7月星空観望会				
テーマ	星と空の明るさ・暗さ～星空の環境を知ろう～				
内容(推進員より)	星空観察に併せて光害の解説を行った。曇天のため市街地上空の都市光害が明確であり、身近な環境問題に気づかせる機会となった。				

実施日	7月13日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	奥州市立稲瀬小学校5年生児童10名 教職員1名		
研修会	奥州市環境学習事業(地球温暖化・エネルギーに関する学習会)				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	・昨日の大雨、ニュースで見るとこの頃の気象の変化など子供たちが日常体験していることと温暖化のつながりがわかるように伝えた。・地球儀でキリバスを探し、温暖化の影響を真っ先に受けている国と私たちの暮らしが繋がっていることに気づくよう話しかけた。・稲瀬小学校では、地元の「米」について調べ学習を進めていることを聞き、温暖化と農業、フードマイレージの話を加えた。・手回し発電で体験した時の実感を伴った感想が、リアルだった。				

実施日	7月14日	主催者	北上市生活環境部環境政策課	推進員	川邊 弥生
		対象	北上市立黒沢尻東小学校児童111人 教師4人		
研修会	子どもと始める暮らしのエコチャレンジ事前説明会				
テーマ	地球温暖化				
内容(推進員より)	北上市が4年生を対象に行っているエコチャレンジの事前学習ということで 地球温暖化について分かりやすく説明しました。コロナ感染予防対策としてマスクをしながらの説明でしたがマイクを準備して下さって、話しやすかったです。クイズなどにも積極的に参加して元気良く答えてくれました。先生からは、事前学習をしてもらうことで、エコチャレンジの取り組みにスイッチが入るのでよかったですとコメントいただきました。				

実施日	7月15日	主催者	遠野市立達曾部小学校	推進員	若生 和江
		対象	遠野市立達曾部小学校5・6年生児童と教職員16名		
研修会			地球温暖化を防ごう隊～今できり事から始めよう～		
テーマ			地球温暖化とエコ活動		
内容(推進員より)			・自分から興味があることを調べたり、伝えたいにつながると思いつきながら話を進めた。・クッキングはこれから旬を迎える夏野菜を使ったレシピにした。子供たちは、実際に調理したり食べたりで実感すると家でもやってみるといった感想が聞かれうれしく思った。		
実施日	7月15日	主催者	北上市生活環境部環境政策課	推進員	川邊 弥生
		対象	北上市立鬼柳小学校児童48名 教諭3名 合計51名		
研修会			子どもと始める暮らしのエコチャレンジ事前説明会		
テーマ			地球温暖化		
内容(推進員より)			北上市が4年生を対象に行っているエコチャレンジの事前学習ということで 地球温暖化について分かりやすく説明しました。コロナ感染予防対策としてマスクをしながらの説明でしたがマイクを準備して下さって話しやすかったです。クイズなどにも積極的に参加して元気良く答えてくれました。夏休みに取り組むエコチャレンジにどんなことをやりたいかが分かったようで良かったです。風呂敷活用では子供たちも興味深々でした。		
実施日	7月16日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	水沢市立小学校5年生児童87名 教職員6名 合計93名		
研修会			奥州市環境学習事業「地球温暖化を防ごう隊」取り組みの事前学習		
テーマ			地球温暖化		
内容(推進員より)			・電子黒板を使用し、間隔をとりながらも内容を見やすくできて良かった。普段の暮らしと温暖化がつながっていること、温暖化によって起きる事象から身を守るということの話が、大雨のニュースを見ていた子供たちにも身近に感じられたようだ。どんなことが出来るかなど、子供たちから聞いてみる時間が取れて良かった。		
実施日	7月16日	主催者	北上市生活環境部環境政策課	推進員	川邊 弥生
		対象	北上市立笠松小学校4年生児童15名、教員1名 合計16名		
研修会			子どもと始める暮らしのエコチャレンジ事前説明会		
テーマ			地球温暖化		
内容(推進員より)			北上市が4年生を対象に行っているエコチャレンジの事前学習ということで 地球温暖化について分かりやすく説明しました。パソコン室での開催で新しい機械を操作しながら説明しました。子供たちはクイズなどにも積極的に参加して元気良く答えてくれました。夏休みに取り組むエコチャレンジにどんなことをやりたいかが分かったようで良かったです。風呂敷活用では先生のモデルさんに子供たちも喜んでました。		
実施日	7月27日	主催者	奥州エフエム放送株式会社	推進員	若生 和江
		対象	奥州エフエム株式会社社員9名・リスナー		
研修会			ラジオでエコ！～レッツCOOL CHOICE～、奥州エフエム環境研修会		
テーマ			フードマイレージ		
内容(推進員より)			・フードマイレージについてまずは知ってもらえるよう身近な事例をもとに説明をし、初めて聞く人にもわかりやすい内容とした・買い物、調理の際に参考になるよう、実践的な内容にした・地元のリスナーさんがよく聞いている番組内での紹介というのは、より多くの方に知ってもらえる非常に良い機会だと思った。		
実施日	7月31日	主催者	岩手県環境生活企画室		高橋 良和
		対象	企業エコスタッフ23名		
研修会			令和2年度エコスタッフ養成セミナー		
テーマ			事業所における省エネ活動のポイント省エネ等に係るグループ討議		
内容(推進員より)			今回も、グループ討議の司会進行と各グループ発表に対する講評を行うために、受講生と会話をするなどして、コミュニケーション図った。		
実施日	8月1日	主催者	岩手県企業局	推進員	高橋 良和
		対象	一般47名(中学生以下15名)		
研修会			令和2年度岩手県企業局施設見学会		
テーマ			環境・エネルギー		
内容(推進員より)			環境教室で、持ち時間1回15分×5回実施。短時間のため、前段の県の発電所説明を取り入れた。県は再生可能エネルギーを推進するが、私たちはそれを応援しながら、自らの生活を省エネにしていくのが大切である、との伝え方は、成功したように感じた。		

実施日	8月1日	主催者	岩手県企業局	推進員	高橋 功
		対象	小中学生と一般18名		
研修会	令和2年度岩手県企業局施設見学会				
テーマ	環境・エネルギー				
内容(推進員より)	「ふしぎLED」を使ったマジックや、手回し発電機・冷蔵庫の模型を使った模擬体験等交えながらお話をさせていただいたことで、楽しみながら再生可能エネルギー発電と省エネについて考えていただけたと思います。				
実施日	8月6日	主催者	一関市千厩市民センター	推進員	川邊 弥生
		対象	子ども15名、大人6名 合計21名		
研修会	学びの土曜塾「地球温暖化のお話とエコの取り組み(自分にできる事)」				
テーマ	地球温暖化のお話とお箸づくり				
内容(推進員より)	会場内は間隔を空けて席を設け、手洗いや消毒、換気など細心の注意が払われていました。地球温暖化についての説明では、3マイ運動、フードマイレージ、レジ袋の有料化など分かりやすく説明しました。エコチェックアンケートの説明をして記入しました。子供たちは温暖化クイズなどにも元気良く答えてくれました。竹を活用したマイ箸作りでは、カッターを使うことに慣れていませんでしたが、時間をかけて自分だけの箸作りを楽しんでいました。講座終了後の昼食は作成した箸を使用し美味しく食べていました。				
実施日	8月8日	主催者	盛岡市都南公民館	推進員	川邊 弥生
		対象	公募一般親子6組14名		
研修会	親子の楽しい環境セミナー「てすきハガキを作って絵手紙を送ろう！」				
テーマ	リサイクル				
内容(推進員より)	牛乳パックをリサイクルして、紙すき体験した後に、環境の話や3Rについて説明しました。子供たちは興味をもって紙芝居や3Rのことを聞いてくれました。レジ袋の消費量クイズやエコ風呂敷に関するクイズを通して親子で環境問題を考えるきっかけになりました。普段は捨ててしまうものが、いろんなものに生まれ変わることに興味を持って頂けたと思います。				
実施日	8月10日	主催者	高齢者と家族の防災を考える会	推進員	粒針 文子
		対象	高齢者6名		
研修会	地球温暖化と災害時の避難について(1)				
テーマ	地球温暖化と災害の状況、必要な非難行動				
内容(推進員より)	感染症ひとつに左右されて家族がバラバラになるような今の社会の弱点を極め、今後に生かすために感染症の少ない岩手は今だからこぞできることもたくさんある。				
実施日	8月11日	主催者	公益財団法人日本青年会議所 東北地区 岩手ブロック協議会	推進員	櫻井 則彰
		対象	協議会会員5名		
研修会	日本のエネルギー問題について				
テーマ	エネルギー				
内容(推進員より)	発表のため47枚のスライド原稿を作成したが、それは使わず、前日にインタビュアーによる質問形式で行うとの連絡がある。当日の朝、質問4項目ほどに目を通し、その場で回答を作成し収録に対応した。				
実施日	8月23日	主催者	奥州エフエム放送株式会社	推進員	杉枝 武雄
		対象	奥州エフエム株式会社社員9名・リスナー		
研修会	ラジオでエコ！～レッツCOOL CHOICE～				
テーマ	エコドライブ				
内容(推進員より)	ラジオ収録というのが初経験で、かなり緊張しました。いつも通り話せばいいと思いましたが、いつもと勝手が違うので話し方が硬くなってしまいました。新型コロナウイルス感染防止対策としてラジオ媒体利用した活動も有効な方法だと思います。今後もチャンスがあれば積極的にチャレンジしていきたいです。				
実施日	8月24日	主催者	高齢者と家族の防災を考える会		粒針 文子
		対象	会員7名		
研修会	地球温暖化と災害の状況、必要な非難行動				
テーマ	地球温暖化と災害時の避難について(2)				
内容(推進員より)	頭でわかっていても心がついていかなければ行動に移せない、個々人がそうした危機管理の原点に気づいていただければ、人的被害が減らせる可能性が高まることを高齢化が進む中、県単位で取り組むべきだろうと思います。				
実施日	8月24日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課		若生 和江
		対象	奥州市立衣川小学校4年生14名 教職員2名 合計16名		
研修会	奥州市環境学習事業(ごみ・リサイクルに関する学習会、地球温暖化・エネルギーに関する学習会)				
テーマ	ごみ・リサイクルに関する学習会				
内容(推進員より)	・ごみにまつわる課題が広がっていて、内容が盛り沢山になってしまった・電子黒板を使い、図解が出来て良かった・分別体験では、市役所の担当課の職員の方にも参加していただき、分別の答え合わせと、子供たちからの質問に答えてもらい、なぜ？がよく分かった				
実施日	8月26日	主催者	一関市磐清水市民センター	推進員	川邊 弥生
		対象	一般10名		
研修会	風呂敷活用講座				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	3Rについてや、エコ風呂敷の歴史を紹介してから、皆さんが持ち寄った風呂敷で包み方をしました。市民センターのスタッフがティッシュBOX、一升瓶、本、ペットボトル、箱、かぼちゃなど包む材料を沢山用意してくださったので、とても楽しい講座になりました。中でもリュックサックは人気がありました。参加者同士、風呂敷で包んだ物を見せ合ったりして楽しそうでした。				

実施日	9月2日	主催者	岩手県キャンプ協会	推進員	吉田 偉峰
		対象	富士大学1年・2年希望者24名		
研修会		令和2年度富士大学集中講義 キャンプ実習 星空観察(地球温暖化)			
テーマ		星空観察・星空環境・光害			
内容(推進員より)		教育系教員を目指す学生対象の実習で、星空観察を通じた地域の環境把握について体験して頂いた。星空環境や光害について理解を深めて頂いた。			
実施日	9月3日	主催者	黒沢尻西地区交流センター	推進員	川邊 弥生
		対象	黒沢尻西小学校5年生84名		
研修会		家庭教育学級5年生「環境問題」			
テーマ		CO ₂ の排出抑制に自分たちの出来ることを学ぶ			
内容(推進員より)		北上市が取り組んでいるエコチャレンジは市内小学校4年生全員が夏休み中に取り組んでいます。昨年は市内小学校17校の807名が参加しています。西小5年生はエコチャレンジに参加しており、更に内容を深めて説明しました。家庭から出る廃油などは環境汚染になることから、川を汚さない方法などを紹介しました。			
実施日	9月4日	主催者	一戸町立一戸南小学校	推進員	吉田 偉峰
		対象	一戸町立一戸南小学校児童17名		
研修会		社会科見学			
テーマ		一戸町の施設の学習			
内容(推進員より)		町内の施設見学に併せて、事業所での温暖化対策の取組み等を紹介した。星空環境保全と光害、省エネの関連性について理解を深めて頂いた。			
実施日	9月9日	主催者	花巻市立湯口小学校	推進員	川邊 弥生
		対象	花巻市立湯口小学校5年生児童25名 教職員2名		
研修会		「地球温暖化」学習会～「地球温暖化を防ごう隊になろう！」～			
テーマ		地球温暖化の最新情報～未来の地球と私たちの暮らし～			
内容(推進員より)		温暖化防ごう隊取り組みの導入にあたり、温暖化問題について感想や目標を発表してくれました。ただ聞くだけではなくどんなことに関心を持ち調べていこうとするか？感想とめあてを聞くことができとても良い学習だったと感じました。温暖化クイズにも積極的に参加してくれて、聞く態度も良かったです。			
実施日	9月10日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 功
		対象	企業のエコスタッフ21名		
研修会		令和2年度エコスタッフ養成セミナー			
テーマ		事業所における省エネ活動のポイント			
内容(推進員より)		住宅の場合、室温の低下は窓からが最も多いことを伝え、対策としてカーテンの窓側にビニールシートを吊るすことで、視界を遮ることもなく5度も部屋の温度が上がることを、さらに天窓に簡単に手が届くのであれば、ケガをしないよう気を付けて、透明なビニール袋を広げて画鋏で止めると更に効果的なことについてもお話させていただきました。熱心に聞いてくださったので自宅や職場で試していただけるものと期待しております。			
実施日	9月11日	主催者	一戸町立一戸南小学校	推進員	吉田 偉峰
		対象	一戸町立一戸南小学校4学年児童16名 引率2名 合計18名		
研修会		一戸観光天文台の見学			
テーマ		星や月の動きの学習			
内容(推進員より)		理科学習の内容に、地域の星空環境と光害・エネルギー問題を絡めて、学習を行った。自然や環境に興味関心が広がった様子であった。			
実施日	9月23日	主催者	NPO法人ゆう・もあ・ねっと	推進員	川邊 弥生
		対象	古館小学校低学年5名・スタッフ1名 合計6名		
研修会		紫波町子ども教室 「環境について？紙芝居とリサイクル工作体験エネルギー学習(発電体験)」			
テーマ		地球温暖化・エネルギー・リサイクル			
内容(推進員より)		エコカーゴの出張環境学習との同時開催でした。前半は温暖化の説明とエコチェックアンケートの記入をしてから、環境学習交流センタースタッフによるエネルギー体験・リサイクル工作・エアーカーリングなど盛りだくさんの内容でした。子供たちが帰宅までの限られた時間の中で効率よく進められたと思います。子供たちはクイズや質問など積極的に参加していました。			
実施日	9月24日	主催者	奥州エフエム放送株式会社	推進員	花澤 淳
		対象	奥州市、金ヶ崎町のラジオリスナー		
研修会		ラジオでエコ！～レッツCOOL CHOICE～			
テーマ		節電、省エネ			
内容(推進員より)		今回で2回目の収録となったが、前回の教訓を生かして今回は事前に簡易的な原稿を作成し、伝えたい部分を漏れなく盛り込めるよう準備をしたため、収録も撮り直しなくスムーズに進んだ。収録のちょっとした合間に、ディレクターやパーソナリティから個人的な省エネに関する疑問や意見などが投げかけられたが、リスナーだけでなく放送する側も省エネ意識が高いことを嬉しく感じられたとともに、最近の家庭のテレビのサイズがかなり大きい(=家庭でのテレビの消費電力が大きい)ことを再認識させられた			

実施日	9月26日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 良和
		対象	一般28名		
研修会	いわて気候変動チャレンジフェスタ2020における「エコドライブシミュレーター体験」指導				
テーマ	エコドライブ				
内容(推進員より)	エコドライブシミュレーターは、子供には操作が難しいようでしたが、楽しんでもらえた。また、クイズラリーでは、親子参加が多いので、出来るだけ問題を家族内で考えてもらうよう、親子の両方に話しかけるように努めた。				

実施日	9月26日	主催者	盛岡市環境企画課	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般17名		
研修会	大気環境・光害についての学習及び星の観察・天体観察・地球温暖化について、空の観察を通してわかること。				
テーマ	大気環境問題・光害についての学習及び星の観察				
内容(推進員より)	天候は曇りであったが、当日の気象条件における上空の様子や、雲の上の天体の見え方などをスライドで説明した。また、雲の隙間から見える月を望遠鏡を通してみたり、市街地の明るい空の様子から光害について触れる機会となった。				

実施日	9月26日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	花澤 淳
		対象	約100名		
研修会	いわて気候変動チャレンジフェスタ2020における水素体験キットの説明				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	屋外会場には車が多く展示されており、一見すると自動車展のようであったせいか、来場者は比較的少なかった。また、来場者は親子が多く、子どもの多くは小学生以下であった。今回の啓発目的が、「水素エネルギーがエネルギーの選択肢の一つであることを認識してもらう」というものであったが、水素自体を知らない子どもも多く、どれだけの啓発効果があるのか疑問が残った。水素エネルギー体験キットは水素で動くミニカーを見るだけのもので「体験」と謳うには少し物足りないと感じた。				

実施日	9月26日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	鳥山 和夫
		対象	約130名		
研修会	いわて気候変動チャレンジフェスタ2020における温暖化に係るパネル展示の説明者及び発電体験コーナーでの対応				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	コロナ下でのイベントであり、かなりの制約を受けたがTVI及び イベント会社の協力で、メディアのPR効果もあって、それなりに来場者があり、一応の成功をみた。				

実施日	9月26日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 功
		対象	約130名		
研修会	いわて気候変動チャレンジフェスタ2020における温暖化に係るパネル展示の説明者及び発電体験コーナーでの対応				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	コロナ対策として、手回し発電機など体験していただいた都度の消毒作業はありましたが、沢山の方々に来ていただくことができました。				

実施日	9月26日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	吉田 偉峰
		対象	約30名		
研修会	いわて気候変動チャレンジフェスタ2020における温暖化に係るパネル展示の説明者及び発電体験コーナーでの対応				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	地球温暖化の基礎知識・エコドライブなどの具体的な取り組み方。来場者が少ない時間帯の対応であったため、会場内の展示や体験に参加しデモンストレーションを行った。				

実施日	9月27日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	鳥山 和夫
		対象	約130名		
研修会	いわて気候変動チャレンジフェスタ2020における温暖化に係るパネル展示の説明者及び発電体験コーナーでの対応				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	コロナ下でのイベントであり、かなりの制約を受けたがTVI及び イベント会社の協力で、メディアのPR効果もあって、それなりに来場者があり、一応の成功をみた。				

実施日	9月27日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	若生 和江
		対象	約40名		
研修会	いわて気候変動チャレンジフェスタ2020における温暖化に係るパネル展示の説明者及び発電体験コーナーでの対応				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	・家族でクイズラリーに参加して楽しんでいる方が多く、それぞれに応じたサポートが出来て良かった。・普段は気にかけることが少ないテーマに、クイズラリーに参加しながら関心を持ってもらったのはよかった。・屋外会場までの案内等、世代に応じたフォローが必要であった。・子供たちにもこたえやすいガンライザーのエコチェックシートのキャラクターをエコはっちゃんに変えて活用できないものか？				

実施日	9月27日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	川邊 弥生
		対象	約40名		
研修会	いわて気候変動チャレンジフェスタ2020における温暖化に係るパネル展示の説明者及び発電体験コーナーでの対応				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	イーハトーブ広場で地球温暖化防止を呼びかけるイベントで、クイズラリーの参加者は家族連れが多く、親子で答えを考えたり、パネルから答えを見つけたりと楽しく学ぶ機会になったと思います。1から5までのクイズは中で行われ、6,7は外で行われました。どのブースも色々なアイデアが盛り込まれており、最後の8は省エネ行動についてのアンケートになっており、ゴールでエコグッズが貰える流れになっていました。たくさんの方に来ていただき、熱心に質問されたり、パネルを見てくださる方がいて気候変動への緩和策や適応策について啓発する機会になったと思います。				

実施日	9月27日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 良和
		対象	約130名		
研修会	いわて気候変動チャレンジフェスタ2020における温暖化に係るパネル展示の説明者及び発電体験コーナーでの対応				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	動力が水素のプラモデル車の展示補助と来場者への解説。その他、風力発電と水素発生キットの説明を行う。クイズラリー6番の解説補助も行った。				

実施日	9月27日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 功
		対象	約130名		
研修会	いわて気候変動チャレンジフェスタ2020における温暖化に係るパネル展示の説明者及び発電体験コーナーでの対応				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	大人だけでなく子供たちにも積極的に声がけしたことで、沢山の方々に体験していただくことができました。持ち帰って頂いた各々のデータを見ながら、家庭での「エコドライブについての話題の広がり」に期待しております。				

実施日	9月29日	主催者	奥州市立前沢小学校	推進員	若生 和江
		対象	5学年児童 3組・4組61名 教師2名 合計63名		
研修会	SDGs学習会「THE SDGsカードゲームXと発電体験」				
テーマ	SDGs・SDGsアクションカードゲーム体験				
内容(推進員より)	SDGsの概要のパワーポイントはわかりやすくまとめられていて、子供たちも集中して見ていた。・それぞれの班に一人ずつスタッフが入り、進め方の説明や必要に応じて助言ができる体制はよかった。・児童ひとりひとりの話を聞けるよう「場」を作ることが大切。・「話す」「聞きあう」ベースを作るうえでもよい体験だった。・地域内の学校等からSDGsに関する相談が増えてきている。それに対応しつつ地域につながる話ができるよう、今後も自己研鑽を積みたいと思う。				

実施日	9月30日	主催者	奥州市立前沢小学校	推進員	若生 和江
		対象	5学年児童1組・2組60名 教師2名 副校長先生・校長先生 合計64名		
研修会	SDGs学習会「THE SDGsカードゲームXと発電体験」				
テーマ	SDGs				
内容(推進員より)	・SDGsの概要のパワーポイントはわかりやすくまとめられていて、子供たちも集中して見ていた。・それぞれの班に一人ずつスタッフが入り、進め方の説明や必要に応じて助言ができる体制はよかった。・児童ひとりひとりの話を聞けるよう「場」を作ることが大切。・「話す」「聞きあう」ベースを作るうえでもよい体験だった。・地域内の学校等からSDGsに関する相談が増えてきている。それに対応しつつ地域につながる話ができるよう、今後も自己研鑽を積みたいと思う。				

実施日	10月1日	主催者	八幡平市寺田コミュニティセンター	推進員	川邊 弥生
		対象	高齢者36名		
研修会	七時雨大学				
テーマ	地球温暖化の最新情報～未来の地球と私たちの暮らし～				
内容(推進員より)	七時雨大学の受講生が対象の講座でした。とても熱心に聴いて下さりクイズと一緒に考えたり、風呂敷活用の実演では、ハンカチを出して包んでいる方もいました。コロナ対策も万全で、お茶などの準備もあり、途中休憩を取りながらお話をさせて頂きました。スタッフの方々の協力のおかげで順調に進められて良かったです。				

実施日	10月8日	主催者	奥州エフエム放送株式会社	推進員	若生 和江
		対象	スタッフ8名他 金ヶ崎・奥州市リスナー		
研修会	ラジオでエコ！～レッツCOOL CHOICE～				
テーマ	フードマイレージ				
内容(推進員より)	初めて聞く人にもわかりやすい伝え方を意識して話すよう心掛けた。聞くだけでなく、行動につながるような話を対話形式で行った。				

実施日	10月13日	主催者	一関市磐清水市民センター	推進員	川邊 弥生
		対象	磐清水地区内住民10名		
研修会		環境学習講座			
テーマ		地球温暖化・エネルギー			
内容(推進員より)	身近な物や捨ててしまうものを有効に活用できることを紹介しました。参加者はとても熱心に聞いていて、うなずいたり、やってみようとお話していました。エコライフへ更に興味を持っていただけたと思います。エコチェックアンケートの省エネ行動について説明してから、各自記入してもらいました。				
実施日	10月15日	主催者	特定非営利活動法人紫波みらい研究所	推進員	若生 和江
		対象	一般10名		
研修会		環境講座「うちエコごはん講座」			
テーマ		食品ロス			
内容(推進員より)	・手に入りやすい食材で作れる献立とすることで家庭での取り組みがしやすいように工夫した。・昆布だしの取り方など、ほんの少しのひと手間でおいしくなるの勧め・家にあるもので代用できる省エネクッキングのやり方を紹介 以前参加したことがある…という受講者の方から、以前教わったことを家でもやっています…という話を聞き、よかったなあと思った。				
実施日	10月16日	主催者	民泊halcoya	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般11名		
研修会		ようこそ雫石町へ転入者応援カフェ西安庭でスターウオッチング			
テーマ		星空環境			
内容(推進員より)	地域の星空観察を通じて、身近な地球温暖化対策について考えて頂いた。環境意識の高い地域であり、参加者が非常に熱心であった。				
実施日	10月17日	主催者	盛岡市環境部環境企画課	推進員	若生 和江
		対象	一般20名		
研修会		環境学習講座「エコアス収穫祭で食べる大切さを学ぼう！」			
テーマ		作物の収穫を通じて食育及び温暖化対策を行う			
内容(推進員より)	・小さな子供たちが多かったので、わかりやすい言葉で伝えるようにした。後から参加者のお母さんから、絵本良かったですとの感想をいただいた・普段できることをクイズのような問いかけチェックにして聞いてみたら、大人も子供も参加してくれてよかった・畑で土を掘ったりお芋をひっぱったりした後で、持ち帰ったお芋を食べながら親子で話ができたらいいと思う。やっぱり体験が一番！				
実施日	10月18日	主催者	民泊halcoya	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般10名		
研修会		ようこそ雫石町へ西安庭でスターウオッチング			
テーマ		地球温暖化・エネルギー			
内容(推進員より)	地域の星空観察を通じた地球温暖化対策と、周辺地域の星空環境保全についてお話しした。会場の環境が良く、今後の発展的展開に期待できる。				
実施日	10月19日	主催者	宮古市社会教育振興協議会	推進員	吉田 偉峰
		対象	宮古地区社会教育関係者16名		
研修会		令和2年度 第1回宮古地区社会教育関係職員研修会			
テーマ		星空環境・光害・温暖化			
内容(推進員より)	星空環境・光害・地球温暖化の基礎知識 地域の星空環境の保全。社会教育関連職員の研修会で、星空観察を通じた光害等の現状把握を体験して頂いた。各施設での同様のプログラム展開に期待したい。				
実施日	10月20日	主催者	宮古市社会教育振興協議会	推進員	吉田 偉峰
		対象	宮古地区社会教育関係者16名		
研修会		令和2年度 第1回宮古地区社会教育関係職員研修会			
テーマ		星空環境・光害・温暖化			
内容(推進員より)	星空環境・光害・地球温暖化の基礎知識 地域の星空環境の保全(昨日のおさらい)。SDGsと星空環境について				
実施日	10月26日	主催者	市民生活研究会	推進員	粒針 文子
		対象	一般県民8名		
研修会		プラスチック袋を使わずにやってみよう～快適に物を包む、運ぶ体験講座～			
テーマ		地球温暖化・エネルギー			
内容(推進員より)	レジ袋有料化実施後の現状と問題点について(参加者の状況と問題意識について話し合うことも含む)・岩手県の地球温暖化対策目標について・レジ袋の代わりに風呂敷やスカーフの利用体験。風呂敷やスカーフ利用を楽しく覚えてもらった。				

実施日	10月27日	主催者	釜石市立小佐野小学校	推進員	櫻井 則彰
		対象	釜石市立小佐野小学校4年生児童40名		
研修会	地球温暖化を防ごう隊事前学習会				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	・防ごう隊ノートの説明・地球温暖化の現状と対策(PPTを使用)・発電の仕組み・エネルギーについて・CO2削減のために家庭でできる事・発電体験(風力・白熱電球・LEDの違い)・ハチドリ一滴読み聞かせ。2100年の天気予報(PPTを使用)・エコチェックアンケートの実施。・電気はどのような仕組みで作るのか。電池とモーター、モーターを回せば電気が起きる実験。手回し発電で電気を作る。電力会社ではどうやってモーターを回すのか。火力発電はCO2が出る。一連の仕組みを説明。地球温暖化防止コミュニケーションに提供された温暖化の内容のPTT、2100年の天気予報などを使用し説明する。				
実施日	11月2日	主催者	紫波町立水分小学校	推進員	川邊 弥生
		対象	紫波町立水分小学校5年生児童15名		
研修会	「地球温暖化を防ごう隊」事前学習				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	温暖化防ごう隊事前学習として温暖化の最新情報を説明しました。身近な実例をスライドで紹介しました。温暖化クイズにも積極的に参加してくれたり聞く態度もとても良かったです。最後の感想では、「私はマイバックを持って買い物したり、水の出し方に気をつけたりしたい」等発表してくれました。				
実施日	11月9日	主催者	市民生活研究会	推進員	粒針 文子
		対象	高齢者6名		
研修会	地球温暖化防止につながる暮らし方				
テーマ	地球温暖化の現状と対策				
内容(推進員より)	岩手県では暖房器具が必要な時期が最もCO2排出量が多いこと、省エネ家電製品を選ぶ目安として国から配布されているものを参考にできる事、新型コロナ対策で重要な換気の仕方として、暖かい室温を保ちながら効率よく行えるポイントなどをお話しました。さらにオリジナルの新聞バッグも簡単に作れることを紹介し、今後は片付いた部屋で火災に注意しながらエコな暮らしを楽しんでいただくようお願いしました。				
実施日	11月13日	主催者	宮野目コミュニティ会議	推進員	川邊 弥生
		対象	地域住民25名		
研修会	みやのめ寺子屋塾				
テーマ	レジ袋有料化に伴い風呂敷の活用法を学ぶ				
内容(推進員より)	風呂敷の歴史を紹介してから、皆さんが持ち寄った風呂敷で包み方をしました。振興センターのスタッフがティッシュBOX、ペットボトル、箱など包む材料を沢山用意してくださったので楽しい講座になりました。風呂敷で包んだ物を見せ合って満足されていました。コロナ感染予防対策も万全で席の間隔を広く取ったり、テーブルなどの消毒もされていました。				
実施日	11月17日	主催者	一戸町立一戸南小学校	推進員	吉田 偉峰
		対象	4学年児童15名 教員2名 合計17名		
研修会	理科学習会				
テーマ	星空環境と光害について				
内容(推進員より)	宇宙と地球の位置関係と、地球温暖化の基礎知識。身近な星空環境と光害問題への対策。一戸南小学校の恒例授業だが、今年度は第4学年のみでの実施となった。学年に特化した内容になり、授業の深みが増したようである。				
実施日	11月24日	主催者	一関市立花泉小学校	推進員	千葉 理恵
		対象	5年生児童19名 教師1名 合計20名		
研修会	「地球温暖化を防ごう隊」出前講座				
テーマ	地球温暖化の現状と対策				
内容(推進員より)	「地球温暖化を防ごう隊員ノート」を用いて、5年生が活動を始めるにあたり、概要説明を行った。初めに、気温の変化について世界、日本の変化について説明し、一関市の平均気温については、班ごとにグラフを作成してもらった。次に、地球温暖化の仕組み・影響・原因について説明、最後に、家庭でできる取り組みについて説明し、隊員として中心になって活動してもらえよう、また、「私たち推進員と一緒に活動しましょう」と協力を促した。				
実施日	11月26日	主催者	釜石地球温暖化対策地域協議会	推進員	臼澤 良一
		対象	釜石市環境課職員・地域協議会会員合計15名		
研修会	釜石市地球温暖化対策地域協議会令和2年第一回会議				
テーマ	温暖化対策地域協議会活動の課題				
内容(推進員より)	・参加者は主婦層が多く専門的なことは避け、視覚に訴えるように努めた。・参加者が、活動に一步踏み出すキッカケづくりになるような事例を交えて話を進めた。				
実施日	11月27日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	奥州市立水沢南中学校1学年175名		
研修会	SDGsに関する学習会				
テーマ	SDGs				
内容(推進員より)	・SDGsについての概要・SDGsがめざしていること・世界で起きている事と地域のことを知る・これからの取り組みについて、考え、行動のきっかけとする。すべての人々が安心して幸せに暮らすためには、その土台となる環境が守られていることが大切で、今まで学んできた温暖化やリサイクルなどすべてのことがつながって起きていることを理解してもらえようように丁寧に伝えた。				

実施日	12月3日	主催者	一戸町立一戸南小学校	推進員	吉田 偉峰
		対象	一戸町立一戸南小学校5,6年生児童30名		
研修会	地球環境や星空環境について考える機会を持つ				
テーマ	理科学習会				
内容(推進員より)	高学年を対象に、星空と地球環境についてお話した。環境に特化した内容となり、例年以上に深い学びの機会となったようである。				
実施日	12月5日	主催者	矢巾町活動交流センターやはぱーく	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般21名		
研修会	やはぱーく ウィンターフェスティバル「ふゆごモール」				
テーマ	星空環境、光害・エネルギー				
内容(推進員より)	地域の星空環境と季節の星々 光害と地域のエネルギー消費。地域の星空環境の現状や光害とエネルギー消費の関係について説明した。身近な星空の観察を通じて、地球環境に興味を持って頂けたようである。				
実施日	12月7日	主催者	奥州エフエム放送株式会社	推進員	花澤 淳
		対象	スタッフ8名及びリスナー		
研修会	ラジオでエコ！～レッツCOOL CHOICE～				
テーマ	省エネ機器・節電・省エネ				
内容(推進員より)	① ラジオ放送を通して奥州市民、金ヶ崎町民の環境意識向上を図るため、省エネ機器に関する5分間(週2回)×3週間の啓発放送の収録を行った。今回(1月放送分)は冬季の省エネ機器として、暖房の省エネに関する基礎知識として断熱の重要性を解説するとともに、種々の暖房機器の省エネ方法を紹介し、さらに春の新生活家電に関する省エネについてポイントを解説した。				
実施日	12月10日	主催者	盛岡ペットワールド専門学校		川邊 弥生
		対象	1学年生57名・教職員2名		
研修会	SDGs勉強会				
テーマ	地球温暖化・気候変動について				
内容(推進員より)	地球温暖化・気候変動について。地球温暖化の最新情報～未来の地球を私たちの暮らし～をパワーポイントで説明。世界の平均気温上昇と岩手県の平均気温上昇の比較。温暖化の影響でどんなことが実際に起こっているか？ 私たちが出来ることとして、緩和策と適応策について。ハチドリのひとしずく等を約10分にまとめて紹介しました。				
実施日	12月16日	主催者	一関市立東山小学校		川邊 弥生
		対象	6学年児童42名・担任等3名 合計45名		
研修会	地球温暖化防止学習会				
テーマ	地球温暖化の状況と防ごう隊の取り組み				
内容(推進員より)	地球温暖化防ごう隊2年連続の取り組みに向けて説明 地球温暖化の最新情報～2100年未来の地球と私たちの暮らし～をパワーポイントで説明。温暖化とは？世界の平均気温上昇は？温暖化の影響でどんなことが実際に起こっているか？気温上昇を2度未満に抑えるために？温暖化に対して私たちは何が出来るか？ クールチョイスクイズをみんなで考えよう。レジ袋の削減やマイクプラスチック問題について。エコ風呂敷の簡単な包み方。はちどりのひとしずく等。				
実施日	12月26日	主催者	久慈市夏井市民センター	推進員	佐々木 洋介
		対象	一般19名		
研修会	放課後子ども教室「夏井っ子遊び☆学びランド」冬休み教室				
テーマ	地球温暖化の現状と対策				
内容(推進員より)	小学校低学年が多いことから、普段使用している環境用語について、かみ砕いて説明する必要がある。温暖化といっても、そもそも温暖化がどうしてダメなのか？とか、より根本的な所からの説明を中心に行った。				
実施日	1月19日	主催者	一関市立室根小学校	推進員	徳谷 喜久子
		対象	一関市立室根小学校3・4年複式学級児童15名		
研修会	地球温暖化を防ごう隊ノート事前学習会				
テーマ	地球温暖化防止に対する活動について				
内容(推進員より)	地球ボールを用いると子供たちが興味を示す。・木製のカトラリーセットが好評で、「木のナイフでは肉が切れない」と興味深そうに見ていた。・男子生徒が「僕たちが大人になったら、どんな車に乗るだろう」と質問した→これから暫くは電気自動車が増えてくると思われるが、その後は水素自動車(燃料電池車)に代わると思われることを話した。				
実施日	1月22日	主催者	岩手県環境生活企画室	推進員	林 俊春
		対象	事業者エコスタッフ候補者42名 スタッフ5名		
研修会	令和2年度エコスタッフ養成セミナー				
テーマ	エコスタッフ養成				
内容(推進員より)	個人的に受講者より声を掛けられ「今日は、参加してよかった。今までの環境活動に対するもやもやすべて晴らすことが出来ました。」とのコメントをいただいたので、それなりに理解して頂いたものと受けとめました。				

実施日	1月24日	主催者	笑いのたねプロジェクト	推進員	若生 和江
		対象	主婦9名		
研修会	簡単エコクッキング				
テーマ	省エネルギー・食品ロス				
内容(推進員より)	・エコクッキングを通して省エネルギー・食品ロス等について伝える・食材を使いきれぬ調理法・調理の際に省エネ、ママ楽を叶える調理法の紹介・家庭に戻っても実践できるような内容を盛り込んだ・エコチェックアンケートの実施				

実施日	1月25日	主催者	矢巾町役場町民環境課 環境係	推進員	若生 和江
		対象	矢巾町立徳田小学校3年生児童 31名		
研修会	釜石市地球温暖化対策地域協議会令和2年第一回会議				
テーマ	釜石地球温暖化対策地域協議会活動の課題				
内容(推進員より)	・ぼくたちができると今地球で起きている事がつながる学習・これからの環境学習につながるよう、興味をもって知る、伝える学びのスタートになるよう伝えた。・子供たちに、問いかけながら普段見聞きしている事の中に、環境につながるものがたくさんあることに気づく興味、関心の種まき。				

実施日	1月27日	主催者	矢巾町役場町民環境課 環境係	推進員	高橋 功
		対象	矢巾町立不動小学校3年生児童29名 教諭2名 役場担当者2名 合計33名		
研修会	令和2年度矢巾町環境学習				
テーマ	気候変動・温暖化				
内容(推進員より)	全員に配付した「地球温暖化を防ごう隊員ノート」と、手づくりのブック本を使い、温暖化のしくみや影響について話し、太陽光パネルや風力発電模型で再生可能エネルギーについて体験していただくことで、再生可能エネルギーだけに頼るのではなく、「身近にできるエコへの取組みが必要」なこと、そして、ダンボールでつくった冷蔵庫などで具体的な取組みについて考えて頂きました。				

実施日	1月28日	主催者	令和2年度矢巾町環境学習	推進員	花澤 淳
		対象	矢巾東小学校3年生児童61名 教諭3名 町職員2名 合計66名		
研修会	令和2年度矢巾町環境学習				
テーマ	気候変動・温暖化				
内容(推進員より)	主催者の希望する内容に沿って①気候変動で身の回りに起こっていること、②気候変動を防止するための行動について講義を行った。③のエコチェックアンケートは授業時間内に実施する事が出来なかったため、後日学校で実施していただくこととした。				

実施日	1月29日	主催者	令和2年度矢巾町環境学習	推進員	川邊 弥生
		対象	矢巾町立煙山小学校3学年児童111名、教員5名 町職員2名 合計118名		
研修会	令和2年度矢巾町環境学習				
テーマ	気候変動・温暖化				
内容(推進員より)	地球温暖化の環境問題について身近な問題とは？地球温暖化の最新情報～2100年未来の地球と私たちの暮らし～をパワーポイントで説明。温暖化とは？世界の平均気温上昇は？温暖化の影響でどんなことが実際に起こっているか？気温上昇を2度未満に抑えるために？温暖化に対して私たちは何が出来るか？クールチョイスクイズをみんなで考えよう。レジ袋の使用を岩手県の方がやめると原油はどれくらい節約できるか？エコ風呂数の簡単な包み方。はちどりのひとしずく等スライドを見ながら分かりやすく説明。				

実施日	2月1日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	杉枝 武雄
		対象	企業エコスタッフ9名		
研修会	令和2年度エコスタッフ養成セミナー				
テーマ	エコドライブ、企業における省エネ活動				
内容(推進員より)	エコスタッフ養成セミナーにおけるエコドライブ座学講習及び事業所における省エネ活動のポイントの講師、架空オフィスの省エネ対策グループ討議結果の講評				

実施日	2月3日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	花澤 淳
		対象	県内事業者21名		
研修会	環境マネジメントスキルアップセミナー				
テーマ	事業所における省エネ活動のポイント				
内容(推進員より)	県内事業者省エネ等の環境マネジメントを推進する人材育成を強化を目的とする「環境マネジメントスキルアップセミナー」において、事業所における省エネ活動のグループ討議(改善案の検討)のアドバイザーとして提案を行った。①省エネ対策②太陽光発電の導入、土木工事における省エネ効果把握の原単位管理など。				

実施日	2月3日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 功
		対象	県内事業者21名		
研修会	環境マネジメントスキルアップセミナー				
テーマ	事業所における省エネ活動のポイント				
内容(推進員より)	省エネ活動に向けたグループ討議支援者の補助役として参加させていただき、「新しい設備はエコだけど新しくするにはお金がかかる」といった課題に対し、岩手県では事業者向け省エネ診断事業を行っていて無料で診断していただけること、再生可能エネルギーの導入、電力の購入にあたっては、「値段だけでなく地産地消も意識してほしい」等助言させていただきました。				

実施日	2月3日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 良和
		対象	県内事業者21名		
研修会		環境マネジメントスキルアップセミナー			
テーマ		事業所における省エネ活動のポイント			
内容(推進員より)		<p>少人数のため司会進行と書記は推進員が担当し、企業の4名には活発な意見を出し合ってもらい、業種の異なる人の意見が聞けて良かったと思われる。事例発表の伊藤組様から、見やすい資料を頂き、環境への取り組みに参考になったと思われる。また、参加者から事前に省エネや環境への取り組み、再生可能エネルギー活用、他事業所に聞きたいこと、その他要望等を聞いていたので、司会進行担当した私は、スムーズに進めることが出来た。エネルギー原単位の意味や事例等を詳しく説明した。また全体説明の中でもAグループに対して説明が出来た。原単位を取り入れることで、売り上げに左右されない評価が出来ることを伝えた。グループでは、単なる表面的な解決策を追わず、一歩踏み込んだ議論を行い、各社の立場や経験からの自由な議論がなされた。その結果、伊藤組の日常の環境行動につながる方法を考えるにはどうしたらよいかと中身の濃い討議が出来た。</p>			

実施日	2月3日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	鳥山 和夫
		対象	県内事業者21名		
研修会		環境マネジメントスキルアップセミナー			
テーマ		事業所における省エネ活動のポイント			
内容(推進員より)		<p>県内企業の環境マネジメントモデルケースの聴講と、参加者が抱える環境マネジメントを推進していく中で、日ごろ感じる悩みや解決方法をお互い忌憚のない意見を交換し、今後の活動の一助とするもの。</p>			

実施日	2月8日	主催者	滝沢ユネスコ	推進員	櫻井 則彰
		対象	市民17名		
研修会		市民文化講演会「SDGSセミナー」			
テーマ		2030年に向けての滝沢市のごみ処理と減量化			
内容(推進員より)		<p>ごみ問題のワークショップ(以下の課題をQ&A形式で話し合う)・プラスチック問題に特化、どのようなプラスチックが身近にあるのか?・プラスチックが使い捨てされる理由は?・人口1人あたりの使用量1位は米国、では2位の国はどこか?・ペットボトルが分解するにはどの位の時間がかかるのか?・プラスチックがプールの中に溢れる絵を見てどう思うか?・日本、中国、インド、ドイツの家庭の食材(写真)を見て何を感じるか?・質問と答え、根拠となるデータをスライドで示し話を進行させた。</p>			

●いわて森のゼミナール運営業務

児童・生徒をはじめ広く県民を対象に、森林・林業に対する理解を深めていただく機会を提供することを目的に、「森林学習会」等を開催。

14₋₁

- 森林学習会 -

No.1	実施日	6月19日	実施校	盛岡市立飯岡小学校	講師	川村晃寛氏、川村冬子氏
			対象	5年生49名		
内容			樹木観察			
No.2	実施日	6月28日	実施校	雫石町立雫石小学校	講師	高橋良和氏
			対象	1～5年生6名		
内容			樹木観察			
No.3	実施日	6月30日	実施校	雫石町立御明神小学校	講師	高橋良和氏
			対象	4年生12名		
内容			樹木観察			
No.4	実施日	8月4日	実施校	盛岡市立津志田小学校	講師	川村晃寛氏
			対象	3～6年生25名		
内容			樹木観察			
No.5	実施日	8月25日	実施校	奥州市立胆沢愛宕小学校	講師	高橋扶和氏
			対象	5年生3名		
内容			樹木観察			
No.6	実施日	9月2日	実施校	花巻市立内川目小学校	講師	石塚勇太氏、深澤鮎美氏
			対象	全校生14名		
内容			樹木観察			
No.7	実施日	9月2日	実施校	洋野町立帯島小学校	講師	中野雅幸氏、小原良樹氏、辻鼻均氏、山内七恵氏
			対象	5～6年生21名、9月10日も実施		
内容			学校林活用			
No.8	実施日	9月3日	実施校	奥州市立伊手小学校	講師	佐藤勤氏、菅原民子氏
			対象	5年生12名		
内容			樹木観察			
No.9	実施日	9月3日	実施校	葛巻町立小屋瀬小学校	講師	川村晃寛氏
			対象	全校生徒25名 10月3日も実施		
内容			樹木観察			
No.10	実施日	9月11日	実施校	盛岡市立羽場小学校	講師	川村晃寛氏、川村冬子氏
			対象	2年生39名		
内容			樹木観察			
No.11	実施日	9月12日	実施校	奥州市立水沢小学校	講師	川村晃寛氏
			対象	1～3年生10名		
内容			樹木観察			
No.12	実施日	9月16日	実施校	大船渡市立越喜来小学校	講師	千田 永久世氏 千田 耕基氏
			対象	3年生14名		
内容			樹木観察			

No.13	実施日	9月17日	実施校	盛岡市立玉山小学校	講師	浜津ミサノ氏
			対象	1～4年生13名		
内容		樹木観察				
No.14	実施日	9月18日	実施校	大船渡市立赤崎小学校	講師	千田 永久世氏 千田 耕基氏
			対象	5年生20名		
内容		樹木観察				
No.15	実施日	9月29日	実施校	盛岡市立飯岡中学校	講師	川村晃寛氏、川村冬子氏
			対象	1年生60名		
内容		樹木観察				
No.16	実施日	10月1日	実施校	奥州市立大田代小学校	講師	阿部永宏氏、菅原民子氏、早川京子氏
			対象	全学年18名		
内容		樹木観察				
No.17	実施日	10月1日	実施校	宮古市立山口小学校	講師	中沢勤氏
			対象	5年生28名		
内容		学校林活用				
No.18	実施日	10月7日	実施校	北上市立口内小学校	講師	小沢宗氏、川田昌代氏
			対象	1～2年生10名		
内容		樹木観察				
No.19	実施日	10月8日	実施校	遠野市立達曽部小学校	講師	道原僚氏、高橋修氏
			対象	1～2年生13名		
内容		学校林活用				
No.20	実施日	10月9日	実施校	久慈市立夏井小学校	講師	中野雅幸氏、小原良樹氏、辻鼻均氏、山内七恵氏
			対象	1～6年生19名		
内容		学校林活用				
No.21	実施日	10月16日	実施校	宮古市立崎山小学校	講師	齋藤眞琴氏、平塚喬氏、荒矢寿峰氏
			対象	1年生24名		
内容		樹木観察				
No.22	実施日	10月19日	実施校	盛岡市立山岸小学校	講師	泉桂子氏、道原僚氏、大堀拓氏
			対象	1～6年生19名		
内容		学校林活用				
No.23	実施日	10月21日	実施校	盛岡市立大慈寺小学校	講師	田村正武氏、工藤一史氏
			対象	3年生25名		
内容		樹木観察				
No.24	実施日	10月28日	実施校	盛岡市立東松園小学校	講師	松木佐和子氏、西村和明氏、近藤修三氏
			対象	1年生34名		
内容		樹木観察				
No.25	実施日	11月9日	実施校	岩泉町立釜津田小学校	講師	川村晃寛氏
			対象	全校生6名		
内容		樹木観察				

No.26	実施日	2月9日	実施校	一関市立涌津小学校	講師	千田典文氏
			対象	5年生20名		
内容		樹木観察				
No.27	実施日	2月17日	実施校	一関市立川崎小学校	講師	千田典文氏
			対象	5年生21名		
内容		樹木観察				
No.28	実施日	3月3日	実施校	大船渡市立綾里小学校	講師	千田 永久世氏 千田 耕基氏
			対象	5年生13名		
内容		樹木観察				

森の実践ゼミナール活動報告書

黒岩里山保全の会
(雷神の森130年プロジェクト)

開催日時	2020年7月4日(土)10:00~12:00	1.50	出席者 ● 川村 晃寛 藤原 正 櫻井 則彰
開催場所	藤原正さん別宅(古民家又兵衛)		
開催回数	第1回	開催目的	

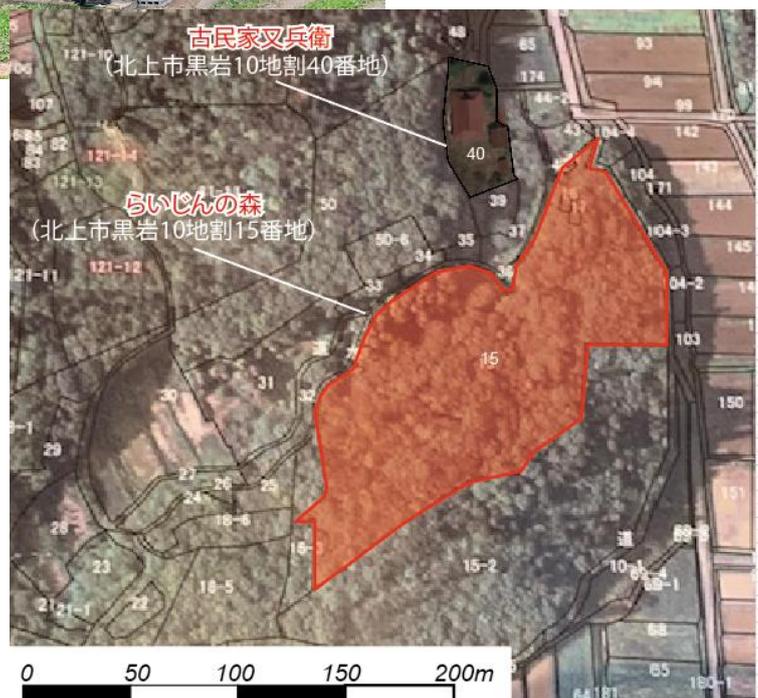
黒岩里山保全の会をこれから主宰する藤原さん別宅(古民家又兵衛)を訪問し、森の実践ゼミナール候補地としての下見(これについては後日に活動を見せてもらうことになった)と、藤原さんの構想の概要を伺った。県民参加の森林づくり促進事業に応募する意欲も持っており、候補地として申し分ないように思えた。
今後は雷神の森の概要を拝見させていただきながら、森林づくり、人材づくりの、促進事業の応募の観点からアドバイスを行うことになった。



← 古民家又兵衛

活動内容

現地の地籍図→



森の実践ゼミナール活動報告書

黒岩里山保全の会
(雷神の森130年プロジェクト)

開催日時	2020年8月21日(土)10:00~12:00	1.00	出席者	● 川村 晃寛 藤原 正
開催場所	藤原正さん別宅(古民家又兵衛)及び雷神の森			
開催回数	第2回	開催目的		

雷神の森周辺の自然環境等、現地調査を行った。藤原正さんに雷神山への想いを尋ね、雷神山への道の脇の植生などを調査。子どもでも楽しみながら登山が可能な山である。



活動内容

森の実践ゼミナール活動報告書

滝沢里山研究会

開催日時	2020年6月27日(土)10:00~11:00	1.00	出席者 ● 川村 晃寛 近藤 修二 櫻井 則彰
開催場所	滝沢里山研究会度十の森		
開催回数	第1回	開催目的 森ゼミ候補地区(キーパーソン)の意思確認等	

近藤さんが手に入れた砂込川沿いの3haに及ぶ雑木林は、2年ほど前から森林・山村多面的機能発揮対策交付金を受けて小屋や森林内散策路を整備しつつあり、間伐で出た木材を薪にしたり、キノコを植菌して林産物として出荷したり、着々と「稼げる森」として生まれ変わりつつある。このような森は森のゼミナールの対象地域として厳密には該当しないかも知れないが、この活動を知ってもらい、県内各地の森づくり活動の参考例として取り上げるのはそれなりに価値のあることである。よって滝沢里山研究会の活動を森の実践ゼミナールの対象地域として取り上げる。

活動内容



森の実践ゼミナール活動報告書

滝沢里山研究会

開催日時	2020年7月18日(土)10:00～12:00	2.00	出席者	● 川村 晃寛 近藤 修二 櫻井 則彰
開催場所	滝沢里山研究会 虔十の森			
開催回数	第2回	開催目的		

滝沢里山研究会「虔十の森」の現地調査を行った。林地は周回道路が整備されており、20分ほどで巡回できる。多くの樹種が観察される。山野草も豊富であり、季節に応じて楽しめる。子どもたちを対象とした森林学習会の場所としても最適である。



活動内容

森の実践ゼミナール活動報告書

第1回研修会 情報交換会

開催日時	2020年9月21日(月)10:30～16:00		4.50	出席者	● 川村 晃寛 若生 和江 橋本 吉弘 仁平啓介 藤原 正 近藤 修三	大橋渉一 高橋淳 藤原正氏の夫人 戸田清志 中軽米聖花 櫻井 則彰
開催場所	情報交換会:一戸町奥中山アドナイエレの森 第1回研修会:一戸町奥中山公民館					
開催回数	第1回	開催目的	研修・情報交換			
活動内容	<p>・情報交換会 令和元年度森の実践ゼミナール実施の一戸町奥中山戸田清志氏所有のアドナイエレの森に集合、戸田氏が10年の歳月をかけ作った森の散策路を観察、経緯を伺う。障害者(心、体)高齢者、子どもも訪れ癒しを得られる空間づくりを目指す戸田氏のお話を聞く。</p> <p>・第1回研修会 奥中山公民館に移動後研修会を開催。戸田氏が森づくりの理念を話され他、滝沢里山研究会の近藤氏が自分の土地をベースに山仕事のできる人づくりと遊歩道を整備し、市民が訪れることのできる場所、近くの本木小学校、岩手山青少年の家に研修に来る人たちの森林学習の場を作ろうとする構想を聞く。北上市黒岩にて古民家又兵衛を運営する環境アドバイザーの藤原正氏は、古民家を改造し宿泊も可能な施設とする他、近くの雷神山と一体化させた森林学習会の場を展開したい。</p> <p>・森ゼミの次年度の計画、森林税の用途、森林学習会の対象範囲の拡張(従来小中学生のみに限定されたが一般市民対象にも拡充可)、評価委員会の委員への要望(森林学習会の現場にも来てもらいたい)、森林学習会で使う資料に県で作成したものがないか、紙芝居などにすると子供たちにもわかりやすい。森の実践ゼミナールの認知度を向上させる必要があるなどの意見、情報交換を行う。</p>					
						

森の実践ゼミナール活動報告書

第2回研修会

開催日時	2021年2月21日(日) 13:30～16:30		3.00	出席者	● 川村 晃寛 泉 桂子 若生 和江 山口 麗奈 橋本 吉弘 藤原 正氏の夫人 仁平啓介 櫻井 則彰 藤原 正 近藤 修三
開催場所	滝沢里山研究会 度十の森				
開催回数	第1回	開催目的	森ゼミ候補地区(キーパーソン)の意思確認等		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度森の実践ゼミナール候補地である滝沢市の滝沢里山研究会、北上市の黒岩里山保存の会のこれまでの現地調査から森林インストラクターの川村晃寛氏がまとめた森林環境学習地域プラン2プランの現段階の案を示し、研修会当日の聞き取りから最終結果をこの中に盛り込む。 ・今後の2か所の森をどのように整備するか。資金面でいわての森林づくり県民税から出される県民参加の森林づくり促進事業を使うか、林野庁の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を使うか、第三者の企業などの協賛金、補助金を使うか、各々のメリット、デメリットについて意見交換がなされる。 ・藤原正氏より県民税は講師謝金はあるが、森林整備にかかるボランティアには全くでない。わずかでもよいのでボランティアではなく、賃金を支払うことができないか要望が出される。現状ではボランティアだけで森林整備を行うことの困難さが提示される。 ・滝沢里山研究会4.6haは15年前に近藤氏が購入し景観、地域の動植物を大切にす観点から整備、100年生の有用広葉樹が混じる複層林を目指す。会員は当初4人から現在25人に拡大、薪、スエーデントーチ、キノコ、ボールペンの販売などを手掛ける。 ・黒岩里山保存の会は明治24年に建てられた古民家を藤原氏が購入しH25年から整備し宿泊もできる施設に生まれ変わった。ここを拠点に近くの雷神山を加え、子どもたちが遊べる空間づくりを目指す。ボーイスカウト、外国人も集う場所となってきた。森を使う各種プロジェクトを立ち上げる。 ・川村晃寛氏より県民税の促進事業企画募集は今後令和3年度分として第二次募集がある。これに向けて申請書の作成を支援する。 ・森林学習会を近くの学校に働きかける。滝沢市の一本木小学校、北上市の黒岩小学校。 				
					

認定特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて

〒020-0124 岩手県盛岡市厨川 5 丁目 8 番 6 号

TEL:019-681-1904 FAX:019-681-1906

環境学習交流センター

岩手県地球温暖化防止活動推進センター

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通 1 丁目 7-1 アイーナ 5F

TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

E-mail:eco@aiina.jp(環境学習交流センター宛)

iccca@aiina.jp(岩手県地球温暖化防止活動推進センター宛)

